

■環境教育・人材育成

	事業者コード	環境寄附対象団体名称
1	K095	ezorock
2	K096	さっぽろ自由学校「遊」
3	K097	北海道市民環境ネットワーク
4	K098	岩手子ども環境研究所
5	K099	寺子屋方丈舎
6	K100	つくば環境フォーラム
7	K101	ソーラーネット
8	K102	ECOPLUS
9	K103	アトピッツ地球の子ネットワーク
10	K104	イクレイ日本
11	K105	海塾
12	K106	エコ・コミュニケーションセンター
13	K107	オイスカ
14	K108	ガールスカウト日本連盟
15	K109	開発教育協会
16	K110	環境文明21
17	K111	共存の森ネットワーク
18	K112	グローバル・スポーツ・アライアンス
19	K113	国際協力NGOセンター
20	K114	国際連合活動支援クラシックライブ協会
21	K115	才の木
22	K116	サステナビリティ日本フォーラム
23	K117	持続可能な開発のための教育推進会議
24	K118	日本エコツーリズム協会
25	K119	日本グラウンドワーク協会
26	K120	日本国際湿地保全連合
27	K121	日本国際ボランティアセンター
28	K122	日本ユニセフ協会
29	K123	ネイチャーセンターリセン
30	K124	ブリッジ エーシア ジャパン
31	K125	水俣フォーラム
32	K126	ミレニアムシティ
33	K127	野生生物保全論研究会
34	K128	あそあそ自然学校
35	K129	石川県緑化推進委員会
36	K130	エコプランふくい
37	K131	環境ふくい推進協議会
38	K132	e-plus生涯学習研究所
39	K133	ホールアース研究所
40	K134	林 林 林
41	K135	NPO エコバンク Japan
42	K136	心豊かにARD(あるど)の会
43	K137	地域の未来・志援センター
44	K138	環境市民
45	K139	社叢学会
46	K140	かたの環境フェスタ市民会議
47	K141	近畿環境市民活動相互支援センター
48	K142	まちづくり国際交流センター
49	K143	循環生活研究所
50	K144	NPO法人くまもと温暖化対策センター
51	K216	水・環境ネット東北
52	K217	認定NPO法人アサザ基金
53	K218	川に学ぶ体験活動協議会
54	K219	日本野鳥の会
55	K220	神奈川県環境学習リーダー会
56	K221	加治川ネット21
57	K222	かみえちご山里ファン倶楽部

58	K223	興津川保全市民会議
59	K224	ラブ・ネイチャーズ
60	K225	エコ村ネットワーキング
61	K226	関西NGO協議会
62	K227	黒潮実感センター
63	K228	地球市民の会
64	K235	あらかわ学会
65	K236	太陽光発電所ネットワーク
66	K237	日本エコツーリズムセンター
67	K238	日本環境協会
68	K239	全国環境ボランティアリーダー会
69	K240	環境カウンセリング協会長崎
70	K241	九州環境サポートセンター

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K095	団体名	環境NGO ezorock
連絡先 (電話／メール)	011-562-0081	活動ホームページ (URL)	http://www.ezorock.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	青年層における持続的な地域づくり事業		
寄附額合計	¥2,039,959		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥37,912	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では札幌市内を中心に環境活動対策活動や、札幌以外での地域活性活動プログラムを実施しています。</p> <p>(使途)ご寄附としていただいた37,912円を使って9月に行われた札幌市厚別区で行われたお祭りでの環境対策活動とブース出展として有機野菜の販売を行いました。5名のボランティア参加者とともに活動を行い、お祭りの来場者へ向けてごみの分別について実際に分別のサポートを行う事で分別の再確認をおこないました。また、有機野菜の販売を行う事で食の安全性や地元の食材を消費することへと繋がる活動を展開しました。</p> <p>(効果)札幌市厚別区での地域のお祭りの実施はこれまで行っていなかったため、新たなフィールドでの活動へと繋げることができました。次年度は札幌以外の地域での活動にも力を入れて展開する予定となっています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥310,847	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体では、札幌市内を中心に環境対策活動や札幌市外での地域活性活動、世代間交流プログラムを実施しています。</p> <p>ご寄附いただいた310,847円を用い、'11年7月に2泊3日を2回、'11年8月と'12年4月には6泊7日と5泊7日で東北での復興支援も兼ねた人材育成プログラムを延べ59人に対して提供しました。人材育成プログラムとしては、環境対策活動を想定した現場シミュレーションの実施や、コーディネーターとして重要視されるリスクマネジメントやファシリテートについて勉強会を行ったほか、実際に活動している他団体の活動の見学等を行いました。</p> <p>こうした研修を通してこれまでボランティアとして参加していた若者がコーディネートする側になり、複数の地域のお祭りでも同時に活動を展開できるようになるなど活動の範囲を広げることができ、実施数を増やす事ができました。今後は更に人材育成プログラムの精度をあげ、より安定して質の高いコーディネートができるようなプログラムを作っていくと考えています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥851,543	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、都心部の学生が環境活動・まちづくり・森林保護などの活動をするべく、地域へと送り出しています。企画・準備・運営と活動に関するほぼ全てを自らが行うので様々な問題に直面し、会員からは活動や自身のレベルアップなどいろいろな悩みがあがってきました。</p> <p>(使途)そこで、今回ご寄附頂きました総額851,543円と当団体の資金を合わせまして、個人のスキルアップを図り、課題を共有し、共に解決へ向かえるような関係性を作るための勉強会を実施することにしました。大規模な2日間にわたる勉強会で、全国より21名のパネリストを招き、環境・NPO・震災支援・就職・チームビルディングなど130名の参加者が多くを学びました。</p> <p>(効果)参加者からは、「横のつながりができ、一緒に悩みを共有・解決できる仲間と出見え、とてもよかった」好評を受けました。次年度以降も定期的に開催し、環境をはじめとする様々な意識の向上を図っていききたいと思います。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥732,586	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)町内会のお祭りで環境対策を行いました。会場では高齢化でゴミのことで手が回らない現状があった。また、北海道の学生団体やNPOは横のつながりが少なく、活動の幅を広げたり、自団体のレベルアップを図りにくい環境があったので、150人規模の研修会を実施した。</p> <p>(使途)ボランティアの交通費とごみ袋などの消費費に、道内の青年層が集まり、講演会・ディスカッション、スキルアップ講座等を通して、「これから」の北海道を考える研修会『greenday』開催の会場代や講師謝金などに今回の寄附732,586円を充てました。</p> <p>(効果)ごみ分別のナビゲートを行ない、ごみはきちんと分別され、量も減らすことができました。事前の打ち合わせから、町内会の方と一緒にプランを立て、一緒に準備・実行することで、うまく活動を浸透させることができました。次年度も関わり、より根づけるように活動したいと思っています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥107,071	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)都心部の青年層が環境保全活動などの活動をするべく、地域へと送り出しています。企画・運営と活動に関する事を自ら行うため、自身への気づきの多様性やスキルアップなど色々な要望が出てきました。</p> <p>(使途)今回ご寄附頂きました総額107,071円と当団体の資金を合わせまして、地域の環境対策活動を実施するためのボランティアの交通費などとして使用させて頂きました。地域のお祭りなどで活動することで世代間交流も生まれ、その地域の課題を把握でき、それに対してアクションを起こせるようになり、継続してその地域とのかかわりを持てるようになりました。</p> <p>(効果)参加者からは、「自分は社会で何にも役割を持っていないと思っていたが、実際に問題が起きている現場で活動することで、リアルな現状を感じることができた。今後も自分のできる範囲で社会とかかわりを持って活動を続けていきたい。」と好評を受けました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K096	団体名	特定非営利法人さっぽろ自由学校「遊」
連絡先 (電話／メール)	011-252-6752	活動ホームページ (URL)	http://www.sapporoyu.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	「自然と人、人と人をつなぐ」ESD(持続可能な開発のための教育)モデル事業の構築		
寄附額合計	¥199,721		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,453	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体ではこれまで数多くの講座やイベントを開催してきましたが、記録・報告などのフォローアップが不十分でした。今回、北海道の地域性に根ざしたESDモデル事業を実施するにあたり、写真・映像等による記録充実を図り、教材作成等に活かしたいと思います。そのための機材購入やIT環境の整備をしたいと考えます。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた29,453円は、ノートパソコン等のIT関連機材の購入のほか、ESD事業における映像制作やIT環境整備のための学習・研修や必要備品の購入に使わせていただきました。</p> <p>(効果)機材の購入などに伴い、ESD事業や講座・セミナー時の記録や発信の充実がはかられました。また、IT環境整備とその事業での有効活用に向けた取り組みを継続しています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,427	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体ではこれまで数多くの講座やイベントを開催してきましたが、記録・報告などのフォローアップが不十分でした。今回、北海道の地域性に根ざしたESDモデル事業を実施するにあたり、写真・映像等による記録充実を図り、教材作成等に活かしたいと思います。そのための機材購入やIT環境の整備に寄附を活用したいです。</p> <p>(使途)教室を無線LANに対応できる環境とするため無線LANのベースステーションを購入、また、記録用機材としてポータブルビデオカメラを購入しました。寄附金は全額使用致しました。</p> <p>(効果)これにより、webを活用した講座の実施が可能になるとともに、講座映像をインターネット配信することが可能になりました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,394	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体ではこれまで数多くの講座やイベントを開催してきましたが、記録・報告などのフォローアップが不十分でした。今回、北海道の地域性に根ざしたESDモデル事業を実施するにあたり、写真・映像等による記録充実を図り、教材作成等に活かしたいと思います。そのための機材購入やIT環境の整備に寄附を活用したいです。</p> <p>(使途)従来のパソコンでは映像活用などに限界があったため、新たなパソコンの購入に使用しました。寄附金は全額使用致しました。</p> <p>(効果)これにより、webを活用した講座の実施が可能になるとともに、講座映像をインターネット配信することが可能になりました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥23,376	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体ではこれまで数多くの講座やイベントを開催してきましたが、記録・報告などのフォローアップが不十分でした。現在、講座記録の録音データの文字起こしやその冊子化(電子書籍化も含む)を恒常的に行い、講座参加者以外にもその学びの成果を広げることをめざして取り組んでいます。</p> <p>当寄附金は、これらの作業を行ううえで必要な器材(ICレコーダー等)の購入に全額充当いたしました。</p> <p>こうした取組みは、ボランティアスタッフによる録音データの文字起こし作業や、その経験を踏まえたボランティア養成講座の開催などに結びついています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,071	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体ではこれまで数多くの講座やイベントを開催してきましたが、記録・報告などのフォローアップが不十分でした。このため今後は、北海道の地域性に根ざしたESDモデル事業を実施するに当たり、写真・映像等による記録充実を図り、教材作成等に活かすため、機材購入やIT環境の整備に寄附を活用したいと思います。</p> <p>(使途)記録機材の購入やIT環境が整えながら、講座の録音データの文字起こし作業などに力を入れてきました。今回の寄附金は、文字起こしに必要なICレコーダー・文具等の購入に全額充当いたしました。</p> <p>(効果)文字起こしした記録に関しては、報告書や小冊子の作成、概要をHP(http://sapporoyu.org/)やフェイスブックでアップなどを行ない、当団体の実施講座の成果をより広い人々に届けることが可能となりました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K097	団体名	特定非営利活動法人北海道市民環境ネットワーク
連絡先 (電話／メール)	011-215-0148	活動ホームページ (URL)	http://www.kitanet.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	北海道の自然を守る～環境リーダー育成活動		
寄附額合計	¥300,476		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,408	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では札幌市北区茨戸川緑地で、札幌市との協定に基づき、みどり豊かなまちづくりを目指した植樹を実施しています。2011年は、5月～8月に前年までに植樹した苗木の手入れや下刈り等の作業、9月に地ごしらえと植込みを実施し、のべ171名の方に参加していただきました。1,000m2の面積に北海道の在来種のハルニレ・イタヤカエデなどの広葉樹330本を植樹しました。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた29,408円は、参加者の送迎バスの借上げ代の一部として活用させていただきました。参加者には二酸化炭素削減のためにも送迎バスを利用するように呼びかけました。</p> <p>(効果)「森づくり」という自然を育てる活動から、森林の重要性・豊かな環境づくりを考えるきっかけにつながりました。今後も、みどり豊かなまちづくりを目的に実施し、参加者の環境意識の向上の機会づくりを行い、北海道の環境保全活動に取り組んでいきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,727	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)札幌市北区茨戸川緑地で、みどり豊かなまちづくりを目指し森づくりを実施しました。5月～8月は前年までに植えた樹木の手入れ作業で根踏みや倒伏起こし、下草刈り等を実施し、9月に植樹準備の地ごしらえ、植樹と樹木の勉強会を実施しました。植えた木は、ハルニレ、イタヤカエデ、イヌエンジュ等、北海道の在来広葉樹330本です。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた92,727円は、手入れ・植樹作業の指導者謝礼金、物資運搬費用の一部と、樹木勉強会の講師謝礼金に活用させていただきました。</p> <p>(効果)参加者はのべ165名。樹木の手入れ等と在来種の樹木を植樹することで北海道の環境づくりを体験し、勉強会で植えた樹木の種類や特徴を学びました。「森づくり」という自然を育てる活動から、森林の重要性・豊かな環境づくりを考えるきっかけにつながりました。今後も環境意識の向上の機会づくりと、北海道の環境保全活動に取り組んでいきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥53,394	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)北海道の自然環境保全の啓発等から、広い視野の環境活動につなげるため、「森づくり」に取り組んでいます。2013年度は5月～9月に月に1度のペースで、札幌市と白老町で「ラブアースの森づくり」を実施し、これまで植樹した樹木の手入れ作業(育樹)を実施しました。札幌市北区茨戸川緑地では、根踏み・倒伏起こし・下草刈り等を、白老町の石山では間伐を実施しました。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた53,394円は、育樹作業の指導料に活用させていただきました。</p> <p>(効果)参加者はのべ113名。森をつくるためには、植樹した「樹木を育てる」ことが重要です。樹が成長しやすい環境づくりの必要性を学び、そのための作業の大変さを実感することができました。参加者には森林の重要性や豊かな環境づくりを考えるきっかけにつなげることができました。今後も環境意識の向上の機会づくりと、北海道の環境保全活動に取り組んでいきます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,876	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)北海道の自然環境保全活動、「ラブアースの森づくり」に取り組んでいます。5月～10月の月に1度、札幌市と白老町で「ラブアースの森づくり」を実施し、これまで植樹した樹木の手入れ作業(育樹)を実施しました。札幌市北区茨戸川緑地では、根踏み・倒伏起こし・下草刈り・枝打ちを、白老町の石山では枝打ち・間伐を実施しました。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた18,876円は、育樹作業の指導料に活用させていただきました。</p> <p>(効果)参加者はのべ112名。自然環境の保全に「森林」は欠かせません。これまでに植樹した樹木を育て森をつくるためにも、樹が成長しやすい環境を整えていく必要があります。森林のスペシャリストに講義と指導をお願いし、参加者に森林の重要性や豊かな環境づくりについて学び、枝打ちや間伐等の作業を体験する機会を提供できました。今後も環境意識の向上と、北海道の環境保全活動に取り組んでいきます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥106,071	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)毎年5～10月、札幌市と白老町の「ラブアースの森」で育樹活動を実施しています。2012年までの植樹活動で植えた樹木が、より良く成長するために下草刈り、枝打ち、除間伐等を行っています。この作業に参加者を募り、環境保全の体験型プログラムとして「ラブアースの森づくり」を実施しました。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた106,071円は、2期に渡り、森林整備作業の指導料の一部に活用させていただきました。</p> <p>(効果)のべ参加者は2014年度146名、2015年度123名でした。環境保全のために森林づくりは欠かすことが出来ず、健全な森林の形成のために「樹木を育てる」ことが重要であることを学び、整備作業の難しさを体験しました。北海道の豊かな自然を次世代に引き継ぐために、環境保全の啓発から環境活動につなげるために「森づくり」に取り組み、更なる環境意識の向上と視野を広げた活動の機会づくりにつなげていきます。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K098	団体名	岩手子ども環境研究所
連絡先 (電話／メール)	0195-66-0646	活動ホームページ (URL)	http://www.morikaze.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	エコスクール「森と風のがっこう」における自然エネルギーを取り入れた、循環型の生活スタイルを楽しみながらまなぶ環境教育		
寄附額合計	¥427,192		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥31,728	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、森と風のがっこうにおいて、昨年から『「子育て」と「循環(エネルギーの循環と森の更新)」の森づくり事業』に着手し、子どもたちが森の中で五感を通して、自然エネルギーの循環や森の更新が体験できる場づくりを進めています。</p> <p>(使途)この森づくりの事業費として、31,728円を使わせていただきました。ご寄附を森林の整備の費用の一部に充てました。</p> <p>(効果)今回の寄附を活用したことにより、森林内に歩道や橋が整備され、子どもたちが安全に木の伐採や運搬ができるようになりました。今後、この森林を活用していくことで、子どもたちの森林のエネルギーが体験的に学べるプログラムや子どもたちの健全育成に関わる支援者や環境教育に携わる指導者の研修を室内のレクチャーと野外の実習を組み合わせることでより効果的な内容を提供していくことができます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥122,523	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>【概要】当団体では、森と風のがっこうにおいて、これまでエネルギーやいのちのつながりが五感で感じられる施設整備や体験プログラム提供を実施してきました。昨年より『循環型の暮らし「見える化」プロジェクト』に着手し、ここにあるモノやコトのつながりを見て理解できるハンズオンサイン群、スペースを創り出し、見せ方や伝え方のデザインに注力することを目的とし、イメージやファンタジーを用いた持続可能な地域モデルの発信を推し進めています。</p> <p>【使途】このプロジェクトの事業費として、122,523円をつかわせていただきました。ご寄附を見える化サイン・ハンズオン展示の制作費の一部に充てました。</p> <p>【効果】寄附を活用したことにより森と風のがっこうの自然エネルギーのテーマパーク化が進み、来訪者増加や、東北にこれまでなかった循環型生活の学びの場として研修や団体利用の増加が期待されます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥201,894	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、『「子育て」と「循環(エネルギーの循環と森の更新)」の森づくり事業』に着手し、子どもたちが森の中で五感を通して、自然エネルギーの循環や森の更新が体験できる場づくりを進めています。</p> <p>(使途)この森づくりの事業費として、201,894円を使わせていただきました。ご寄附を森林フィールドの下草刈り、遊歩道の整備、橋の安全対策費など森林の整備の費用の一部に充てました。</p> <p>(効果)今回の寄附を活用したことにより、森林内に歩道や橋が整備され、就学前の小さな子どもたちも安全に歩くことができるようになりました。また、歩きやすくなったことで家族連れなどの幅広い層の人を受け入れることができるようになりました。今後、この森林フィールドを活用して、子どもたちが森林エネルギーを体験的に学べるプログラムの提供と、子どもたちの健全育成に関わる支援者や環境教育に携わる指導者の研修を、室内のレクチャーと森林フィールド実習を組み合わせることでより効果的な内容を提供していくことができます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥33,976	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>【概要】今年も当団体は、「子育てと循環(エネルギーの循環と森の更新)の森づくり」をテーマで、子どもたちが森の中で五感を通して、自然エネルギーや循環の森の更新が体験できる場づくりに取り組んでいます。</p> <p>【使途】この事業の中で、自然エネルギー環境教育実施のための、使用できなくなったバッテリーの買い替えや、風車や太陽光パネルを設定している体験教育スペース(車掌車)の老朽化して雨漏りのする屋根の張り替えの一部として¥33,976を使わせていただきました。</p> <p>【効果】自然エネルギー環境教育実施に必要な教材や施設の再整備ができたことで、子どもたちの体験スペースが活用できるようになった。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥37,071	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)今年、当団体は、「自然エネルギーの循環と地域の資源を生かす」をテーマとして、子どもたちが楽しみながら地域の自然エネルギーなどの資源を発見し生かす体験ができる場づくりに取り組んでいます。</p> <p>(使途)この活動の中で使用する教材ロケットストーブの部品代や活動場所のストーブの修理代の一部として37,071円を使わせていただきました。</p> <p>(効果)自然エネルギー環境教育実施に必要な教材や施設の再整備ができたことで、子どもの体験が充実し、活動しやすくなりました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K099	団体名	特定非営利活動法人寺子屋方丈舎
連絡先 (電話／メール)	0242-93-7950	活動ホームページ (URL)	http://www.terakoyahoujyousha.com
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	自然に学ぶ森のようちえん事業		
寄附額合計	¥868,197		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥35,295	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 私たちが活動のフィールドにしている三島町は桐材の産地です。かつては桐たんすや工芸品販売を積極的に行っていました。私たちは地域の特徴を生かしながら「竹とんぼ」ならぬ桐トンボづくりを行っております。</p> <p>(使途) 今回の寄附では、子どもの環境教育を行う際の、桐の端材等を使って「桐トンボ」をつくる材料代としました。</p> <p>(効果) 小学校低学年の子どもは、刃物を使う事も満足にできませんでしたが、当団体の事業を通じて使い方を学び、1時間程度でよくとぶ「桐トンボ」をつくっていました。2011年6月18日～19日の環境教育事業において小学校1年～4年生20名が参加しました</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥118,013	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>未就学の子どもを対象に、自然の中で子どもたちの自由な発想とあそびのプログラムを実施。</p> <p>事業概要 6月・7月・9月・10月・11月・2月・3月に実施 参加者数: 延べ33名参加 6月: 宝探し(ご飯の材料探しウォークラリー) 7月: 食材探し(森の神様にごあいさつ。おいしい宝(食材)さがし) 9月: 森たんけん、森の恵みでクラフトづくり(木の実や枝でアートづくり) 10月: 森たんけん、秋を感じるあそび探し(スキの原っぱで鬼ごっこ、発掘、絵具でアート) 11月: 葉っぱをつかっている遊ぼう(火起こし・たき火・落ち葉集め) 2月: のびのびユキあそび。「すべる」を楽しむ。 3月: カラフルなユキあそび。ユキに色づけ、アートなあそび。</p> <p>使途 ・プログラム材料費(クラフト材料、絵具や文具・工具を含む) 87,181円 ・資料作成代 31,000円</p> <p>効果 ・アンケートを実施し、結果、満足度が75% 親は「福島の子どもが、遊べる機会がたくさんある事がうれしい」との声が寄せられている</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥265,824	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>小さな時期(3歳以上)からの子どもたちが、森林を大事にしながら、持続可能な生活を営む上での知恵を共有するための学びとして、森のようちえん事業を実施した。</p> <p>また、当初活動地域とし奥会津地域を想定したキャンプ等の環境教育事業を予定していたが、放射能の土壤線量が高いため、見ない会津地域、郡山やいわき、福島などの放射線量の高い地域の子どものためのキャンプ事業を実施し、単なる体験ではなく、自然からの学びを重視したプログラムを実施した。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥396,646	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人では、会津地域の森の中で新しい友達と出会い、四季を通じて変化する自然や生き物と触れあって遊び、子どもの関心がどこへ向かうのかを見守り、自由に遊ぶ事で子ども自身の感性や創造力が豊かになる事を目的として、森のようちえん事業を実施しています。また、自遊学キャンプでは福島県内の小学生を対象として、単なる体験ではなく、自然からの学びを重視したプログラムを実施しています。</p> <p>(使途) 「森のようちえん」、「自遊学キャンプ」の運営費として、396,646円使わせて頂きました。ご寄附を経費の一部(施設利用費、印刷製本費等)に充てることにより、より安価に参加費を設定する事ができました。</p> <p>(効果) 昨年度はのべ79名だったのに対して、今年度はのべ120名の子ども達に参加頂き、また、自遊学キャンプは延べ60名の子ども達に参加して頂く事ができました。来年度も年10回の森のようちえんを企画しております。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥52,419		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人では、会津地域の森の中で新しい友達と出会い、四季を通じて変化する自然や生き物と触れあって遊び、子どもの関心がどこへ向かうのかを見守り、自由に遊ぶ事で子ども自身の感性や創造力が豊かになる事を目的として、森のようちえん事業を実施しています。また、自遊学キャンプでは福島県内の小学生を対象として、単なる体験ではなく、自然からの学びを重視したプログラムを実施しています。</p> <p>(使途) 「森のようちえん」、「自遊学キャンプ」の運営費として、52,419円使わせて頂きました。ご寄附を経費の一部(施設利用費、印刷製本費等)に充てることにより、より安価に参加費を設定する事ができました。</p> <p>(効果) 昨年度はのべ120名だったのに対して、ご寄附により190名の子ども達に参加頂き、また、自遊学キャンプは延べ44名の子ども達に参加して頂く事ができました。来年度も年12回の森のようちえんを企画しておりますので、HPもぜひご覧ください。(http://www.terakoyahoujyousha.com/)</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K100	団体名	特定非営利活動法人つくば環境フォーラム
連絡先 (電話／メール)	029-879-8810	活動ホームページ (URL)	http://tef298.sakura.ne.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	オオムラサキの棲む里山づくり		
寄附額合計	¥346,725		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥36,757	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)つくば市内の開発地域から保護し、小学校に建てた飼育舎で繁殖させている国蝶オオムラサキを教材として平成15年度から小中学生を対象に環境教育を行い、地域の人人に良好な里山環境保全を呼びかけ整備活動を実施しています。</p> <p>(使途)飼育繁殖させているオオムラサキを用いて小学生対象に授業・観察会を行っていますが、その際の資料作成や年間10号発行しているオオムラサキ通信の作成のための事務用消耗品に使わせていただきました。</p> <p>(効果)今期間中は、のべ約150名の児童に授業を実施し、観察会・調査・保全活動には、約400名の参加者がありました。また、つくば科学フェスティバルに出展(約600名対象)するなどオオムラサキが棲める良好な里山環境保全について理解を深めました。来年度は、教材拡充等を計画しています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,927	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)つくば市内の開発地域から保護し、小学校に建てた飼育舎で国蝶オオムラサキを繁殖させ個体群の維持をしながら教材として小中学生に環境教育を行い、同時に地域の人人に良好な里山環境維持を呼びかけて整備活動を実践しています。</p> <p>(使途)飼育繁殖活動・授業・観察会・生態調査の件費・交通費・保険料に充当しました。(92,927円)</p> <p>(効果)期間中のべ200名の小学生を対象に理科特別授業を実施し(8時間)、約540名の参加者と共に観察会・調査・保全活動を行いました。(計18回)つくば科学フェスティバルに出展し、オオムラサキが棲める生物多様性の高い里山環境保全について理解を深め、ボランティア募集を行いました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥150,894	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)つくば市の開発地域から保護した国蝶オオムラサキを、小学校の校庭に設置した飼育舎で育てながら、子どもたちに里山と生きものの関係、人と里山のかかわりについての環境学習を行い、また、森づくりボランティアを募集して蝶の帰る里山林の整備活動を行った。</p> <p>(使途)学校での授業・蝶の飼育・観察会・森づくり活動のスタッフ・ボランティア人件費・交通費91,800円、作業用品・チラシ印刷59,094円</p> <p>(効果)期間中のべ150名の小学生を対象に理科特別授業を実施し(6時間)、また、整備が進んだ森で親子の自然体験学習を9回(のべ160名)、一般対象の観察会・地域交流活動を2回(のべ約50名)実施、森づくりボランティア活動ならびに森づくりワークショップを計13回(のべ200名)行い、地域の残る貴重な里山への理解を進めることができた。また、この活動を通して、活動を担うボランティアの育成に取り組むことができた。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥59,576	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)つくば市の開発地域に現存する里山林において、定着してきた国蝶オオムラサキの個体数調査や保護を行うと同時に、蝶の棲める里山林の整備活動を行った。また、親子を対象に参加者を募り里山と生きものの関係、人と里山のかかわりについての環境学習を行った。</p> <p>(使途)幼虫調査、森づくり活動・環境学習のスタッフ・ボランティア人件費・交通費56,600円、作業用品代(一部)2,976円</p> <p>(効果)整備が進んだ森で親子の自然体験学習を9回(のべ236名)、一般対象の観察会・地域交流活動を2回(のべ約80名)実施、森づくりボランティア活動を計10回(のべ129名)行い、地域に残る貴重な里山への理解を進めることができた。また、この活動を元に、今後小学生が森で遊びながら学ぶ自然あそび塾のプログラム案を準備することができ、次年度から実施を予定している。同時に、こうした活動を担う人材の育成にも取り組むことができた。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥6,571		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)つくば市の沿線開発で新たにできた市街地に隣接する森を、オオムラサキをはじめとする里山の生きものを保全する場所として市民参加で整備し、子どもたちに対する環境学習を目的とした体験活動を継続的に実施しています。今年は活動を担う人材の育成、学習プログラムのマニュアル化に力を入れました。</p> <p>(使途)環境寄附は、これらを推進するためのスタッフ・ボランティアの交通費や学習マニュアルづくりの資金の一部に充当しました。</p> <p>(効果)毎月、森づくりボランティア、親子の自然教室、小学生対象の自然あそび塾を開催し、4月～12月の体験活動には、のべ345人が参加しました。大勢の子どもたちがオオムラサキの育つ過程を雑木林で観察し、7月には羽化した蝶も見ることができました。また、ボランティアスタッフとして新たな人材も加わり、指導者向けの里山学習プログラム集をつくるなどの成果を得ることができました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K101	団体名	ソーラーネット
連絡先 (電話／メール)	0493-71-1102	活動ホームページ (URL)	http://solar-net.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	手作り太陽電池の全国出前講習会の開催		
寄附額合計	¥243,975		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥50,207	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)平成19年に始まった手作り太陽電池の講習会「爺柴プロジェクト」は、様々な市民団体や学校を対象に、エネルギーの地産地消を伝え、ネットワークを作るために行っている全国ツアーです。</p> <p>(使途)平成22年には17ヶ所、23年3月までは19ヶ所合計36ヶ所で開催し、475人(不特定多数の参加は除く)の方が40Wの太陽電池を65枚、製作しました。ご寄附頂いた50,207円は、交通費等の一部に使用させて頂きました。</p> <p>(効果)製作した太陽電池は、インド等の未電化地域に一部とどけられたり、地域起こしの道具として活用されました。2011年3.11の震災にさいして、当会がお預かりしていた20枚は、避難所の明かりや携帯の充電用電源として、すぐに活用させて頂きました。この支援活動は、形を変えて2012年3月でも現在も継続されています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,727	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2007年に始まった手作り太陽電池の講習会「爺柴プロジェクト」は、様々な市民団体や学校を対象に、エネルギーの地産地消を伝え、ネットワークを作るために行っている全国ツアーです。</p> <p>(使途)2011年4月から2012年3月末までに合計15ヶ所で開催し、259人の方が40Wの太陽電池を36枚、製作しました。ご寄附頂いた91,727円は、交通費等の一部に使用させて頂きました。</p> <p>(効果)製作した太陽電池は、ネパール等の未電化地域に主催NPOを通して届けられたり、3.11震災の被災地域での街灯に利用されました。これまでは海外への寄附が多かったのですが、震災以降、自団体で使用する数が増えていて、太陽電池が身近に感じられ出したようです。講習会の後もソーラーネットが協力する様々な事業が実施され、相互のつながりが強まっています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥77,094	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2007年に始まった手作り太陽電池の講習会「爺柴プロジェクト」は、様々な市民団体や学校を対象にエネルギーの地産地消を伝え、ネットワークを作るために行っている全国ツアーです。</p> <p>(使途)2013年1月から2013年12月までに合計7ヶ所で開催し、82人の方が40Wの太陽電池を11枚、製作しました。ご寄附頂いた77,094円は、交通費や、機材借用費等の一部に充当させて頂きました。</p> <p>(効果)子供が作成する会の様子は、子供向けのDVD教材となり、様々な機会に配布されています。三つの団体が福島と宮城への被災地支援活動の一環として、太陽電池を製作し、明かりや農業施設の電源に利用し、また、これから利用します。また、2012年にこのプロジェクトで製作された太陽電池は、カンボジアの学校の電源となりました。環境教育での活用が目立つ期間となりました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,376	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2007年に始まった手作り太陽電池の講習会「爺柴プロジェクト」は、様々な市民団体や学校を対象に、エネルギーの地産地消を伝え、ネットワークを作るために行っている全国ツアーです。</p> <p>(使途)2014年1月から2014年12月までに合計6ヶ所で開催し、67人の方が40Wの太陽電池を8枚、製作しました。ご寄附頂いた18,376円は、交通費や、機材借用費等の一部に充当させて頂きました。</p> <p>(効果)今年は高校への講習会が3回あり、生徒たちがもの作りの技術に触れる事が出来ました。また、チャド(アフリカ)の難民支援の事業が始まり、過去に出前講習を行った高校の生徒に、LEDランタンのデザイン協力を依頼する等、教育面で、大いに活用されました。インド、ネパール等で社会的弱者の仕事作りとして事業が開始され、今後は海外での活動が増える事になります。8月にNPOに移行しました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,571	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2007年に始まった手作り太陽電池の講習会「爺柴プロジェクト」は、様々な市民団体や学校を対象に、エネルギーの地産地消を伝え、ネットワークを作るために行っている全国ツアーです。</p> <p>(使途)手作り太陽電池の講習会「爺柴プロジェクト」は、2015年1月から2015年11月までに合計3ヶ所で開催し、40Wの太陽電池を6枚製作しました。ご寄附頂いた6,571円は、交通費や機材借用費等の一部に充当させて頂きました。</p> <p>(効果)6枚の太陽電池のうち高校と生協の会員の方が製作した太陽電池4枚は宮城県の被災地の街灯になり、2枚はネパールの地震被害の地に贈られました。8月にはチャドから5名の帰還民が太陽電池製作の訓練に来て、この講習会を見学し、参加者との交流を行ないました。活動のエリアが広がっています。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K102	団体名	特定非営利活動法人ECOPLUS
連絡先 (電話／メール)	03-5294-1441	活動ホームページ (URL)	http://www.ecoplus.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	日本の農山村で持続可能な社会づくりへのヒントを探る環境学習活動		
寄附額合計	¥196,274		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,706	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>ECOPLUSは、新潟県南魚沼市清水集落を舞台に、都市住民との交流による地域活性化事業を2008年度から行っています。集落でかつて取り組まれていた山奥でのナメコの原木栽培をテーマに、首都圏などから大学生や社会人たちを招き、住民と一緒に作業をしながら、集落の将来を語り合ってきました。</p> <p>いただいたご寄附は、2010年度に3回行ったこの活性化イベントの際の、東京からのスタッフ交通費に充当させていただきました。</p> <p>イベントは、少子高齢化が進むいわゆる「限界集落」の活性化を支援しただけでなく、日ごろ、自然とは切り離されて暮らしている都会の人々にとって、優れた自然環境に直接ふれ、さらにその環境を活かした暮らしの豊かさを知る貴重な機会となりました。全国の農山村はいずれも衰退が激しく、消滅の危機が迫っています。その地に育まれた文化伝統にも着目した活動を継続していきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,227	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>ECOPLUSは、新潟県南魚沼市清水集落を舞台に、都市住民との交流による地域活性化事業を2008年度から行っています。集落でかつて取り組まれていた山奥でのナメコの原木栽培をテーマに、首都圏などから大学生や社会人たちを招き、住民と一緒に作業をしながら、集落の将来を語り合ってきました。</p> <p>いただいたご寄附は、2011年度に(H23年度)3回行ったこの活性化イベントの際の、東京からのスタッフ交通費に充当させていただきました。</p> <p>イベントは、少子高齢化が進むいわゆる「限界集落」の活性化を支援しただけでなく、日ごろ、自然とは切り離されて暮らしている都会の人々にとって、優れた自然環境に直接ふれ、さらにその環境を活かした暮らしの豊かさを知る貴重な機会となりました。この年は、7月末の福島新潟豪雨災害でナメコ栽培現場の一部も土砂崩れが起きる等、清水集落にも大きな影響があったこともあり、都市住民の活動サポートは清水の人たちをカブつけることになりました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥50,394	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)新潟県南魚沼市の栃窪・清水の両集落を舞台に、農山村の伝統を元にした持続可能な社会のあり方を考える教育プログラムを展開しています。雪のない時期を中心に、毎月数本の体験プログラムを実施しています。教育プログラムでは各種助成金なども得ていますが、事務費などは助成対象外となることが多く、運営資金の獲得が課題になっています。</p> <p>(使途)寄附をいただいた50,394円は、栃窪集落に置いた現地事務所の月額1万円余の通信費の一部に使わせていただきました。</p> <p>(効果)標高500mの山奥の小さな集落を舞台にした活動ですので、都市部への情報発信は不可欠です。メールやウェブサイトは無論、ソーシャルネットワークを組み合わせた多彩な手法で、都市部と特に若い世代への安定した発信を実現できました。集落の集会所に事務所を設置させてもらい、若いスタッフが常駐することで、高齢者が中心の集落にも活気が生まれています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,376	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)新潟県南魚沼市の栃窪・清水の両集落を舞台に、農山村の伝統を元にした持続可能な社会のあり方を考える教育プログラムを展開しています。雪のない時期を中心に、毎月数本の体験プログラムを実施しています。教育プログラムでは各種助成金なども得ていますが、事務費などは助成対象外となることが多く、運営資金の獲得が課題になっています。</p> <p>(使途)寄附をいただいた18,376円は、栃窪集落に置いた現地事務所の月額1万円余の通信費の一部に使わせていただきました。</p> <p>(効果)標高500mの山奥の小さな集落を舞台にした活動ですので、都市部への情報発信は不可欠です。メールやウェブサイトは無論、ソーシャルネットワークを組み合わせた多彩な手法で、都市部と特に若い世代への安定した発信を実現できました。集落の集会所に事務所を設置させてもらい、若いスタッフが常駐することで、高齢者が中心の集落にも活気が生まれています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,571	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は、新潟県南魚沼市の栃窪・清水の両集落を舞台に、農山村の伝統を元にした持続可能な社会のあり方を考える教育プログラムを展開しており、雪のない時期を中心に、毎月数本の体験プログラムを実施しています。教育プログラムでは各種助成金なども得ていますが、事務費などは助成対象外となることが多く、運営資金の獲得が課題になっています。</p> <p>(使途)寄附をいただいた6,571円は、栃窪集落に置いた現地事務所の月額1万円余の通信費の一部に使わせていただきました。</p> <p>(効果)標高500mの山奥の小さな集落を舞台にした活動ですので、都市部への情報発信は不可欠です。メールやウェブサイト(http://www.ecoplus.jp/top.php?lang=ja)、フェイスブックなどで多面的に情報を発信し、都市部と特に若い世代への安定した発信を実現できました。また地域住民とプログラム参加者のつながりが広がり、都市部の若者たちが地域の魅力を都市部で告知する動きも始まっています。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K103	団体名	特定非営利活動法人アトピッコ地球の子ネットワーク
連絡先 (電話／メール)	03-5948-7891	活動ホームページ (URL)	http://www.atopicco.org
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	アトピー・アレルギー性疾患患者のための環境教育プログラム		
寄附額合計	¥268,161		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥37,007	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎などの疾患があるゆえに、社会的不利益を被る子どもたちが抱える課題を、自然環境の中での遊びをとおして市民が市民をサポートすることにより解決を目指す、通算16回目の「夏休み環境教育キャンプ2010」を2010年8月に開催しました(2泊3日)。アレルギー症状の「きつい」子どもに合わせて全員でできるだけ同じものを食べるという「患者だけが別メニューを食べる」通常の行為を逆転させた試みを実施しています。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた37,007円は、キャンプ食材料代、備品代等に活用・充当いたしました。</p> <p>(効果)準備に膨大な時間と費用を費やす総勢約110人のキャンプ(ボランティア約50人)を開催することができました。今後もキャンプを含む環境教育プログラムを開催していきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥94,413	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎などの疾患があるゆえに、外泊や野外活動、外食ができないという課題を、自然環境の中で遊びやプログラムをとおしての解決を目指す、通算17回目となる「夏休み環境教育キャンプ2011」を、2011年8月に2泊3日で神奈川県立藤野芸術の家で開催しました。ボランティアやスタッフは前日からの会場入りで3泊4日、主要スタッフはさらに準備と片付けのため前後泊があり、5泊6日の行程でした。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた94,413円は、キャンプ会場費・施設利用料、講師謝金・交通費、運搬用レンタカー代、食材料や薪などの備品代などに充当し、全額使い切りました。</p> <p>(効果)毎年のことながら参加者全員のアレルゲンや疾患・常備薬等の確認と、ボランティアの事前教育など膨大な時間と費用を費やさざるをえない、総勢110人のキャンプを無事開催することができました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥87,794	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)今回で、通算18回目となる「夏休み環境教育キャンプ2012」を、2012年8月13日(月)～15日(水)2泊3日、神奈川県立藤野芸術の家で開催しました。参加者は、喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎などの子どもとその家族です。疾患があるゆえに、外泊や野外活動、外食ができないという課題を、自然環境の中で遊びやプログラムをとおして、市民が市民をサポートすることで解決を目指すプログラムです。ボランティアやスタッフは開催前日からの会場入りして3泊4日、主要スタッフはさらに準備と片付けのため前後泊がある5泊6日の行程です。それ以外に、事前のミーティングを経て、キャンプに備えます。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた87,794円は、キャンプ会場費・施設利用料、講師謝金・交通費、運搬用レンタカー代、食材料や薪などの備品代などに充当し、全額使い切りました。</p> <p>(効果)今回も、東日本大震災で被災したアレルギー患者家族を、交通費を含めて無料招待しました。10家族30人余が主に東北地方から参加しました。参加者全員のアレルゲンや疾患・常備薬等の確認と、ボランティアの事前教育など膨大な時間と費用を費やさざるをえない、総勢110人のキャンプを無事開催することができました。ご寄附いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥27,376	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)通算19回目となる、喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎などのある子どもとその家族を対象とした「夏休み環境教育キャンプ2013」を、2013年8月8日(木)～10日(土)2泊3日、神奈川県立藤野芸術の家で開催しました。外泊や野外活動、外食ができないという課題を、自然環境の中で遊びやプログラムをとおして、市民をサポートするプログラムです。参加者60人(東日本大震災で被災したアレルギー患者10家族25人を招待)、ボランティアやスタッフ55人、総勢115人のプログラムです。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた27,376円は、キャンプ会場費・施設利用料、食材料などの一部に充当し、全額使い切りました。</p> <p>(効果)参加者全員のアレルゲンや疾患・常備薬等の事前提出と電話による確認を行い、症状の重い子どもに合わせて全員で同じものを食べるキャンプを無事開催することができました。心より感謝申し上げます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥21,571	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)喘息、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎などの疾患があることにより、外泊や外食、野外活動に制限のある子どもとその家族を対象として神奈川県立藤野芸術の家を会場にキャンプを開催しています。</p> <p>「夏休み環境教育キャンプ2014」2014年8月3日～5日 参加者96人 「夏休み環境教育キャンプ2015」2015年8月10日～12日 参加者108人</p> <p>(使途)ご寄附いただいた21,571円はキャンプ施設利用料や食材料などの一部費用に充当し全部使い切りました。</p> <p>(効果)症状の重い子どもに合わせて全員で同じものを食べ、自然と遊ぶプログラムを提供できました。参加者の半数はボランティアで、多くが高校生～20代の若者達です。食物アレルギー対応食作り、子どもプログラム担当など、実践を通じて市民が市民をサポートする試みを行いました。また、東日本大震災で被災したアレルギー患者を2回のキャンプで9家族23人優待しました。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K104	団体名	一般社団法人イクレイ日本
連絡先 (電話／メール)	03-6205-8415	活動ホームページ (URL)	www.iclei.org/japan
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	フィリピンの都市の家庭での省エネ・再生可能エネルギー利用活動支援		
寄附額合計	¥194,674		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,706	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)フィリピンのサンフェルナンド市(ラ・ウニオン州)において、小中学校での気候変動および省エネに関する教育を支援しています。フィリピンの小中学校では、気候変動や省エネに関する書籍が不足しており、授業を行うための資料や生徒が自由に読むことのできる書籍がないため、2012年2月に書籍の寄附を行い、科学の先生向けの研修の準備を進めました。</p> <p>(使途)家電エコポイントの寄附金と合わせて、サンフェルナンド市の小中学校2校に気候変動および省エネに関する書籍86冊を寄附しました(約25万円)。また、授業の中で気候変動や省エネについて科学の先生が扱うことのできるよう、先生を対象にした研修の準備を進めました(約30万円)。</p> <p>(効果)2校に寄附した書籍は、この2校の図書室に置かれるだけでなく、市内のすべての小中学校にも順次貸し出され、多くの小中学生が読むことが可能になりました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,127	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)フィリピンのサンフェルナンド市(ラ・ウニオン州)とバギオ市において、小中学校での気候変動および省エネに関する教育を支援しています。フィリピンの小中学校では、気候変動や省エネに関する書籍が不足しており、授業の中でこれらについて扱うための資料や書籍がないため、書籍の寄付を行い、科学の先生向けに授業の中で気候変動について教えるための研修を行いました。</p> <p>(使途)家電エコポイントの寄附金と昨年度の繰越金(約26万円)を合わせて、小中学校の教師用研修マニュアルの作成、10月に両市の小中学校教師22名を対象に2日間の研修の実施(約58万円)、バギオ市の小中学校に書籍を寄附しました(約25万円)。今年度の繰越金が約5万円あるため、来年度の寄附金と合わせて、実際に小中学校で授業を行うさいに必要な実験等の器材の購入費に充てる予定です。</p> <p>(効果)両市の小中学校教師が、科学の授業の一環として気候変動や省エネについて教えるノウハウと資料を得ることができた。また、今回参加した教師がチームを作り、さらに他の教師を対象に、自分たちが今回は研修を行う準備を始めている。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,394	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)フィリピンの複数都市において、小中学校等における気候変動および省エネに関する環境教育を支援しています。これまで、サンフェルナンド市とバギオ市に関連書籍の寄贈や教師向け研修を実施してきました。両市における活動は当初の目標をほぼ達成しているため、本年度は対象地域を広げ、トゥビゴン市への支援を開始しています。イクレイ日本では、他事業の関連で同自治体と連携がとれる体制にあります。2013年10月に付近で発生した大地震の被害で、学校教材等は現在著しく不足している状態にあり、関連書籍の寄贈を実施し、研修の準備を進めています。</p> <p>(使途)昨年度の繰越金(約5万円)を合わせて、トゥビゴン市の小中学校や高校向けに書籍を寄附しました(約9万円)。来年度の寄附金と合わせて、不足教材のさらなる提供や、教師向け研修のための支援をしていきます。</p> <p>(効果)トゥビゴン市の学校施設は地震の被害で損壊が多い中、必要な書籍を整えることで、今後の教育支援の準備をすることができました。なお前年度で研修支援を実施したバギオ市では、その経験を踏まえて市が同様の研修を実施するなどの効果が生まれています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,376	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)フィリピンの都市で小中学校等における環境教育を支援しています。昨年度からはボホール州トゥビゴン市を対象にしています。昨年の災害の影響などで学校教材が不足傾向にある中、関連書籍の寄贈や教師向け研修を行いました。</p> <p>(使途)昨年度購入した書籍を現地学校に寄贈する機会を捉え、小中学校教師向けの研修を実施しました。現地トゥビゴン市から参加者召集や開催場所提供などの協力を得ました。今期寄附金額(18,376円)は、研修の講師の旅費と謝金の一部に使わせていただきました。関連行政機関やNGOの専門家を講師に迎えることができ、研修内容の充実を図ることができました。</p> <p>(効果)研修には、トゥビゴン市の小中学校教師など約30名の参加があり、グループワークなどを通じて教育活動の実践に役立つ知識や気付きを提供することができました。また寄贈書籍も複数学校に渡され、今後活用されることとなりました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,071	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)フィリピンの都市で小中学校等における環境教育を支援しています。昨年度までにボホール州トゥビゴン市で実施した若者や女性グループ、小中学校教員を対象とした研修内容を踏まえて、より多くの地域で省エネや再エネ利用促進といった気候変動対策への意識啓発の機会が増えるよう、研修用の冊子・ガイドブックを作成しました。</p> <p>(使途)小中学校教師や、教育機関などが青少年向けの研修で活用できるよう、気候変動の教材を作成しました。これまでに50部ほど印刷し、フィリピン自治体や教育関係者が参加する会議の場で配布しています。今期寄附金額(7,071円)は、本教材の編集・レイアウト・印刷費の一部に使わせていただきました。</p> <p>(効果)事業の宣伝と教材の配布を通じて、他の地域からも同様の研修活動の実施に向けて関心が寄せられています。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K105	団体名	特定非営利活動法人海塾
連絡先 (電話／メール)	03-3798-8331	活動ホームページ (URL)	http://www.umijuku.net/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	美しい水辺環境づくりの取組みと、海のCO2吸収に関する研究		
寄附額合計	¥201,569		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥35,106	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は「海から地球環境を考える」というテーマで、海のCO2吸収に関して官と連動した啓蒙活動を行っています。2009年11月に国連環境計画(UNEP)より正式に発表されたレポート「ブルーカーボン」は、海のCO2吸収量が陸上よりも多いことを表しています。当法人は、UNEPや国土交通省等と連携し、「日本ブルーカーボン事務局」を発足しました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた、¥35,106を利用して、ブルーカーボンのパンフレットを作成し、広くブルーカーボンの啓発活動を行いました。</p> <p>(効果)2011年3月に発生した東日本大震災に伴う津波により失われたブルーカーボンを取り戻す活動を進めるため、東北沿岸域においてブルーカーボンの啓発活動を行いました。ブルーカーボンの概念は将来的に海のCO2吸収が排出権取引のクレジットに含まれる可能性を秘めており、海洋国家である日本においても今注目を集めています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,427	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は「海から地球環境を考える」というテーマで、海のCO2吸収に関して官と連動した啓蒙活動を行っている。2009年11月に国連環境計画(UNEP)より正式に発表されたレポート「ブルーカーボン」では、海のCO2吸収量が陸上よりも多いと結論付けた。当法人は、UNEPや国土交通省等の連携による、「日本ブルーカーボン事務局」を発足し、海洋におけるCO2吸収メカニズムの調査や啓発を実施している。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた、90,427円を利用して、ブルーカーボンのパンフレットを作成。広くブルーカーボンの啓発活動を行った。</p> <p>(効果)2011年3月に発生した東日本大震災に伴う津波により失われたブルーカーボンを取り戻す活動を進めるため、東北沿岸域の漁協と連携し、聞き取り調査及び現地調査を実施した。海草や植物プランクトンが単体で吸収するCO2量の解明につながる基礎データとして今後活用していきたい。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,393	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)京都議定書の基準数値などを算出している国連環境計画(UNEP)が提唱する「The Blue Carbon」(森林など地球上の生物が固定化する炭素のうち、植物プランクトンや海草など海洋生物の吸収するCO2は全炭素量の55%を占めており、地球温暖化対策には海洋環境改善が重要だという考え方)に基づき、当団体は2010年より国の研究機関や国立大学と連携し、海洋環境改善を目的とした海への排水負荷軽減活動を実施しています。</p> <p>(使途)現在、日本では工業排水は厳しく規制されており、海を汚しているのは各家庭と繋がっている下水の未処理排水です。各家庭で実行できる排水負荷軽減策の普及プログラム運営費として49,393円を使わせて頂きました。ご寄附を経費の一部(エコ製品材料費、資料印刷費等)として使用できたことで、全てのイベントを参加費無料で運営できました。</p> <p>(効果)下水道処理施設の重要性が広く住民に広がったことから、東京臨海部の選挙において多くの政治家の公約に下水処理施設の改善が謳われ、下水処理施設の改修計画が大幅に変更されました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,575	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>海の水質悪化の最大の原因は工業排水ではなく、家庭から出る生活排水であることを周知し、多くの人が水辺で自然に触れることによって、意識を高めて頂くため、東京都港区の運河でカヌーに乗った野鳥観察と、児童館のホールを借りて、水循環の仕組みと水辺の自然環境についてセミナーを開催しました。</p> <p>環境寄附19575円は配布資料の作成及びカヌー実施の保険料の一部として使用させて頂きました。</p> <p>参加者から、食べ残し等が最も水質に対する負荷が高いことを知り、子供の食育に繋がりたい等の声を頂きました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,068	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、東京の海が泳げない理由の一つである家庭排水がほぼ未処理の状態である年間100日以上海へ放水されている現状を、多くの子供たちに下水の仕組みの知識として教えるとともに、私たちが日常生活の中で海に負荷をかけない生活の仕方として、食べ物を残さず食べ残飯を台所から極力流さない生活習慣を教育しています。</p> <p>(使途)東京港区の公立小学校児童を対象として平成27年8月25日に港区エコプラザで実施した海洋教育活動の中で、水辺の生物に親しむことによって海に対する排水負荷を軽減する生活の大切さを知ってもらうため、運河で観察した水鳥の形をした木のデゴイに色づけする勉強会を開催し、寄附はデゴイや塗料等の材料費の一部に使用しました。</p> <p>(効果)定員30名は受付開始とともに定員に達し、参加者アンケートも非常に高い評価を頂きました。今後も継続して実施したいと考えております。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K106	団体名	特定非営利活動法人エコ・コミュニケーションセンター
連絡先 (電話／メール)	03-5957-1301	活動ホームページ (URL)	http://ngo-ecom.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	内モンゴル自治区東部地域における砂漠緑化支援事業		
寄附額合計	¥193,368		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,405	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	(効果)2011年度の「植林ワークショップ」は8/7～14の7泊8日で中国内モンゴル自治区奈曼旗で実施した。参加者は、学生7名、教職員2名、一般1名の計10名であり、滞在中に500本の植林を行った。 (使途)環境寄附の使途としては、植林の苗木の購入、学生たちの所属校での報告会の開催、ワークキャンプ報告書(A4版64ページ500部)の発行があげられる。寄附に深く感謝したい。 (効果)効果としては、植林による緑化、参加者(特に学生)の事前事後の意識の変容(「ものごとを巨視的に捉えたい」など)、まわりへの影響(「是非行ってみたい」など)があげられる。	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,127	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	2012年度の「植林ワークショップ」は9/2～9の7泊8日で中国内モンゴル自治区奈曼旗で実施した。参加者は学生10名、教職員2名、一般1名の計13名であり、滞在中に700本の植林を行った。環境寄附の使途としては、植林の苗木の購入、学生たちの所属校での報告会の開催、ワークキャンプ報告書(A4版64ページ500部)の発行があげられる。寄付は深く感謝したい。効果としては、植林による緑化、参加者(特に学生)の事前事後の意識の変容、まわりへの影響などが挙げられる。尚、寄付額は全額使用した。	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,393	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	2月16日(日)の午後、北区十条のリサイクル&カフェ「フォースマイル」で「植林ワークキャンプ報告会」を行った(参加者15名)。 (使途) ・会場料 20,000円 ・広報費用 29,393円 (効果)参加者15名を集め、植林ワークキャンプや砂漠化防止への関心を高めることができた。	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,375	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	11月30日に今年度の砂漠緑化支援事業に関する「植林ワークキャンプ報告会」を行い、35名のひとりに活動報告をした。住宅エコポイントでの寄附金(18,375円)の使途としては、会場費として4000円と、周知のためのチラシ代(2000部で2万円)の一部として14375円を充当した。成果としては、ほとんどの方に植林ワークキャンプの活動内容を理解いただき、4分の1の方に次回の植林ワークキャンプへの参加意向を示していただいた。	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,068	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	2015年12月14日、2015年の「内モンゴル植林・環境教育活動報告会」を開催し、24名が参加した。その報告会の広報チラシの作業費として寄附金を活用した。報告会では、内モンゴル東部地区での植林や環境教育活動の様子が報告され、参加者との質疑応答が行われた。また、活動への参加が呼びかけられ、数人の参加者が関心を示していた。		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K107	団体名	公益財団法人オイスカ
連絡先 (電話／メール)	03-3322-5161	活動ホームページ (URL)	http://xtw.me/XNhu7BG
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	海外環境保全事業・「子供の森」計画事業		
寄附額合計	¥5,495,172		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥510,011	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(2011年度の活動)フィジー諸島共和国ビテレブ島にて、学校単位の緑化活動「子供の森」計画(52校)や、マングローブ植林43,500本 13.4ha、陸上での植林5,253本、8.4haの植林を行いました。そして、輸入作物に推され自国の産業としての農業を育てる観点から、環境に配慮した長期農業研修合計74名等を実施しました。更に女性と対象とした生活改善研修は65名の修了生を輩出しました。</p> <p>インドネシア共和国のジャワ島西部・中部にて、学校単位の緑化活動「子供の森」計画(49校)や、植林木数は、マングローブ植林や山での植林を加えると452,085本、約257haにのぼります。農村青年への研修も577名(短期研修・長期研修合算)にのぼり、研修終了後、彼らは、各々のふるさとで環境保全活動を実践しています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥658,889	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(2012年の活動)この度ご寄附頂いた658,889円と、当法人資金を合わせて、インドネシア、ジャワ島にて、学校単位の緑化活動「子供の森」計画(56校)や、マングローブ植林や山での植林を展開し、その成果は約37万本、228haにのぼります。</p> <p>300名余(2ヶ月間以上コース参加者合計)が農村青年研修研修終了後、各々のふるさとで環境保全活動や環境負荷の少ない有機農業を実践しています。9月にハリムンサラック山国立公園の植林プロジェクト周辺住民の環境教育視察を計93名で実施しました。また6月20-21日、9小学校、2中学校から106人が参加してデマック県でエコキャンプを開催しました。</p> <p>生物多様性の講義やネイチャーゲームなど様々なプログラムを通じて環境保全活動の大切さを学びました。これら事業により参加者の環境保全活動への意識が高まり、今後の活動への基盤となることが期待されます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥2,764,190	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)フィジービテレブ島にて、学校における植林や環境教育活動を推進する「子供の森」計画やサンゴ礁保全やマングローブ植林などの環境保全活動を推進しています。また内モンゴル自治区アラシャンにて、砂漠化防止のための緑化活動や持続可能な生計開発支援を行っています。</p> <p>(使途)オイスカの自己資金と皆様からのご寄附にて、フィジーの「子供の森」計画参加校(累計57校)で環境教育や植林・育林等を実施し、2013年度は3,340本、約1haの植林を行いました。また、内モンゴル自治区アラシャンでは、植林活動を進めるとともに、エミューの放牧や漢方の生産販売に同時に取り組むなど生計活動支援も行いました。</p> <p>(効果)各地域において子どもから大人まで幅広い世代を対象に環境教育を行い、また生計活動を併せて支援していくことで、地域住民の率先した緑化活動や持続可能な豊かな地域づくりを促進することができました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥1,041,033	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)南太平洋の国・フィジーにて、子どもたちの「自然を愛する心」を育みながら地球緑化を進める「子供の森」計画や、マングローブ植林等の環境保全活動や、環境に配慮した長期農業研修等を継続実施しています。近年フィジーでは海面上昇や大雨による土砂災害など多くの自然災害に直面しており、そのような災害被害を減らしていくためにも、陸地や海岸部での植林は非常に重要な活動となっています。</p> <p>(使途)皆様からのご寄附(全額)と弊団体の自己資金にて、フィジーの「子供の森」計画参加校(57校)で環境教育や植林・育林活動等を実施しました。</p> <p>(効果)2013年4月～2014年3月までには3,340本、1.30haの植林を行い、約2,400名へ環境教育や実践活動支援を行うことができました。またその過程を通じて、子どもたちや住民たちが自主的な環境保全活動や管理活動ができるような意識づくり・体制づくりを行いました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥521,049	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)南太平洋の国、フィジー共和国では近年温暖化による海面上昇といった深刻な自然災害に直面しており、環境保全活動を行うと同時に防災・減災につながる国民への環境意識の啓発が急務とされています。</p> <p>(使途)オイスカの自己資金と、皆様からのご寄附にて、同国「子供の森」計画参加校(累計58校)で環境教育や植林・育林活動等を実施しました。</p> <p>(効果)2014年4月～2015年3月までには6,855本、1.72haの植林を行い、約2,600名へ環境教育や実践活動支援を行うことができました。子どもから大人まで幅広い世代を対象にして地域全体を巻き込んだ活動を促すことで、災害に強い持続可能な地域づくりに向け、地域住民の自主的な環境保全活動や管理活動を促進することができました。</p>	

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K108	団体名	社団法人ガールスカウト日本連盟
連絡先 (電話／メール)	03-3460-0701	活動ホームページ (URL)	http://www.girlscout.or.jp/activities/project/greenerxgreener/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	ピースプロジェクト GREENER×GREENER		
寄附額合計	¥255,525		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥43,463	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)日本の子どもたちが国内での農業体験や森林保全体験活動を通し、環境保全に取り組むことにより、広く世界の問題も意識を高め、難民キャンプの環境保全活動を支援できるような仕組み創りを目指します。</p> <p>(使途)今回の寄附額は、使い途に示しているものを実施するに達することができませんでした。今回の寄附額については、全額を繰り越し、今後、家電エコポイントへの寄附額とあわせて、難民キャンプへのモニタリングや環境保全活動の実施に役立ててまいります。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥95,426	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)日本の子どもたちが国内での農業体験や森林保全体験活動を通し、広く世界の問題にも意識を高め、難民キャンプの環境保全活動を支援できるような仕組み創りを目指します。</p> <p>(使途)前回の寄附額(43,463円)および今回の寄附額(95,426円)をあわせても、使い途に示しているものを実施するに達することができませんでした。前回の寄附額および今回の寄附額の計138,889円を含め、すでにいただいている寄附については、以下の内容で使用していきます。国内での活動を充実していくために、日本の子どもたちが国内で活動していくためのガイドブックを作成・配布(2013年10月予定)する。</p> <p>ガイドブック掲載内容について(予定)</p> <p>(1)日本国内および世界の環境問題について知り、難民がなぜ誕生するのか、また難民がどのような生活をしているのかを知る</p> <p>(2)環境改善のために日本国内でできる活動について事例の紹介などを行い、少女が考え行動できるようにする</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥88,593	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)日本の子どもたちが国内での農業体験や森林保全活動を通し、広く世界の環境問題に対しての意識を高め、国外での環境保全活動を支援できるような仕組みづくりを目指しています。</p> <p>(使途)前回の繰越額(138,889円)および今回の寄附額(88,593円)を合わせても、別欄にある使い途にしめしている額に達することができませんでした。そこで、2014年度の寄附金と合わせ、国外における環境問題を考え、引き続き行動していくためのガイドブックを作成していくことを予定しています。</p> <p>ガイドブックへの掲載内容</p> <p>(1)国内実施内容の報告(今後も実施するための事例となるもの)</p> <p>(2)国外での活動計画</p> <p>(3)2015年に向けてどのようにプロジェクトを進めていくための提案</p> <p>2010年から開始したこのプロジェクトも、ようやく国内での活動が定着してきました。今後は、国内外においてプロジェクトが進むよう、いただいた寄附金を活用し進めて参りたいと思います。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥20,475	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>前回の繰越金227,482円と今回の寄附額20,475円と合わせた247,957円について報告します。</p> <p>(概要)日本の子どもたちが国内での農業体験や森林保全活動を通し、地域社会の環境問題に対しての意識を高め、環境活動を実施できるような仕組みづくりを目指す。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた全額247,957円を使用し、ガイドブックを6000部作成しました。</p> <p>ガイドブックには</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内での活動実績紹介 ・プロジェクト実施のための提案 ・ワーク <p>を掲載し、環境保全のための活動が全国的に実施されるように進めていきます。ガイドブックをもとに、環境問題が日本だけの問題ではなく世界規模の問題であることを理解し、自らが行動するだけでなく、地域の人々とともに環境問題について考え行動していくよう取り組みます。今後は、持続可能な環境を作れるよう、世界市民となる人材育成に努めます。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥7,568		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)子どもたちが国内で農業体験や森林保全活動を通し、環境問題に対しての意識を高め、環境活動を実施できるような仕組みづくりを目指します。</p> <p>(使途)前回、寄附を247,957円(前々年度までの繰越金含む)いただき、ガイドブックを作成しましたが252,720円の支出であり、差額が4,763円あったため今回の寄附金から充ていたしました。</p> <p>ガイドブックには下記を掲載しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト実施のための提案(P.7) ・ワークについて(P.10～P.26) <p>http://www.girlscout.or.jp/members/wp-content/uploads/2016/01/GxG2work1504.pdf</p> <p>残額2,805円については、プロジェクト普及のための通信費、事務費として使用しました。今後もより多くの地域の人々と環境について考え行動し、持続可能な環境を作れる人材育成に努めます。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K109	団体名	特定非営利活動法人開発教育協会
連絡先 (電話／メール)	03-5844-3630	活動ホームページ (URL)	http://www.dear.or.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	環境教育のための写真教材開発・発行事業		
寄附額合計	¥269,367		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,405	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)「食」を通して環境問題やグローバル化、フードマイレージ持続可能な社会について考える写真教材を作成します(対象:小学生～)。写真セットのほか、参加型の学習プログラムの実施手引き、資料集なども併せて作成し、学校やNPO/NGO等での活用を目指します。</p> <p>(使途)教材開発や活用のための会議の開催や関連資料の購入費の一部に29,405円を使用させていただきました。ご寄附を経費の一部に充てさせていただくことにより、より具体的な教材を作成することができました。</p> <p>(効果)教材が完成し、これまでに約1,000部を頒布。全国の学校やNPO/NGOの現場でご活用いただいています。これまで実施した体験講座には、約1,000名の市民が参加しました。今後も教材の活用を通じた持続可能な社会づくりに貢献して参ります。寄附者の皆さまにも、ワークショップの企画や講師派遣などご協力できます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,126	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)「食」を通して環境問題やグローバル化、フードマイレージ持続可能な社会について考える写真教材を作成します(対象:小学生～)。写真セットのほか、参加型の学習プログラムの実施手引き、資料集なども併せて作成し、学校やNPO/NGO等での活用を目指します。</p> <p>(使途)教材活用のための会議の開催や関連資料の購入費の一部に90,126円を使用させていただきました。ご寄附を経費の一部に充てさせていただくことにより、より具体的な教材を作成することができ、追加の資料を充実させることができました。</p> <p>(効果)教材が完成し、これまでに約1000部を頒布。全国の学校やNPO/NGOの現場でご活用いただいています。これまで実施した体験講座には、約2,000名の市民が参加しました。今後も教材の活用を通じた持続可能な社会づくりに貢献して参ります。寄附者の皆さまにも、ワークショップの企画や講師派遣などご協力できます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,893	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)「食」を通して環境問題やグローバル化、フードマイレージ持続可能な社会について考える写真教材を作成します(対象:小学生～)。写真セットのほか、参加型の学習プログラムの実施手引き、資料集なども併せて作成し、学校やNPO/NGO等での活用を目指します。</p> <p>(使途)教材活用のための会議の開催や関連資料の購入費の一部に49,893円を使用させていただきました。ご寄附を経費の一部に充てさせていただくことにより、追加の資料を充実させることができました。</p> <p>(効果)教材が完成し、これまでに約1500部を頒布。全国の学校やNPO/NGOの現場でご活用いただいています。これまで実施した体験講座には、約2,500名の市民が参加しました。今後も教材の活用を通じた持続可能な社会づくりに貢献して参ります。寄附者の皆さまにも、ワークショップの企画や講師派遣などご協力できます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥93,875	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)「食」を通して環境問題やグローバル化、フードマイレージ持続可能な社会について考える写真教材を作成します(対象:小学生～)。写真セットのほか、参加型の学習プログラムの実施手引き、資料集なども併せて作成し、学校やNPO/NGO等での活用を目指します。</p> <p>(使途)教材活用のための講座の開催や関連資料の購入費の一部に93,875円を使用させていただきました。ご寄附を経費の一部に充てさせていただくことにより、追加の資料を充実させることができました。</p> <p>(効果)教材が完成し、これまでに約2,000部を頒布。全国の学校やNPO/NGOの現場でご活用いただいています。これまで実施した体験講座には、約3,000名の市民が参加しました。今後も教材の活用を通じた持続可能な社会づくりに貢献して参ります。寄附者の皆さまにも、ワークショップの企画や講師派遣などご協力できます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,068	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)「食」を通して環境問題やグローバル化、フードマイレージ等の持続可能な社会について考える写真教材を作成します(対象:小学生～)。写真セットのほか、参加型の学習プログラムの実施手引き、資料集なども併せて作成し、学校やNPO/NGO等での活用を目指しています。</p> <p>(使途)教材活用のための講座で利用する資料の購入費の一部に6,068円を使用させていただきました。ご寄附を経費の一部に充てさせていただくことにより、追加の資料を充実させることができました。</p> <p>(効果)教材が完成し、これまでに約3,000部を頒布。全国の学校やNPO/NGOの現場でご活用いただいています。これまで実施した体験講座には、約3,500名の市民が参加しました。今後も教材の活用を通じた持続可能な社会づくりに貢献して参ります。寄附者の皆さまにも、ワークショップの企画や講師派遣などご協力できますので、ぜひHP(http://www.dear.or.jp/)をご覧ください。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K110	団体名	特定非営利活動法人環境文明21
連絡先 (電話／メール)	03-5483-8455	活動ホームページ (URL)	http://www.kanbun.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	企業の環境力UPのためのカリキュラム作りとモデル研修の実施		
寄附額合計	¥193,367		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,405	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)環境文明21では、環境教育教材(環境eラーニングディベートコンテンツ)を開発しました。コンテンツは4種、「大量生産」「環境税」「原子力発電」「パソコンリサイクル」です。</p> <p>(使用)この教材は通常1万円で販売していますが、この度ご寄附いただいた29,405円は、環境教育教材の費用(3コンテンツ)とその発送費にさせていただきました。送付時期は2011年4月で、送付先は全国地球温暖化防止活動推進センター(東京都千代田区神田)。今回、センターに来ていただいた皆様に環境教育教材を使っていただき、大量生産の是非などについて、利用者に学習してもらいました。利用者からは「自分の意見を整理できる」という声も頂きました。</p> <p>(効果)この教材はディベートを通して、自ら考え自発性を高めることを目的としているので、知識提供型の教材に比べて、より深い環境教育を行う事ができます。今後も、環境問題の研修等の教材として使用していきたい。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,126	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>環境文明21では、環境教育教材(環境eラーニングディベートコンテンツ)を開発しました。コンテンツは4種、「大量生産」「環境税」「原子力発電」「パソコンリサイクル」です。</p> <p>この教材は通常1万円で販売していますが、この度ご寄附いただいた90,126円は、環境教育教材の費用(4コンテンツ×3セット)とその発送費にさせていただきました。送付時期は2011年10月で、送付先は東北公益科大学(山形県酒田市)。大学生や生涯学習の皆様に環境教育教材を使っていただき、環境税の是非などについて、利用者に学習してもらいました。利用者からは「自分の意見を整理できる」という声も頂きました。</p> <p>この教材はディベートを通して、自ら考え自発性を高めることを目的としているので、知識提供型の教材に比べて、より深い環境教育を行う事ができます。今後も、環境問題の研修等の教材として使用していきたい。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,393	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>環境文明21では、環境教育教材(環境eラーニングディベートコンテンツ)を開発しました。コンテンツは4種、「大量生産」「環境税」「原子力発電」「パソコンリサイクル」です。</p> <p>この教材は通常1万円で販売していますが、この度ご寄附いただいた49,393円は、環境教育教材の費用(4コンテンツ+1コンテンツ(環境税))とその発送費にさせていただきました。送付時期は2012年11月で、送付先は慶応義塾大学環境情報学部(神奈川県藤沢市)。大学生や生涯学習の皆様に環境教育教材を使っていただき、環境税の是非などについて、利用者に学習してもらいました。利用者からは「自分の意見を整理できる」という声も頂きました。</p> <p>この教材はディベートを通して、自ら考え自発性を高めることを目的としているので、知識提供型の教材に比べて、より深い環境教育を行う事ができます。今後も、環境問題の研修等の教材として使用していきたい。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,375	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>環境文明21では、毎年、企業の環境力アップのためのシンポジウムを開催しています。持続可能な社会づくりには、企業自身が、環境配慮型の持続的成長を目指す企業に転換していく必要があり、そうした企業の環境力の向上のためにシンポジウムを開催しました。</p> <p>シンポジウムは、平成26年2月28日にアイビーホール(東京都渋谷区)で「経営者「環境力」大賞」を開催し、環境力あふれるユニークな経営者のお話を聞く機会を設けました。参加人数は約70名で、会場の参加者からの質問を交えて、活発にディスカッションも行うことができました。</p> <p>この度のご寄附の18,375円は、シンポジウムの会場費の一部に使わせていただきました。なお、シンポジウムはどなたでも参加でき、HP等でご案内をしております。皆様にも是非ご参加いただきたく、よろしくお願いいたします。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,068	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>環境文明21では、毎年、企業の環境力アップのためのシンポジウムを開催しています。持続可能な社会づくりには、企業自身が、環境配慮型の持続的成長を目指す企業に転換していく必要があり、そうした企業の環境力の向上のためにシンポジウムを開催しました。</p> <p>シンポジウムは、平成27年2月20日にアイビーホール(東京都渋谷区)で「経営者「環境力」大賞」を開催し、環境力あふれるユニークな経営者のお話を聞く機会を設けました。参加人数は約70名で、会場の参加者からの質問を交えて、活発にディスカッションも行うことができました。</p> <p>この度のご寄附の6,068円は、シンポジウムの会場費の一部に使わせていただきました。なお、シンポジウムはどなたでも参加でき、HP(http://www.kanbun.org/)等でご案内をしております。皆様にも是非ご参加いただきたく、よろしくお願いいたします。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K111	団体名	特定非営利活動法人共存の森ネットワーク
連絡先 (電話／メール)	03-6432-6580	活動ホームページ (URL)	http://www.kyouzon.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	森・里・海・川と「共存」する社会の構築に向けた次世代への普及啓発事業		
寄附額合計	¥195,267		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,405	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)「森の聞き書き甲子園」という高校生の環境学習プログラムを10年間、日本国内で実施してきました。毎年100人の高校生が、森林に関わる職業もつ農山村の生活者(名人)を訪ね、その智恵や技術を「聞き書き」し、記録する活動を実施し、参加高校生は名人の持つ知恵や技や生き方を学び、自然と人の暮らしとのつながりを考えるプログラムです。</p> <p>(使途)「森の聞き書き甲子園」参加高校生の研修会(平成23年8月)にご寄附を経費の一部として(会場賃借料や謝金等)に充てた。</p> <p>(効果)一昨年度より講師や高校生を支援する体制が整い充実した内容での研修を実施することができました。その成果は代表作品集及び、作品集に掲載しています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,526	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>「森の聞き書き甲子園」という高校生の環境学習プログラムを11年間、日本国内で実施してきました。毎年100人の高校生が、森林に関わる職業もつ農山村の生活者(名人)を訪ね、その智恵や技術を「聞き書き」し、記録する活動を実施し、参加高校生は名人の持つ知恵や技や生き方を学び、自然と人の暮らしとのつながりを考えるプログラムです。</p> <p>「森の聞き書き甲子園」参加高校生の研修会(平成24年8月)にご寄附90,526円を経費の一部として(会場賃借料や謝金等)に充てることにより、一昨年度より講師や高校生を支援する体制が整い充実した内容での研修を実施することができました。その成果は代表作品集及び、作品集にH25年4月掲載予定。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,393	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では12年前より、高校生を対象に「聞き書き甲子園」事業を行い、毎年全国100人の高校生が、森や海・川に関わる職業もつ農山村の生活者(名人)から、その智恵や技術を「聞き書き」し、自然と人の暮らしのつながりを学ぶ機会を提供しています。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた49,393円は「聞き書き甲子園」に参加する高校生が事前に東京で行う研修会(平成25年8月実施)にて、研修施設賃借料の一部として使わせていただきました。結果、昨年度より高校生の学びを支援するよりよい環境が整い、充実した内容で研修を行うことができました。</p> <p>(効果)研修施設をより長く借りることができたため、参加高校生100名全員が参加する研修プログラムを増やすことができ、参加高校生のより深い学びをサポートすることができました。今後はこれらの成果を一般社会に広く伝える方策を検討していきます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,375	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)「聞き書き甲子園」は、高校生が森・海・川の名人を訪れ、「聞き書き」という手法によりその生業や生き様について記録を行うこの事業は今年で14年目を迎えます。</p> <p>(使途)14年目を迎えるにも拘らず、一般への普及が難しく、その活動の意義をなかなか一般の方に知って頂くことが難しいという課題があります。その為、今回の寄附金全額と自己資金を合わせ、名古屋でのESDの世界会議(11月)や、東京でのエコプロダクツ展(12月)等に出展する際のパネル、展示品の作成を行いました。</p> <p>(効果)名古屋での世界会議では約1000名、エコプロダクツには161,647名の来場者があり、今まで「聞き書き甲子園」について全く聞いたことのない人に、その意義や、活動目的を理解して頂くことができたと思っています。また、2つのイベントにおいては、書籍の販売等を行い、さらなる活動資金を得ることが出来ました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,568	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、毎年12月に東京ビッグサイトで行なわれる「エコプロダクツ展」に出展し、「聞き書き甲子園」の普及に努めています。毎年、100人の高校生を100人の森・海・川の名人のもとへ送り、「聞き書き」という手法を用いてその生業や生き様を文章にまとめ作品を完成させる、というこの取り組みは来年で15年目となります。しかしながら、普及度・知名度が低いというのが課題となっています。</p> <p>(使途)そこで、いただいた環境寄附をエコプロダクツでのブース出展の強化に使用いたしました。具体的には、学生達が「聞き書き甲子園」への賛同者を増やすための冊子を作成し、その作成と印刷やブースにおいたパネルの作成に頂いた寄附を活用しました。</p> <p>(効果)その結果、300部ほど刷った冊子は全て配布しました。またブースに立ち寄った方にも、ブースが大変ユニークだと声をたくさん頂きました。ありがとうございました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K112	団体名	特定非営利活動法人グローバル・スポーツ・アライアンス
連絡先 (電話／メール)	03-3461-3082	活動ホームページ (URL)	http://www.gsa.or.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	スポーツイベントを通じた環境活動促進事業(環境負荷の軽減や参加者の環境意識啓発、ネットワーク化事業)		
寄附額合計	¥204,166		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,405	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>○環境セミナーを実施 2010年9月、講師に吉岡徹治氏を招き、GSA(グローバルスポーツアライアンス)セミナーを開催しました。(会場費、講師謝金の一部として1万円使わせていただきました)</p> <p>○2010年12月2日、映画「地球交響曲ガイアシンフォニー第7番」の自主上映会を開催しました。(フィルムレンタル料の一部として1万円使わせていただきました)</p> <p>○展示会での啓発活動 2010年12月、エコプロダクツ展に出展し環境啓発活動実施しました。(出展費の一部として9,405円使わせていただきました)</p> <p>これらの活動を通じ参加者へ環境啓発活動の実践を促すことができました。またスポーツ用品リユース促進活動として2011年2月、GSAキューバへ国内で使われなくなったスポーツ用品を発送しました。環境寄附の次年度への繰越金はありません。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,426	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>○2011年6月 キューバへ野球用品寄贈 発送費として33,824円使用しました。</p> <p>○テニスボールリユース活動 テニスクラブ等で不要になったテニスボールを小中学校教室の机や椅子の脚に取り付け教室内の騒音防止に役立てるリユース活動を年間を通して実施。ボール発送費として、56,602円使用しました。</p> <p>○寄附金の活用による効果 寄附金の活用により海外へスポーツ用品の支援をすることができた。 国内で不要となったスポーツ用品の有効活用ができた。</p> <p>今回いただいた寄附金の全額を使用させていただきました。次年度への繰越金はありません。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,893	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>○テニスボールリユース活動 テニスクラブ等で不要になった硬式テニスボールを小中学校教室の机や椅子の脚に取り付け、教室の騒音防止に役立てるリユース活動を年間を通して実施しています。ボール発送の費用として ¥49,893 使用しました。 活動詳細 ⇒ www.sports-eco.net</p> <p>寄附金の活用による効果 ○国内で不要となったテニスボールの有効活用ができた。 テニスボールを送った学校では静かな学習環境が得られ、難聴児クラスだけでなく健常児のクラスにおいても授業への集中度が高まっている。 また児童、生徒にリユースの大切さを学ぶ機会を提供することができた。※今回いただいた寄附金の全額を使用させていただきました。次年度への繰越金はありません。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥28,375	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>○2014年4月19日・20日 アースデイ東京出展費用として28,375円使用しました。</p> <p>東京都渋谷区代々木公園にて開催された「アースデイ東京2014」にブース出展、著名アスリートによる環境メッセージの紹介、不要になったスポーツ用品で作られたアート作品の展示、自転車による人力発電実験などを通じて参加者に環境を良くしてくれる豊かな自然を守る行動を呼びかけました。2日間で11万人の方々が来場しました。</p> <p>○寄附金の活用による効果 人力発電実験では電気を作る事の大変さ大切さを身をもって体験してもらうことでより効果的な活動をすることができた。 今回いただいた寄附金の全額を使用させていただきました。次年度への繰越金はありません。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,067	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>平成27年8月、国連環境計画(UNEP)との共同事業ケニアで実施の「ドリームキャンプ」に弊法人スタッフ大津克哉を現地でのスポーツと環境教育、スポーツ用品の寄贈等を目的として派遣。ナイロビ、ラガタ地区、キベラ地区のスラムエリアでのスポーツ指導、公衆衛生や地球環境問題に関する講義を実施いたしました。またリーダーシップ研修への参加、スラムエリアのクリーンアップや植樹活動などを通じて国際貢献ができました。今回の寄附金(¥6,067)は寄贈のテニスラケットの送料の一部として使用させていただきました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K113	団体名	特定非営利活動法人国際協力NGOセンター
連絡先 (電話／メール)	03-5292-2911	活動ホームページ (URL)	http://www.janic.org/news/post_269.php
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	環境×国際協力入門講座		
寄附額合計	¥201,532		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,351	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、MDGs(ミレニアム開発目標:環境の持続可能性の確保等、8つの目標を掲げた国際目標)の普及・啓発を目指して、貧困や環境の問題と私たちの生活のつながりを考えるワークショップを開発し、自主開催、講師派遣を行っています。</p> <p>(使途)2010年11月～2012年3月までに行った、7回のワークショップの運営費用に住宅エコポイント寄附でいただいた計29,351円を使わせていただきました。ご寄附を経費の一部(会場借料、印刷代等)に充てることにより、参加費や講師派遣料を無料または格安にできました。</p> <p>(効果)計186名の方に、ワークショップを通して貧困問題と環境問題のつながり、そして日本の私たちとのつながりを体験を通して理解していただくことができました。料金を低く設定できたことでより多くの方にご参加いただけました。住宅エコポイント寄附者の皆様に心より感謝いたします。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,026	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、MDGs(ミレニアム開発目標:環境の持続可能性の確保等、8つの目標を掲げた国際目標)の普及・啓発を目指して、貧困や環境の問題と私たちの生活のつながりを考えるワークショップを開発し、自主開催、講師派遣を行っています。</p> <p>(使途)2012年5月～2013年2月までに行った、5回のワークショップの運営費用に家電・住宅エコポイント寄附でいただいた計625,548円を使わせていただきました。ご寄附を経費の一部(会場借料、印刷代等)に充てることにより、参加費や講師派遣料を無料または格安にできました。</p> <p>(効果)計121名の方に、ワークショップを通して貧困問題と環境問題のつながり、そして日本の私たちとのつながりを体験を通して理解していただくことができました。料金を低く設定できたことでより多くの方にご参加いただけました。エコポイント寄附者の皆様に心より感謝いたします。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥53,213	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、MDGs(ミレニアム開発目標:環境の持続可能性の確保等、8つの目標を掲げた国際目標)の普及・啓発を目指して、貧困や環境の問題と私たちの生活のつながりを考えるワークショップを開発し、自主開催、講師派遣を行っています。</p> <p>(使途)2013年5月～2014年2月までに行った7回のワークショップにおいて、復興支援住宅/住宅エコポイント寄附でいただいた計53,231円を運営経費の一部(会場借料、印刷代等)として活用させていただきました。</p> <p>(効果)計160名の方に、ワークショップを通して貧困問題と環境問題のつながり、そして日本の私たちとのつながりを体験を通して理解していただくことができました。運営経費を抑え、料金を低く設定できたことでより多くの方にご参加いただけました。エコポイント寄附者の皆様に心より感謝いたします。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥21,375	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、MDGs(ミレニアム開発目標:環境の持続可能性の確保等、8つの目標を掲げた国際目標)の普及・啓発を目指して、貧困や環境の問題と私たちの生活のつながりを考えるワークショップを開発し、自主開催、講師派遣を行っています。</p> <p>(使途)2014年4月～2015年3月までに行った9回のワークショップにおいて、復興支援住宅/住宅エコポイント寄附でいただいた計21,375円を運営経費の一部(会場借料、印刷代等)として活用させていただきました。</p> <p>(効果)計149名の方に、ワークショップを通して貧困問題と環境問題のつながり、そして日本の私たちとのつながりを体験を通して理解していただくことができました。料金を低く設定できたことでより多くの方にご参加いただけました。エコポイント寄附者の皆様に心より感謝いたします。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,567	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、MDGs(ミレニアム開発目標:環境の持続可能性の確保等、8つの目標を掲げた国際目標)の普及・啓発を目指して、貧困や環境の問題と私たちの生活のつながりを考えるワークショップを開発し、自主開催、講師派遣を行っています。</p> <p>(使途)2014年5月～2015年6月までに行った、計10回のワークショップの運営費用に住宅エコポイント寄附でいただいた6,567円を活用しました。ご寄附を実施経費の一部(印刷代、付箋やマジックペン等)に充てることにより、参加費や講師派遣料を無料または格安にできました。</p> <p>(効果)計157名の方に、ワークショップを通して環境問題と貧困問題のつながり、そして途上国と日本の私たちのつながりを体験して理解していただくことができました。料金を低く設定できたことでより多くの方にご参加いただけました。エコポイント寄附者の皆様に心より感謝いたします。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K114	団体名	特定非営利活動法人国際連合活動支援クラシックライブ協会
連絡先 (電話／メール)	03-5775-3737	活動ホームページ (URL)	http://www.classiclive-un.org
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	Concert of Life “環境ミュージカル”による今と次代を担う地球市民のための環境教育啓発事業		
寄附額合計	¥202,866		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,405	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は2001年から、国内外にて小学生を含む一般の人を対象にした「国際会議」という形でシンポジウムを盛り込んだ環境ミュージカルの公演を実施している。幅広い年齢層にむけた公演は、環境問題への意識向上を目指し、「地球の現状」と「私達がすべき事」を共に学び、実行に導く場になっています。</p> <p>(使途)2010年は「環境ミュージカル-青い地球は誰のもの」の鑑賞券(2,000円)を金沢、沖縄、横浜、さいたまの開催地の小中学校、環境団体に無償配布する費用の一部に29,405円を使用致しました。無償配布することにより、幅広い範囲で公演告知をすることが出来ました。</p> <p>(効果)ご招待することにより各学校に直接公演の告知が出来、述べ1,000人以上の方に鑑賞して頂くことが出来ました。2011年は開催地をさらに広げ、鑑賞者から参加者になって頂く設定もしております。ご寄附を頂いた皆さまにもぜひご参加いただければ幸いです。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,126	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は2001年から、国内外にて「国際会議」という形でシンポジウムを併用した環境ミュージカルの公演を実施している。子供から大人までの幅広い年齢層が興味をもって参加する公演を行うことにより、地球に優しい環境づくりへの意識向上と実践への行動を導く場になっています。</p> <p>(使途)2011年は「環境ミュージカル-青い地球は誰のもの」鑑賞券(2000円)を広島、滋賀県立大学、東京、埼玉の開催地の小中学校、環境団体に無償配布する資料の費用の一部、2012年はリオサミット応援事業としてニューヨーク公演の凱旋公演も兼ね、12月22日の東京ウィメンズプラザでの公演へのプレゼント鑑賞券とプログラムの費用の一部として90,126円を使用致し、幅広い範囲で公演告知をすることができ観客動員につなげることが出来ました。</p> <p>(効果)今までの実績に加え、招待の公演告知することにより鑑賞者が昨年より倍増し、約2000人の方が参加しました。今までの活動実績が2012年のリオサミット支援事業としてのニューヨーク公演での開催することになり、リオサミットのイベントとして当日の公演映像が国連のイベントニュースで報道していただくことが出来ました。また、成蹊学園からは創立100周年記念招聘され、招聘公演として、「青い地球は誰のもの」を開催させていただきました。2013年の昭和女子大学の招聘に繋がりました。これからも真の環境教育の一環として、活動の輪を広げ、鑑賞者が参加者につながるよう基盤の拡大をします。ご寄附を頂いた皆さまにもぜひご参加いただければ幸いです。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥58,893	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は2001年から「国際会議」という形でシンポジウムを併用した環境ミュージカル公演を国内外で実施している。子供から大人までの幅広い年齢層が興味をもって参加する公演を行うことにより、地球環境への意識向上と実践行動を導く場になっています。</p> <p>(使途)2012年はリオサミット支援事業として環境ミュージカル「青い地球は誰のもの-OUR BLUE PLANET(英語名称)」開催、NYでの公演の様子が、リオサミットのイベントとして国連のWEBTVで世界中に発信されました。この成果と一般への普及として、12月22日東京ウィメンズプラザでのNY帰国記念公演の鑑賞券【2000円券】のプレゼント(応募対象:環境、ESDの団体、都内の学校、一般)とプログラムの費用の一部として58,893円を使い、告知と観客動員につなげることが出来ました。</p> <p>(効果)今までの実績に加え、プレゼント鑑賞券の応募をすることにより、一般の方々の鑑賞者が倍増しました。2013年は、2012年の成蹊大学からの招聘、NY公演の成果も加味され、2014年の国連持続可能な開発のための教育の10年最終年にむけて、ESDミュージカルとして、東京は昭和女子大、名古屋は中部大学の招聘公演に、また、2014年は欧州での開催につながりました。これからも一般への環境教育の普及をめざした活動の輪を広げ、鑑賞者が参加者につながるよう基盤の拡大をします。ご寄附を頂いた皆さまにもぜひご参加いただければ幸いです。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,375	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当協会は「生命のコンサート」活動を通し世界中の恵まれない子供達への教育支援をしています。その中で、環境ミュージカルとして地球憲章を基にした演劇と音楽そして講師の先生方のシンポジウムという形で公演をし、会場は、沖縄6月13日嘉手納ホール&14日OIST大学院大学、東京8月20日オリンピックセンター小ホール、岡山9月26日西川アイランドプラザ、名古屋11月11日国際センターにて行われました。</p> <p>各会場とも宣伝と観客動員を兼ねて地域の教育委員会との提携の元小中学校全員にチラシ配布。その折の資料配布経費に18,375円を使用しました。</p> <p>効果としては、芸術文化活動を通しての環境教育活動を青少年に対して広めることができ、持続可能な未来に向けての価値と原則と題されたこの憲章をとおして、環境がいかに日常の暮らしと密接に結びつき、心を一つにしなければ地球は守れないということを伝え、大きな反響を頂きました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,067	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は2001年から、国内外にて「国際会議」という形でシンポジウムを劇中におり込んだ環境ミュージカルの公演を実施している。子供から大人までの幅広い年齢層が興味をもって参加する公演を行うことにより、地球に優しい環境づくりへの意識向上と実践への行動を導く場になっている。「国際会議」では、その地域での有識者からの提言、若者からのメッセージなども織り込んでいる。</p> <p>(使途)平成26年度は「持続可能な開発のための教育の10年」記念として、東京、沖縄、名古屋、岡山にて公演し、6,067円を鑑賞券のプレゼントに使用した。</p> <p>(効果)一人でも多くの方に観劇していただくことで、啓発事業が浸透していくことができる。11月には、ヨーロッパ公演も開催し、海外へ、環境のメッセージを日本から発信することができた。今後も、観客動員、参加者の拡大へつなげていきたい。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K115	団体名	特定非営利活動法人の木
連絡先 (電話／メール)	090-2141-0082	活動ホームページ (URL)	http://www.sainoki.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	環境教育		
寄附額合計	¥195,862		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,405	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>■才の木トークカフェ(1)木材によるCO2固定認証制度(最先端の情報を専門家と自由に議論する)、日時:平成23年6月23日(木)14:00～16:30、場所:東京大学弥生講堂アネックスセイホクギャラリー、会費無料</p> <p>■同(2)森林木材と放射能(最先端の情報を専門家と自由に議論する)、日時:平成23年11月25日(金)14:00～16:30、場所/会費は同上</p> <p>(使途)寄附金の29,405円は、上記運営費、またその他の事業運営の一部に充当</p> <p>(効果)ご参加人数は計100名超 (今後)詳細予定等は、認定NPO法人の木(国税庁寄附金控除対象)のホームページ http://www.sainoki.org/info55.html</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,126	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>■才の木トークカフェ(1)木材によるCO2固定認証制度(最先端の情報を専門家と自由に議論する)、日時:平成23年6月23日(木)14:00～16:30、場所:東京大学弥生講堂アネックスセイホクギャラリー、会費無料</p> <p>■同(2)森林木材と放射能(最先端の情報を専門家と自由に議論する)、日時:平成23年11月25日(金)14:00～16:30、場所/会費は同上</p> <p>(使途)寄附金の9,407円は、上記運営費、またその他の事業運営の一部に充当</p> <p>(効果)ご参加人数は計100名超 (今後)詳細予定等は、認定NPO法人の木(国税庁寄附金控除対象)のホームページ http://www.sainoki.org/info55.html</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥51,890	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>■才の木トークカフェ(1)森林の放射能汚染Pt.2-消費者の視点から安全安心の生活を見る-、日時:平成24年6月20日(木)13:30～17:00、場所:東京大学弥生講堂アネックスセイホクギャラリー、入場無料</p> <p>■同(2)森の学校、木の教室。-森林と木材の体験型教育を考える-、日時:平成24年11月22日(金)15:00～17:00、場所:同上、入場無料</p> <p>(使途)寄附金の51,890円は、上記運営費、またその他の事業運営の一部に充当</p> <p>(効果)ご参加人数は計100名超 (今後)詳細予定等は、認定NPO法人の木(国税庁寄附金控除対象)のホームページにて http://www.sainoki.org/index.html</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,374	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>■才の木トークカフェを年2回(6月、2月)、社会的関心事をテーマに、場所:東京大学弥生講堂アネックスセイホクギャラリー、事前予約不要、入場無料にて主催しています。</p> <p>■そのほか、名古屋ならびに京都においてフォーラム、シンポジウムを、事前予約不要、入場無料にて主催しています。</p> <p>(使途)寄附金全額は、上記運営費、および、その他の事業運営の一部に充当しています。</p> <p>(効果)ご参加人数は計200名超となります。 (今後)詳細予定等は、NPO法人の木(国税庁寄附金控除対象)のホームページにて事前告知しています。 http://www.sainoki.org/index.html</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,067	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では2012年から、環境教育プログラムを実施しています。具体的には「トークカフェ」と名づけて、木材や日本の盛りに関する最先端のテーマを選び、講師(スピーカー)が提供した話題に対して参加者全員が自由に質問し、意見を述べるものです。</p> <p>(使途)年に二回実施する「トークカフェ」におけるコーヒー購入費用として、6,067円を使用することが出来、大変助かりました。</p> <p>(効果)毎年参加者数が増加して延50名を超えております。参加費は無料ですので、ご寄附をいただいた方々も、事前の登録なしに自由に参加することが出来ますので、ふるってご参加いただければ幸いです。 (告知)ホームページのアドレスは次のとおりです。 http://www.sainoki.org/ このトップページから、「トークカフェ」などをお知らせするためのメルマガが申込みますので、あわせてご利用ください。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K116	団体名	特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム
連絡先 (電話／メール)	070-5598-0295	活動ホームページ (URL)	http://www.sustainability-fj.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	私たちの未来を考えるワークショップ		
寄附額合計	¥194,960		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,205	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では2004年より持続可能な社会実現に向けて、市民の意識を変え視野を広げるための研究会を継続的に実施。その一環として財政難や人口減少など困難な状況の中でも、これからの未来を描いていこうと様々な取り組みを進めている島根県隠岐郡海士町に赴き、持続可能な社会に必要なドライバーとは何かを掘りこみエコツアーを実施。</p> <p>(使途) この度ご寄附いただいた30,205円と当会の資金を合わせ、2011年11月に海士町を訪問。町長とのダイアログをはじめ、漁師体験を行うなど島民の活力に満ちた暮らしを体験しました。</p> <p>(効果) 最終日に行った持続可能な島に向けた「2030年の島の未来を考える」ワークショップを好機に今後の協働について模索を開始。その後、助成金申請を通じて小規模生活単位で持続可能な社会構築に向けたエネルギーに関するフィージビリティスタディを行い、町、当会、主体団体の3者で取り組みを進めます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,926	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では2004年より持続可能な社会実現に向けて、市民の意識を変え視野を広げるための研究会を継続的に実施。その一環として、これからの未来を描いていこうと様々な取り組みを進めている島根県隠岐郡海士町より山内道雄町長をお招きし、シンポジウム、ワークショップを開催。</p> <p>(使途) この度ご寄附いただいた90,926円では、当日運営のための人件費に使用させていただきました。世界の持続可能な社会の実現に向けて、日本が取り組むべきエネルギー対策や少子高齢化、雇用の問題に挑戦する、日本の縮図ともいえる自治体に焦点をあて、電力自由化の動きの中で実務者、有識者とともにこれからの地域のあり方や自治体、企業の取り組みについて話し合った。</p> <p>(効果) 当日は延べ144名の皆様にご参加いただき、これまでの延長線上でない、これからの社会をどのように築いていくのかの次の活動につながるアウトプットとすることができた。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,390	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では2004年より持続可能な社会実現に向けて、市民の意識を変え視野を広げるための研究会を継続的に実施してきた。その一環として財政難や人口減少など困難な状況の中でも、これからの未来を描いていこうと様々な取り組みを進めている島根県隠岐郡海士町と協力。島の高校生と持続可能な島を目指すスウェーデンゴットランド島との交流を実施した。</p> <p>(使途) この度ご寄附いただいた49,390円と当会の資金を合わせ、2013年の1年間、地球の課題を考え地域で活動するという「地域地球学」の授業の中で持続可能な社会に向けた若者の人材育成に活用させていただきました。具体的には、ICT技術を利用してゴットランド島との交流を行い、お互いの島のこと、特に持続可能な社会のインフラとして重要になる再生可能エネルギーについて理解を深めた。</p> <p>(効果) 今回の取り組みが布石となり、2014年以降も交流を継続していくこととなった。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,373	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では2004年より持続可能な社会実現に向けて、企業市民の意識を変え視野を広げるための研究会を継続的に実施。その一環として2050年の社会および社会ニーズ(環境問題、環境リスクに起因して社会において解決が必要になる可能性がある課題)に対して、社会・経済の状況を想定するシナリオを策定する研究会を実施。シナリオとシナリオに付随する重要な要素を整理した。</p> <p>(使途) この度ご寄附いただいた18,373円と当会の資金を合わせ、2014年4月から2015年2月にかけて10回にわたる研究会と合宿を実施。</p> <p>(効果) この研究会を好機に今後、長期的な視野を持って企業経営を行いたいと考える企業と新たな研究会を実施することが確定した。研究会有志で得られた成果を実社会に広めるための協働を今後、行っていく。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,066	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では2004年より持続可能な社会実現に向けて市民の意識を変え視野を広げるための研究会を継続的に実施し、その一環として、これからの未来を描いていこうと様々な取り組みを進めている島根県隠岐郡海士町と月に1度、ICTを利用した会議を定期開催しています。</p> <p>(使途) この度ご寄附いただいた6,066円は、会議を運営する上での人件費に使用いたしました。世界の持続可能な社会の実現に向けて、日本が取り組むべきエネルギー対策や少子高齢化、雇用の問題に挑戦する日本の縮図ともいえる自治体に焦点をあて、電力自由化の動きの中で実務者、有識者とともにこれからの地域のあり方や自治体、企業の取り組みについて話し合いました。</p> <p>(効果) これまでの延長線上でない、これからの社会をどのように築いていくのかの現場レベルでの活動につながるノウハウの蓄積となりました。この成果は提言書として当会HPにて公開しております。 http://www.sustainability-fj.org/csr/future/ama/</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K117	団体名	特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議
連絡先 (電話／メール)	03-5834-2061	活動ホームページ (URL)	http://www.esd-j.org/j/topics/topics.php?itemid=3164&catid=94
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	持続可能な未来の学び(ESD)の推進		
寄附額合計	¥549,821		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥32,404	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)ESD-Jは、ESDの実践事例やESD推進の動きをお知らせするニュースレター「ESDレポート」を、年に4回発行しています。</p> <p>(使途)32,404円のご寄附は、「ESDレポート27号:特集 震災からの再生×ESD」の発行経費に充てました。</p> <p>(効果)ESD-Jは東日本大震災の被災者の支援および復興に向けて、「ESD関係者は何ができるのか？」を議論する「ESD-J全国ミーティング」を開催しました。全国から集まったESD関係者150名が、被災者のお話しの耳を傾け、被災地から遠く離れた地域に住む人々にできることを考えました。大切なのは、被災地に思いをはせ、できることを考え、行動する機会をつくること、そして震災を機に見えてきた現代社会の脆弱さをどう乗り越え、持続可能な社会づくりにつなげていくのかを、それぞれの地域で考える場を持つこと。ESDレポート27号ではその様子をお伝えしています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,126	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)ESD-Jは、ESDに取り組むNGO/NPO・教育関連機関・自治体・企業・メディアなどの組織や個人がつながり、国内外におけるESD推進のための情報発信の一つとして、機関誌「ESDレポート」を年間3回発行しています。</p> <p>(使途)90,126円のご寄附は全額、2012年6月開催の全国ミーティング報告掲載号の発行経費(印刷費および編集スタッフ経費)に充てました。</p> <p>(効果)2012年の全国ミーティングのメインテーマは、地域におけるESDを促進する要となるESDコーディネーターの育成とネットワーク化とし、全国から集まった100人を超える参加者とそのあり方を議論しました。「ESDレポート30号」は、ESDに関心を持つNPO・行政・企業等約700団体及び市民活動センターや環境学習施設約200ヶ所に約6000部を配布し、広報に貢献しました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥258,297	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)ESD-Jは全国のESD実践者が集う「ESD-J全国ミーティング」を毎年開催しています。また、国内外におけるESD推進のための情報発信のひとつとして、機関誌「ESDレポート」および「未来へつなぐ」を発行しています。</p> <p>(使途)258,297円は、全国ミーティング2012(6月16日-17日、東京)の運営費用とその結果報告「ESDレポート」29号および「未来へつなぐ」1号の発行費用に充てました。</p> <p>(効果)2012年の全国ミーティングは、地域におけるESDを促進する要となるESDコーディネーターの育成とネットワーク化をメインテーマとし、全国から集まった100人を超える参加者とそのあり方について議論しました。また震災から一年たった現地での状況について報告いただき、ESD関係者ができることについて議論しました。 「ESDレポート」29号は http://www.esd-j.org/j/book/book.php?itemid=3357&catid=133 「未来へつなぐ」1号は http://www.esd-j.org/esd-co/download/no1.pdf にて、ダウンロードしてご覧いただけます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥118,562	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)ESD-Jは全国のESD実践者が集う「ESD-J全国ミーティング」を毎年開催しています。また、国内外におけるESD推進のための情報発信のひとつとして、機関誌「ESDレポート」を発行しています。</p> <p>(使途)118,562円は、「ESDレポート」32号及び33号の発行費用に充てました。</p> <p>(効果)「ESDレポート」は2013年6月に岡上で開催した全国ミーティング(のべ250人参加)の報告をメインに作成し、ESDに関心を持つNPO・行政・企業および市民活動センターや環境学習施設に配布し、広報に貢献しました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥50,432	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2015年4月26日、立教大学にて「ESD世界会議からセカンドステージへ 公開ワークショップ」を開催しました。「国連ESDの10年」が終了し、ESDのセカンドステージの幕開けとなったこのイベントでは、昨年の世界会議の際に作成された各ステークホルダーの提言を基に、それらのエッセンスを確認するとともに、政府による施策の共有や、今後のESD実践、参加者一人ひとりがどのようにこれからESDを担っていくのかについて話し合いました。</p> <p>(使途)公開ワークショップの運営事務局経費として、ご寄附の一部を活用させていただきました。</p> <p>(効果)ワークショップは80名の参加を得、ESDの今後の展開を描く貴重な場となりました。報告書では各登壇者からの発表の内容や参加者の方と実施したグループディスカッションでの成果物など、当日の様子が紹介されています。報告書は当会のHP(http://www.esd-j.org/category/news)よりご覧ください。</p> <p>※2015年9月7日より団体名称が変更となりました 「持続可能な開発のための教育の10年推進会議」→「持続可能な開発のための教育推進会議」</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K118	団体名	特定非営利活動法人日本エコツーリズム協会
連絡先 (電話／メール)	03-5437-3080	活動ホームページ (URL)	http://www.ecotourism.gr.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	エコツーリズムの普及・調査・研究		
寄附額合計	¥53,912,015		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥7,252,945	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)主催イベントの開催、調査研究・人材育成事業 エコツーリズムに興味のある方や一般の方向けに、エコツアー等の紹介イベントを開催しました。また、エコツーリズムや環境保全金等への意識調査を行った「2010年度エコツーリズムに関する消費者ニーズ調査」を発行しました。あわせて人材育成事業として、エコツアーガイドになりたい方向けに講習会を行いました(約30名×12回、日本各地にて開催)</p> <p>(使途)主催イベントの会場費や諸経費、また調査費用、講習会(会場借料、印刷資料費等で毎回100万以上)</p> <p>(効果)イベントに参加された方がご自分の地域でも開催を希望され、三重県や北海道でも開催しました。また調査報告書は大学図書館等に寄贈しております。エコツアーガイド養成講習会に参加してくださった方が、地域に戻りエコツーリズム推進団体にて活動をされたり、実際に地方行政と組み推進を始めた方などがいらっしゃいます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥22,628,745	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>たくさんのご寄附をありがとうございました。エコツーリズムの普及や、エコツーリズムを通じた東日本大震災の復興関連事業に使用いたしました。</p> <p>(使途) 東日本大震災の復興支援ボランティア派遣等： 約400万円 エコツーリズム普及のための広報事業(HP改修、イベント開催、会報作成等)： 約1270万円 エコツアーガイドの交流事業や、エコツーリズムを学ぶ学生の研究発表の場としてのシンポジウム開催等： 約570万円</p> <p>これらの事業がもとで、「エコツーリズムを通じて被災地に貢献をしたい」と考える学生がそのまま被災地で就職をしたりケースがありました。また、よりよいエコツアーのご紹介を一般の方々を紹介できるHPの作成等ができました。 これらの事業により、いただきました寄附金は全て使用いたしました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥17,660,837	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)多くのご寄附を頂き、ありがとうございました。各地でエコツーリズムを推進するため、また東日本大震災の復興支援活動として、頂いたご寄附を活用いたしました。</p> <p>(使途) 1.東北支援活動： エコツアーガイド養成講習(人材育成講習会)などの人材育成、地域特産品の開発等 約300万円 2.広報活動:会報誌発行、「旅博」「旅フェア」など環境・観光関連イベント出展等 約800万円 3.交流事業:鳥取県と共同主催の「エコツーリズム国際大会」、学生の研究発表・交流の場(シンポジウム)としての「全国学生シンポジウム」開催等 約300万円 4.表彰制度・調査研究等 環境省との共同主催「エコツーリズム大賞」など 約200万円</p> <p>(効果) 1.地域の特産品を活かした新商品ドリンク「淡ぶんどろ」を開発し、2014年3月に新発売。物産センター等で販売開始。 2~4.今まで関わりのなかった層への広報活動により、各地でエコツーリズム推進が始まっています。 各事業にかかる人件費、交通費、印刷費、会場借料等に使用。今年度中に全額使用致しました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥5,008,575	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)日本エコツーリズム協会ではエコツーリズムの普及活動の一環として、エコツアーガイドとして地域で活動ができる人材を育成する事業を行いました。</p> <p>(使途)「エコツアーガイド養成講習会」(2日間開催あるいは3日間開催)を富山県上市町、宮城県塩釜市、愛媛県久万高原町で開催しました。交通費、印刷費、通信費などに寄附金を使わせていただきました。(全額今年度使用)</p> <p>(効果)各地域で20名程度の受講生があり、その後の報告によると、実際に富山県上市町では地域の自然や文化を説明するエコツアーガイドとして活動している受講生もいます。さらにその活動がアウトドア雑誌(「TRUNK」vol.03)に取り上げられたり、エコツーリズム推進の町として新聞(2015年3月18日朝日新聞掲載)に掲載もされております。講習会開催以降も受講生が核となり、継続してエコツーリズムに関する取り組みを行っているという報告もあります。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥1,360,913		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)ご寄附を頂きありがとうございました。エコツーリズムを推進するため、頂いたご寄附を活用いたしました。</p> <p>(使途)徳島県と青森県でそれぞれ「エコツアーガイド養成講習会」開催。 地域の自然や伝統・文化を資源として持続可能な観光を作り上げていく人材「エコツアーガイド」の養成を目的に、エコツーリズムの講習会を2泊3日で開催しました。頂いた寄附金はテキスト印刷や会場借料などに使用致しました。</p> <p>(効果)徳島県での講習会では21名、青森県の講習会では30名の方々の参加がありました。 実際にガイドとして活動している方も参加者にはいましたが、外部講師から改めてレクチャーを受けることでモチベーションアップに繋がり、講習会終了後、受講生の行うエコツアーが地元新聞やテレビ番組(青森朝日放送)に取り上げられるなど、地域で自然資源を保つていこうという意識の共有化に大いに効果がありました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K119	団体名	一般財団法人日本グラウンドワーク協会
連絡先 (電話／メール)	03-6459-0324	活動ホームページ (URL)	http://groundwork.or.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	Youth Eco Actionー若者主役のパートナーシップによる地域環境改善活動		
寄附額合計	¥193,359		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,404	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当協会では、全国のグラウンドワーク活動団体が取組む地域の環境やコミュニティの再生の活動を支援する取組を実施しています。</p> <p>平成22年度は、29,404円のご寄附いただきました。想定していた金額を大きく下回ったため、その有効な活用を考慮し、翌年度、当協会の企業賛助会員の会費の一部を主な原資とする支援事業に加えて活用することといたしました。</p> <p>助成対象としては、全国のグラウンドワーク活動団体とし、地域と行政や企業が連携した環境の整備、子どもや若者の生物学学習や生息環境整備など、地域のつながりを強めることにも通じるような活動となります。今後もご寄附を活用させて頂き、全国の活動団体の更なる支援に取組んでいく予定です。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,126	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当協会では、全国のグラウンドワーク活動団体が取組む地域の環境やコミュニティ再生の活動を支援するため、「グラウンドワーク企業スポンサー事業」を実施しています。</p> <p>この事業は、当協会の企業賛助会員の会費の一部を主な原資とするものですが、平成23年度は、ご寄附いただいた90,126円と少額であったため保留した前年度分29,404円、及び家電エコポイントでご寄附いただいた522,498円も加えさせていただき、総額80万円の事業としました。</p> <p>助成対象は、「過疎高齢地域の梅林整備と地元酒造会社と協働した梅酒づくり」「障害のある若者を主体としたコミュニティカフェのリニューアル」「生き物が生息できる苔が生えやすい水路の環境整備」などをテーマとした茨城、千葉、愛知の3団体で、地域や企業とも連携し、若者の教育や雇用、自立につながる取組みです。今後もご寄附を活用し、全国の取組み団体を支援して参りたいと存じます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,390	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当協会では、全国のグラウンドワーク活動団体が取組む地域の環境やコミュニティ再生の活動を支援するため、「グラウンドワーク企業スポンサー事業」を実施しています。この事業は、当協会の企業賛助会員の会費の一部を主な原資とするものです。</p> <p>ご寄附いただいた49,390円と合わせて、総額70,000円の事業としました。助成対象は、障害のある若者とボランティアでカフェを運営するNPO団体による「障害のある若者の地域清掃活動」です。</p> <p>地域商店街と連携し、障害のある若者が近隣の清掃活動や、店舗の植栽の手入れを行いました。若者の教育や雇用、自立につながる取組みです。今後もご寄附を活用し、全国の取組み団体を支援して参りたいと存じます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,373	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当協会と全国のグラウンドワーク活動団体は、東日本大震災の後、協働で宮城県気仙沼市本吉町に対する支援活動を行ってきた。炊き出し、環境改善、元気付けイベント、環境整備を含む復興計画づくり等に取り組んだ。次に、若者に定住してもらうため、安心して暮らせる環境づくり、収入を得るための産業振興が課題となった。</p> <p>本年度は、孵化施設で採卵した後は二束三文で処理していた小泉川を遡上するサケについて、うまく加工すると美味しい食品にできることが分かり、技術と経験を持つグラウンドワーク福岡(福岡県)が中心となって技術的検討と組織づくりの検討を行い、住宅エコポイント事業18,373円と、当協会の復興支援助成金を使って、当協会が協力することとした。</p> <p>使った経費の大半は4回の出張旅費の一部であるが、これによって検討が進み、一日も早い操業開始、若者の就業による地域の活性化とよりよい環境づくりができると期待している。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,066	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当協会は10月9日に設立20周年記念セミナーを開催した。</p> <p>「住民・企業・行政のパートナーシップによる地域再生に向けて」と題するセミナーでは、英国グラウンドワーク連合(GWUK)の理事長、専務理事のお二人にも講演とパネリストとしての参加をお願いし、グラウンドワーク発祥の地、英国の経験を踏まえた話をしてもらった。</p> <p>それに先立ち、茨城大学、千葉大学、東京大学で「農業、農村への応援活動」サークルに参加している学生各2名を呼び、GWUKのお二人の参加の下、意見交換会を開催し、活動状況の発表と意見交換を行った。この意見交換会の経費の一部として環境寄附を充てた。</p> <p>茨城大学生のその後の活動としては、12月6日、茨城大学「のらボーイ&のらガール」9名がグラウンドワーク笠間を訪問し、野菜の手入れ(芽キャベツ等)や「ブルーベリー畑」「栗畑」の冬支度整備を行った後、今後の取組みについてのミーティングを行った。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K120	団体名	特定非営利活動法人日本国際湿地保全連合
連絡先 (電話／メール)	03-5614-2150	活動ホームページ (URL)	http://japan.wetlands.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	干潟の市民調査に基づく生物多様性教育プログラムの構築		
寄附額合計	¥193,587		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,403	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、2009年度から全国4箇所の干潟で生物調査を通じた環境教育プログラムを実施しています。一般市民が干潟環境とそこに棲む底生生物への理解を深め、生態系の相互関係を学び、浅海域の環境保全を考えるきっかけを提供することを目的としています。</p> <p>(使途)効果的な干潟調査の人材育成のために、ベントス学会(2010年10月9日、東京大学柏キャンパス)に参加し、有識者等と打ち合せを行いました。このためのスタッフ旅費や資料代等として2010年8月までに振り込まれた147円を使用しました。2010年度残額の29,256円は次年度に繰り越し、新しい干潟生物の市民調査ガイドブックを印刷する予定です。</p> <p>(効果)大学院生や大学生など若手リーダーが開催する研修会運営について有益なご意見をいただきました。今後、研修会に参加した「調査リーダー」による干潟生物調査実施をサポートできるシステムを構築したいと考えています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,126	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では2010年度から、全国4海域の干潟で生物調査を通じた環境教育プログラムを実施しています。干潟環境とそこにすむ底生動物への理解を深め、生態系の相互のつながりを学ぶことで、浅海域の環境保全を考えるきっかけになるなど、一般市民が環境に配慮したライフスタイルを学ぶことができます。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた90,126円に、前年度振込分からの繰越金29,256円をあわせて119,382円を、『干潟ベントスフィールド図鑑』の製作・印刷に使用しました。2009年度発行の『干潟生物調査ガイドブック～東日本編』の掲載種に加えて、より種の多様性が高い西日本の生物種を網羅しています。</p> <p>(効果)エコポイント寄附金により、様々な方にお読みいただける冊子を印刷することができました。今後、全国での干潟市民調査に活用されることが期待されます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,590	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)干潟は多様な生態系サービスを私たちに提供しています。干潟環境の保全には、生物多様性の基礎調査が必要ですが、その資質をもつ人材と、使い勝手の良い教材がかつては不足していました。しかしながら、「干潟調査者を絶滅危惧種にするな!」を合言葉にした私たちの取組みにより、これらの課題は解決の方向にあります。効果的な人材育成や人脈構築のために、ご寄附いただいた資金を活用させていただきました。</p> <p>(使途)全国の干潟から「干潟調査の教材を譲ってほしい」との要望が多く寄せられるようになりました。このため、郵送料や印刷代等として平成25年4月までに振り込まれた金額を47,702円使用しました。寄附金残額1,888円は次年度に繰り越し、郵送料等に充てる予定です。</p> <p>(効果)ガイドブック等の教材は使い勝手が良く、有識者・アマチュアを問わず好評です。これらを使った市民調査の輪が広がることが期待できます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,372	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)自然環境調査の担い手不足の解消には、一般に市民参加型調査の導入が効果的です。しかし、干潟生物は分類が難しく、同定精度向上が慢性的な課題でした。私たちは、同定ポイントを的確に示した携帯性に優れた図鑑等がないことが問題の主因だと考えました。そこで、まず、実用的なガイドブックを製作し、次に、生物を発見しやすくする「干潟生物の実物大ラミネート図鑑」を考案しました。現在、これらの普及を進めています。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた18,372円と、前年度繰越金の1,888円に、当会の資金を合わせまして、上記の教材を、市民団体等にご送付しました。</p> <p>(効果)私たちが提供した教材は、盤洲干潟(千葉県)、和歌浦(和歌山県)などで開催される観察会などで使われています。教材を使うことによって、干潟生物や干潟の生態系についての理解を深めることができます。ご関心のある方は、是非ご利用いただければ幸いです。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,096	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)自然環境調査の担い手不足の解消には、一般に市民参加型調査の導入が効果的です。しかし、干潟生物は分類が難しく、同定精度向上が慢性的な課題でした。私たちは、同定ポイントを的確に示した携帯性に優れた図鑑等がないことが問題の主因だと考えました。そこで、まず、実用的なガイドブックを製作し、次に、生物を発見しやすくする「干潟生物の実物大ラミネート図鑑」を考案しました。現在、これらの普及を進めています。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた6,096円と、当会の資金を合わせまして、上記の教材を、リクエストのあった市民団体等にご送付することができました。</p> <p>(効果)私たちが提供した教材は、盤洲干潟(千葉県)、和歌浦(和歌山県)などで開催される観察会などで使われています。教材を使うことによって、干潟生物や干潟の生態系についての理解を深めることができます。ご関心のある方は、是非ご利用いただければ幸いです。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K121	団体名	特定非営利法人日本国際ボランティアセンター
連絡先 (電話／メール)	03-3834-2388	活動ホームページ (URL)	http://www.ngo-jvc.net/jp/projects/laos/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	土地・森林保全と持続的農業による生活改善プロジェクト		
寄附額合計	¥1,074,068		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥140,634	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、2009年度より南アフリカのハウテン州・ソウェト地区(都市部)において、地域住民を対象とした学校・家庭菜園づくりの研修を行っています。毎月3～5日間の研修では、土や環境に負荷をかけない持続的な農法として、身近にある自然・有機資源を活かして野菜をつくる有機農法を学んでいます。</p> <p>(使途)活動の一環としてH23年3月に実施した他団体との経験交流の諸経費(参加者交通費、宿泊費、交流経費、受入謝礼)として使わせていただきました。</p> <p>(効果)年間を通じて菜園から何らかの食べ物を継続的に得られるようになり、自分たちで採種・苗作りができるようになるなど持続性の芽が見え始めています。経験交流では参加者が土の大切さと自然環境を活かした農法の有効性を実感したことで、研修後にはこれまでなかなか定着しなかった技術を適用し始めたり、研修で学んだ新たな技術を取り入れるなどの変化が見られました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥113,387	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、2009年度より南アフリカのハウテン州・ソウェト地区(都市部)において、地域住民を対象とした学校・家庭菜園づくりの研修を行っています。毎月3～5日間の研修では、土や環境に負荷をかけない持続的な農法として、身近にある自然・有機資源を活かして野菜をつくる有機農法を学んでいます。</p> <p>(使途)活動の一環とし活動中に必要が生じた種や苗代として全額使わせていただきました。また、実践状況がいい農民を対象に、継続を励ます意味を込めて修了証を送り、表彰として持っていないが必要と思われた農具を送りました。</p> <p>(効果)活動の最終年ということで、これまで学んできた技術のうち、過去に学んだ技術の復習に力を入れ、技術の定着を図りました。研修頻度を落として実践状況を確認したところ年間通じて安定して食料を得られるようになり、貧困世帯の支出の削減にもつながりました。現地の言葉で教材も作成しました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥598,234	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)ラオスの農村部で暮らす人々は、食料をはじめとした生活物資を豊かな森林、河川などの自然から調達しています。日本国際ボランティアセンターでは、2008年度よりラオスのサワナケート県農村部において村人が将来に渡って持続的に自然資源を活用していけるよう、森林保全、自然資源管理、林産物の植栽といった活動を支援しています。</p> <p>(使途)6月1日の全国植樹の日や別の機会における植樹と環境教育、林産物(藤)の発芽／植栽研修、共有林や魚保護地区設置のための調査に関わる経費(主に苗代・燃料費を含む旅費・日当)に使用しました。</p> <p>(効果)環境教育と植樹は3つの村で計200人を超える子どもと大人の参加を得ました。それとは別にラタンの植栽も4村で実施し、順調に育っています。調査を行った共有林、魚保護区については、その後実際の設置に至り、設置セレモニーを行うとともに、規則を書いた看板も設置しました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥141,614	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)ラオスの農村部で暮らす人々は、食料をはじめとした生活物資を豊かな森林、河川などの自然から調達しています。日本国際ボランティアセンターでは、2008年度よりラオスのサワナケート県農村部において村人が将来に渡って持続的に自然資源を活用していけるよう、森林保全、自然資源管理、林産物の植栽といった活動を支援しています。</p> <p>(使途)自然資源保全に関心のある村で魚保護区設置のための調査を行い、適切と思われた2村で保護区を設置しました。いただいたご寄附141,614円は全額これらの調査、設置の諸経費の一部(主に燃料費を含む旅費・日当)に使用しました。</p> <p>(効果)保護区の場合や規則は村人が村全体での話し合いを通して決め、行政の認可も得て規則を記した看板も設置しました。ラオスの農村部では淡水魚は貴重なタンパク源であり、2村約150世帯全ての人々、また同じ川を利用する隣村の村人にも裨益します。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥80,199		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)ラオスの農村部で暮らす人々は、食料をはじめとした生活物資を豊かな森林、河川などの自然から調達しています。日本国際ボランティアセンターでは、2008年度よりラオスのサワナケート県農村部において村人が将来に渡って持続的に自然資源を活用していけるよう、森林保全、自然資源管理、林産物の植栽といった活動を支援しています。</p> <p>(使途)新芽は食用になり、育つとカゴなど手工芸品の材料ともなる有用な林産物である藤(とう)の植栽研修を6村で行いました。いただいたご寄附80,199円は全額これらの調査、設置の諸経費の一部(主に燃料費を含む旅費・日当)に使用しました。</p> <p>(効果)生活に有用な藤の植栽は、これまでも村人によって行われてきましたが、一部しか発芽しない、発芽しても1年近く時間がかかる、といった状況でした。ご寄附を活用して研修した発芽法を用いた結果、80%以上の種子が2ヶ月程度で発芽しています。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K122	団体名	公益財団法人日本ユニセフ協会
連絡先 (電話／メール)	03-5789-2012	活動ホームページ (URL)	http://www.unicef.or.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	気候変動と子ども－ブルキナファソ水と衛生事業		
寄附額合計	¥7,054,222		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥1,787,036	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>西アフリカのブルキナファソは、干ばつなどによる慢性的な水不足から、公衆衛生施設利用率が地方では6%、国全体では11%と非常に低い状況です。このような不衛生な水を利用せざるを得ない環境下では、下痢性疾患や他の伝染病へかかるリスクが非常に高まり、下痢性疾患は、マラリア、急性呼吸器疾患に次いで、ブルキナファソの幼児死亡原因の3番目に位置しています。この為ユニセフは、2010年3月より、安全な水や衛生的な環境の提供と、衛生習慣の向上を目的とした「水と衛生の支援プロジェクト」を開始。</p> <p>2010年度に寄せられた募金は、現地の6つの学校でトイレと手洗い場(各校に3ドアの女子トイレ1つ、3ドアの男子トイレ1つ、2ドアの教員用トイレ1つ)の建設費用等に用いられ、約1,500人の生徒が改善された衛生施設が利用できるようになりました。</p> <p>ユニセフは今後も水や衛生環境の向上と、人々の衛生習慣の向上に努めて参ります。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥2,804,389	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>西アフリカに位置するブルキナファソでは、人びとは農業や牧畜で生計を立てています。急速な気候変動は、この国で断続的な干ばつや洪水被害を引き起こし、人びとの暮らしを過酷なまでに脅かしています。ユニセフは2010年3月より、安全な水や衛生的な環境の提供と、衛生習慣の向上を目的とした「水と衛生の支援プロジェクト」を開始。</p> <p>これまでに寄せられた募金により、11基の手押しポンプ付きの井戸が完成し(3基は学校の井戸、8基はコミュニティの井戸)、3300人の子どもと住民が恒常的に安全な水を手に入れられるようになりました。20校の小学校に男女別トイレと手洗い場が建設され、約5,000人の児童が学校でトイレを使えるようになりました。</p> <p>その他、水と衛生設備の正しい使い方を理解するための啓発活動が15,000人を対象に実施され、小学校78校の264人の教員が環境教育の知識とスキルを習得しました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥1,673,807	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>西アフリカのブルキナファソは、干ばつなどによる慢性的な水不足から、公衆衛生施設利用率が地方では6%、国全体では11%と非常に低い状況です。安全な水へのアクセスができない環境下では、下痢性疾患にかかるリスクが極めて高く、ブルキナファソでは下痢性疾患がもとで、多くの幼い命が失われています。このためユニセフは、2010年3月より、安全な水や衛生的な環境の提供と、衛生習慣の向上を目的とした「水と衛生の支援プロジェクト」を開始。</p> <p>2012年～2013年度に寄せられた募金は、計12基の手押しポンプ付きの井戸の建設に用いられ、6,000人の子どもと住民が恒常的に安全な水を手に入れられるようになりました。また、コミュニティ主導型総合衛生計画にも用いられ、約4,562基のトイレが各世帯に建設され31,934人(1世帯7人)が受益しました。</p> <p>その他、水と衛生設備の正しい使い方を理解するための啓発活動が72の村で実施され、およそ36,000人が知識とスキルを習得しました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥578,126	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>西アフリカのブルキナファソでは、干ばつなどによる慢性的な水不足から、ため池などの不衛生な水を飲んだ子どもたちが下痢性疾患、寄生虫病などに苦しんでいます。また、食事の前やトイレの後に手洗いをするといい衛生習慣を実行することも難しく、生活全般に渡って衛生状態が悪化しています。こうした状況に対応するため、ユニセフは2010年3月より水と衛生支援プロジェクトを開始しました。</p> <p>住宅エコポイント事務局様より寄せられたご寄附を含め、これまでに寄せられた募金により、12基の手押しポンプ付きの井戸が完成し、6000人の子どもと住民が恒常的に安全な水を手に入れられるようになりました。</p> <p>78校の小学校の264人の教員が環境教育の知識とスキルを習得しました。172人の教員が学校菜園作りのための研修を受け、11,700人以上の児童が、植林や衛生管理のための活動に取り組みました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥210,864	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>住宅エコポイント事業からのご寄附は、ブルキナファソ気候変動の影響を受けている子どもたちへの支援という側面を強化した支援プロジェクトに活用させていただいておりましたが、2014年10月に同プロジェクトの終了に伴い、以後の寄附については、ユニセフの活動全体を支えるための資金に充てさせていただきました。したがって、次のおりご報告いたします。</p> <p>1) 85,348円をブルキナファソ水と衛生募金に活用させていただき、井戸の建設・管理、および衛生習慣の意識を高めるための啓発活動が実現しました。</p> <p>2) 109,173円をユニセフの活動全体を支えるユニセフ募金に活用させていただきました。保健、栄養、水と衛生、教育、子どもの保護など、150以上の国と地域で行われているユニセフの活動全体を支えていただく大切な資金として活かされました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K123	団体名	特定非営利活動法人ネイチャーセンターリゼン
連絡先 (電話／メール)	03-6413-6711	活動ホームページ (URL)	http://www.naturecenter-risen.com/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	御蔵島の自然環境保全を支援する事業		
寄附額合計	¥194,356		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,402	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、3年前から日本一のスダジイの巨木やオオミズナギドリなど、世界的に貴重な動植物の宝庫である御蔵島の自然を守り、未来へ受け継いでいくための環境教育支援事業を行っています。本年度は、専門家による環境調査や観察会に加えて、自然エネルギーの研修会や電気自動車のデザイン・出走式などを行いました。村民や観光で来島する人々などに御蔵島の自然と環境への取り組みを改めて紹介し、自然に対する知識を深めるとともに、自然に対する愛着や誇り、畏敬の念を感じていただく機会としました。</p> <p>(使途)平成23年度にご寄附いただいた29,402円は、その他の資金と合わせて自然エネルギーの研修会で使用するソーラー発電実験・工作用教材の購入に使用させていただきました。</p> <p>(効果)研修会2回にのべ100名が参加。実験・工作により子ども達にも自然エネルギー利用の持つ意味を身近に感じ、理解を深めてもらう事が出来ました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,126	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、2009年度から日本一のスダジイの巨木やオオミズナギドリなど、世界的に貴重な動植物の宝庫である御蔵島の自然を守り、未来へ受け継いでいくための環境教育支援事業を行っています。2011年度は、専門家による環境調査や観察会に加えて、森林保全活動、自然エネルギーの研修会や電気自動車のデザイン・出走式などを行いました。村民や観光で来島する人々などに御蔵島の自然と環境への取り組みを改めて紹介し、自然に対する知識を深めるとともに、自然に対する愛着や誇り、畏敬の念を感じていただく機会としました。</p> <p>(使途)2011年度にご寄附いただいた90,126円は、その他の資金と合わせて地質の研修会の開催費用(地層の剥ぎ取り道具、岩石ハンマー、ゴーグル、ルーペの購入)などに使用させていただきました。</p> <p>(効果)研修会には小中学校児童生徒、教職員、保護者や村民、計50名以上が参加。専門家による実験や説明会により、島の成り立ちなど地質的にも貴重な島の自然の持つ意味を身近に感じ、理解を深めてもらう事が出来ました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,890	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、2009年度から2011年度まで、日本一のスダジイの巨木やオオミズナギドリなど、世界的に貴重な動植物の宝庫である御蔵島の自然を守り、未来へ受け継いでいくための環境教育支援事業を行いました。2012年度は、東京私学教育研究所理数系教科(理科・生物)夏季宿泊研修会を企画・実施し、東京都内の私立中学高等学校の先生達26名を御蔵島に案内しました。御山の縦走や夜間のオオミズナギドリ観察に加えて、村民の方から直接御蔵島の伝統文化や暮らしの様子、教育の特色などを伺いました。</p> <p>(使途)2012年度にご寄附いただいた49,890円は、その他の資金と合わせて研修会用の教材購入費用に使用させていただきました。</p> <p>(効果)先生方は、特色ある離島の自然環境の体験に加えて、昔から自然と共生してきた島の人々のお話に直接触れることで大きな刺激を受け、今後の中学高等学校における理科・生物教育の一層の向上に資することになったと思います。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,872	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、2009年度から2011年度まで、日本一のスダジイの巨木やオオミズナギドリなど、世界的に貴重な動植物の宝庫である御蔵島の自然を守り、未来へ受け継いでいくための環境教育支援事業を行いました。2012年度は、東京私学教育研究所理数系教科(理科・生物)夏季宿泊研修会を企画・実施し、東京都内の私立中学高等学校の先生達26名を御蔵島に案内しました。御山の縦走や夜間のオオミズナギドリ観察に加えて、村民の方から直接御蔵島の伝統文化や暮らしの様子、教育の特色などを伺いました。</p> <p>(使途)2013年度にご寄附いただいた18,872円は、その他の資金と合わせて実験・観察道具などの教材購入費用に使用させていただきました。</p> <p>(効果)東京都の島嶼部をはじめとする多様な自然環境について、小学校や児童館などの教育現場で子どもたちが体感し、身近な自然と自分たちの生活の関わりについて学ぶことができました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,066	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、2009年度から2011年度まで、日本一のスダジイの巨木やオオミズナギドリなど、世界的に貴重な動植物の宝庫である御蔵島の自然を守り、未来へ受け継いでいくための環境教育支援事業を行いました。2012年度は、東京私学教育研究所理数系教科(理科・生物)夏季宿泊研修会を企画・実施し、東京都内の私立中学高等学校の先生達26名を御蔵島に案内しました。御山の縦走や夜間のオオミズナギドリ観察に加えて、村民の方から直接御蔵島の伝統文化や暮らしの様子、教育の特色などを伺いました。</p> <p>(使途)2014～15年度にご寄附頂いた6,066円は、その他の資金と合わせて実験・観察道具などの教材購入費用に使用させていただきました。</p> <p>(効果)東京都の島嶼部をはじめとする多様な自然環境について、小学校や児童館などの教育現場で子どもたちが体感し、身近な自然と自分たちの生活の関わりについて学ぶことができました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K124	団体名	特定非営利活動法人ブリッジ エーシア ジャパン
連絡先 (電話／メール)	03-3372-9777	活動ホームページ (URL)	http://www.baj-npo.org
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	ベトナムにおける実践型環境教育活動		
寄附額合計	¥3,563,134		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥609,072	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、2002年よりベトナム各都市の貧困地域において、地域の子どもたちによるゴミ分別活動を実施しています。子ども環境グループが地域住民を巻き込みながら地域の環境改善を図っています。</p> <p>(使途)フエ市において、毎週1回子ども環境グループによるゴミ分別活動や生ゴミからの堆肥作り・堆肥を使った作物栽培を実践しました。また、米粉麵の製麵所からの排水が川に直接垂れ流されていたため、その排水を処理するための簡易浄化槽を設置しました(Doa製麵所)。ご寄附いただいた609,072円は、当団体の資金と合わせて、農業指導の講師代や簡易浄化槽の建設、事業管理費等に使用させていただきました。</p> <p>(効果)ゴミの分別活動を通して、ゴミは資源であることを地域住民が再認識するようになってきました。簡易浄化槽の設置では、製麵所からの有機物の多い排水が直接川に流れ込まないように改善されました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥1,368,544	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、2002年よりベトナム各都市の貧困地域において、地域の子どもたちによるゴミ分別活動を実施しています。子ども環境グループが地域住民を巻き込みながら地域の環境改善を図っています。</p> <p>(使途)フエ市トウイスワン地区において、毎週1回、地域住民と子ども環境グループによるゴミ収集・分別活動や、無/減農業栽培された作物の収穫体験を行いました。また、零細養豚農家が豚を解体する拠点では、解体時の排水が小川に垂れ流しの状態になっていたため、その排水を処理するための簡易浄化槽を設置しました。ご寄附いただいた1,368,544円は、当団体の資金と合わせて、農業指導の講師代や簡易浄化槽の建設、事業管理費等に使用させていただきました。</p> <p>(効果)分別した資源ゴミは売却し、コミュニティ基金として積み立てています。簡易浄化槽の設置では、豚解体拠点からの汚水が直接小川に流れ込まないよう改善されました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥1,152,900	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、2002年よりベトナム各都市の貧困地域において、地域の子どもたちによるゴミ分別活動を実施しています。子ども環境グループが地域住民を巻き込みながら地域の環境改善を図っています。</p> <p>(使途)フエ市トウイスワン地区において、環境教育活動の一環として、地域住民や子どもたちによるゴミ収集・分別活動や、無/減農業栽培された作物の収穫体験を行いました。また、地区内の米粉うどんのお店からの排水が小川に垂れ流しになっていたため、その排水を処理するための簡易浄化槽を設置しました。ご寄附いただいた1,152,900円は、当団体の資金と合わせて、環境教育の活動費や簡易浄化槽の建設費、事業管理費等に使用させていただきました。</p> <p>(効果)米粉うどん屋から発生する汚水には油分や食べ残しが混じっており小川の悪臭の原因の一つとなっていました。簡易浄化槽を設置したことによりそれらが軽減されました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥379,422	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、2002年よりベトナムにおいて、学校・地域の子どもたちを対象とした環境教育やゴミ分別活動を実施してきました。子どもたちによる環境グループが中心となって、地域の環境改善を図っています。</p> <p>(使途)ベトナム中部のトゥアティエンフエ省フーロック郡ヴィンミー村において、毎月2回、中学生を対象とした環境教育活動を行い、ゴミ・衛生に関する学習を行うと同時に、資源ゴミの分別や生ゴミ・落ち葉などからの堆肥作りと堆肥を使った作物栽培に関する実践活動を行いました。ご寄附いただいた379,422円は、当団体の資金と合わせて、環境教育の活動費や事業管理費等に使用させていただきました。</p> <p>(効果)地域で発生するゴミの増加が深刻になっていく中、40名の子どもたちがその問題についての理解を深めました。さらに、自分たちでできることを考え実践することで、ゴミの量を減らし、地域の環境改善に貢献しています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥53,196	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、2002年よりベトナムにおいて、学校・地域の子どもたちを対象とした環境教育やゴミ分別活動を実施してきました。子どもたちによる環境グループが中心となって、地域の環境改善を図っています。</p> <p>(使途)ベトナム中部のトゥアティエンフエ省フーロック郡ヴィンミー村において、中学1・2年生を対象とした環境活動クラブを立ち上げ、毎月2回、ゴミ・衛生に関する学習・実践など、環境活動を実施しました。生徒たちはゴミを分別するためのゴミ箱を作成し、各クラスごとに資源ゴミを分別しました。ご寄附いただいた53,196円は、当団体の資金と合わせて、環境教育の活動費や事業管理費等に使用させていただきました。</p> <p>(効果)対象地域には行政によるゴミ収集サービスがなく、学校で発生したゴミは学校内で焼却処理しています。本活動により、35名の中学生がゴミ問題についての理解を深め、ゴミの減量を実践しました。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K125	団体名	特定非営利活動法人水俣フォーラム
連絡先 (電話／メール)	03-3208-3051	活動ホームページ (URL)	http://www.minamata-f.com
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	水俣病の経験を広く共有するための普及啓発活動		
寄附額合計	¥221,553		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥47,002	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、「水俣」をさまざまな角度から考える講演会を開催しています。11月30日にはブックデザイナーで映画評論家でもある鈴木一誌さんを講師にお招きし、水俣だけでなく、原発関連作品も撮ってきた土本典昭監督の仕事の今日的な意味を浮き彫りにしながらご講演いただき、33名の参加者を得ました。</p> <p>(使途)2011年2月18日までにいただいたご寄附47,002円は11月30日に開催した水俣セミナー運営費のうちの会場費、チラシ印刷代、発送費、講師謝金の一部に使わせていただきました。</p> <p>(効果)人が集まりやすい会場の手配が、費用の面で厳しくなっている昨今、ご寄附を使わせていただくことにより、都心での開催が容易になりました。今後も水俣から、私たち自身の生活や社会を問い直す場を提供していくためにご寄附を使用させていただきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,724	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2012年度は岐阜、東京での講演会に始まり、8月には100回を記念しての「水俣セミナー」を3回集中開催、9月には「原田正純追悼講演会」、11月からは「第一期水俣病大学」の開講と、従来の活動に加え、新しいことにチャレンジした1年でした。</p> <p>(使途)ご寄附90,724円のうち21,000円を8月のセミナーのうちの101回セミナーの運営費(レジュメ作成費、講師謝金)に、残り69,724円を9月の「原田正純追悼講演会」の会場付帯設備費の一部に使わせていただきました。</p> <p>(効果)セミナーには29名が、講演会には540名が参加され、「改めて福島の問題と通底するものが多い」、「福島を心配されていた原田先生の遺志を受け継ぐためにも水俣から学ばなければならない」といった声を寄せられました。セミナーのように小規模でも大事な活動を継続するためにも、エコポイント助成は大変ありがたかったです。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥58,390	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2013年度は4,5月に福岡市で「水俣病記念講演会」「水俣・福岡展」を開催、合わせて5,588名の来場者を迎えることができました。また「水俣セミナー」を4回開催、水俣に関わり続けて来られたアートディレクターや前熊本県知事、福島に通い続ける小児科医など、多彩な講師を招いて話を聞く機会を設けた。また11月には3泊4日の「水俣への旅」を催行、30名の参加者とともに水俣の地を訪れました。</p> <p>(使途)今回のご寄附58,390円は、水俣セミナーの広報チラシ制作費および近隣図書館への郵送費に6,851円を、講師交通費と謝金の一部に51,539円を使用いたしました。</p> <p>(効果)10月の世界水銀条約直前には、現地水俣から講師を招き、概要の解説や地元の見聞などを聞く機会を得ました。セミナー参加者はのべ175名、2月の山田真氏の回には福島から避難されている方も足を運ばれ、水俣病事件が原発事故後の福島のこれからを考える上で、示唆に富むものであると感じていただけました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,371	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2014年度は5月に東京・有楽町で「水俣病記念講演会」を、6月から9月まで池袋の立教大学にて「第2期水俣病大学」を、11月には岐阜市で「水俣・岐阜展」を、さらに12月と2月に新宿にて「水俣セミナー」を開催し、水俣病事件から今日に関わる問題を、ともに考える機会を提供してきました。</p> <p>(使途)今回のご寄附19,371円は、2月の水俣セミナーの講師旅費の一部に使わせていただきました。</p> <p>(効果)2月の元・熊本県職員の森枝敏郎氏の回には、自治体職員や遠方からの参加者など38名の来場者を迎えました。熊本県の水俣病行政と深くかかわった講師を熊本から呼ぶことが出来、当時の県行政側の事情、患者さんとの交流など、聴く機会の少ない貴重なお話を、来場者の方と共有することができました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,066	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)水俣病公式確認から60年を来年に控え、2015年はその準備期間として活動していました。その一環として、またその合間を縫って、4月に「水俣・福岡のつどい」、5月に東京で「水俣病記念講演会」、9、10月には水俣市、熊本市、福岡市で「熊本展開催のための集い」を、9、11月には新宿にて「水俣セミナー」を、10月には水俣でトークイベントを開催しました。</p> <p>(使途)今回のご寄附6,066円は、9月の水俣セミナーの広報チラシ制作費および発送費の一部に使わせていただきました。</p> <p>(効果)9月のセミナーには、もともと支援で水俣入りし、その後も現地にどまり、魚の行商を営んでいる中村雄幸氏を招き、53名の来場者を得ました。当時の運動の様子、現在の水俣の海、魚介の水銀値の状況等のお話を共有することができました。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K126	団体名	特定非営利活動法人ミレニアムシティ
連絡先 (電話／メール)	03-3929-4663	活動ホームページ (URL)	http://npo-mc.com
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	エコビレッジ実践講座		
寄附額合計	¥222,733		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥33,902	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>ミレニアムシティでは、毎月ワークショップを開催して、エコビレッジに係わる人材の育成を行っています。吉祥寺ミレニアムシティのワークショップとして「花咲く体験農園2011」、「夏野菜がもりだくさん」、「練馬大根収穫祭2011」、「6年目の体験農園」を開催しました。</p> <p>(使途)ワークショップのPR用チラシの印刷費、説明資料印刷費として約10,000円の出費が出ております。また、ワークショップの材料費として約50,000円、消耗品費として約5,000円の出費が出ています。ご寄附は経費の一部(印刷費、材料費、消耗品費)として使わせていただきました。</p> <p>(効果)多くの新しい参加者においていただくことができ、エコビレッジの輪を広げることができました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥103,693	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>ミレニアムシティでは、毎月ワークショップを開催して、エコビレッジに係わる人材の育成を行っています。吉祥寺ミレニアムシティのワークショップとして「夏野菜がもりだくさん」、「練馬大根収穫祭2012」、「7年目の体験農園」を開催しました。</p> <p>(使途)ワークショップのPR用チラシの印刷費、説明資料印刷費として約10,000円の出費が出ております。また、ワークショップの材料費として約50,000円、消耗品費として約5,000円の出費が出ています。残りの38,693円は経費の一部(印刷費、材料費、消耗品)として使わせていただきました。</p> <p>(効果)多くの新しい参加者においていただくことができ、エコビレッジの輪を広げることができました。具体的にエコビレッジ建設を計画している参加者もあり、とてもよい参考になったとの感想が寄せられました。また、具体的などころまではいっていませんが、将来はエコビレッジ的な生活をしたいという方も多く、エコビレッジを普及させる人材の発掘につながる期待が生まれました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥57,390	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>ミレニアムシティでは、毎月ワークショップを開催して、エコビレッジに係わる人材の育成を行っています。通常のワークショップの他に、千葉県旭市の震災復興のために現地ワークショップを6回開催しました。</p> <p>(使途)ワークショップのPR用チラシの印刷費、説明資料印刷費として約10,000円の出費が出ております。また、ワークショップの材料費として約40,000円、消耗品費として約2,000円の出費が出ています。残りの5,390円は経費の一部(印刷費、材料費、消耗品)として使わせていただきました。</p> <p>(効果)被災者を含む多くの地元住民の皆さんに参加していただき、エコビレッジの理念を入れた震災復興と一緒に考えることができました。具体化はできていませんが、エコビレッジ的な生活への理解が広がり、それを実現する人材の発掘につながる期待が生まれました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥20,446	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>ミレニアムシティでは毎月ワークショップを開催して、エコビレッジに係る人材の育成を行っています。くりもとミレニアムシティでは、自給自足やエコビレッジづくりの実践のためのワークショップとして、「有機の味噌づくり」や「野草の酵素づくり」、「先進事例の視察」などを行いました。また、吉祥寺ミレニアムシティでは体験農園を行いながら、季節ごとにワークショップを開催して一般への普及に努めました。</p> <p>(使途)ワークショップのためのPR用チラシの印刷費、説明資料印刷費として約5,000円、ワークショップで使用する材料費・消耗品費として約45,000円の出費がありました。いただいたご寄附20,446円は、印刷費や材料費の一部として全額使用させていただきました。</p> <p>(効果)多くの新しい参加者においていただくことができ、エコビレッジの理念を広げると共に、新たな輪をつくることができました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,302	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)ミレニアムシティでは毎月ワークショップを開催して、エコビレッジに係る人材の育成を行っています。くりもとミレニアムシティとあさひミレニアムシティでは、自給自足やエコビレッジづくりの実践のためのワークショップとして、「有機の味噌づくり」や「野草の酵素づくり」、「先進事例の視察」などを行いました。また、吉祥寺ミレニアムシティでは体験農園を行いながら、季節ごとにワークショップを開催して一般への普及に努めました。</p> <p>(使途)ワークショップのためのPR用チラシの印刷費、説明資料印刷費として約4,000円、ワークショップで使用する材料費・消耗品費として約35,000円の出費がありました。いただいたご寄附7,302円は、印刷費や材料費の一部として全額使用させていただきました。</p> <p>(効果)多くの新しい参加者においていただくことができ、エコビレッジの理念を広げると共に、新たな輪をつくることができました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K127	団体名	特定非営利活動法人野生生物保全論研究会
連絡先 (電話／メール)	0422-54-4885	活動ホームページ (URL)	http://www.jwcs.org
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	野生生物の保全教育に関する活動		
寄附額合計	¥201,303		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,452	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)セミナーを2回開催しました。2011年6月19日「小型哺乳類を観察する楽しみ」話者:安藤元一(東京農工大学)では、野生のほ乳類は小型の種が多いにもかかわらず、動物園での展示が少ないことを指摘し、野生動物のくらしと自然環境について考える動物園での展示や野外観察について提案しました。</p> <p>9月14日「世界の野生動物研究」話者:山口誠之(カタル大学)では、進化史からみたライオンの生態や保全のあり方について、またカタルに生息するエチオピアハリネズミの行動生態の研究などを通じて世界での野生動物研究の最前線の話がありました。</p> <p>(使途)寄附金はこれらのセミナー開催のための事務費に使わせていただきました。</p> <p>(効果)6月のセミナーは参加者20名、9月のセミナーは参加者23名でした。どちらのセミナーも若手研究者から熱心な質問があり、将来の研究の発展に期待が持てました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,424	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)セミナーを2回開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年6月19日「小型哺乳類を観察する楽しみ」講師:安藤元一(東京農工大学教授)東京・JICA地球ひろば 参加者10名 ・平成23年9月14日「世界の野生動物研究」講師:山口誠之(カタル大学)東京・JICA地球ひろば 参加者17名 <p>(使途)セミナー会場費、参加者配布用資料作成費、広報及び受付等事務人件費の一部として全額使わせていただきました。</p> <p>(効果)生物系の学生を中心に若手研究者が集まる活気のあるものとなりました。セミナーの内容は専門的で日本で研究テーマとしている人が少ないため、遠くは京都から参加がありました。このセミナーは野生生物保全を志す研究者同士の交流の場を提供する役割も果たしました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥53,490	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2013年6月11日に、東京・青山の地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)で開催したシンポジウム「エコツアーによる地域振興と野生生物保全 アフリカから日本を考える」に活用させていただきました。当会の事務所は狭く多くの人数が入れる会議室等を保有していないため、セミナー等を開催するために費用がかかっていました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた53,490円と、当会の資金を合わせまして、30名の定員が入れる会場を借用し、講師を京都から招へいすることができました。また配布資料の印刷にかかる費用を抑えることができたため、学生等の参加費を無料とすることができました。</p> <p>(効果)都内の駅からほど近い通いやすい会場を確保することができ、また学生の参加費を無料にすることができたため、若い学生が多く参加し、さらにシンポジウムには定員いっぱいの方に参加していただくことができました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,371	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2013年5月13日に、武蔵野市(東京)の武蔵野プレイスで開催したセミナー「世界の野生動物研究:スローロリスの現状と保全の取り組み」に活用させていただきました。当会の事務所は狭く多くの人数が入れる会議室等を保有していないため、セミナー等を開催する会場費に費用がかかりました。</p> <p>(使途)ご寄附頂いた18,371円と、当会の資金を合わせまして、40名の定員が入れる会場を借用し、イギリスから講師を招へいすることができました。</p> <p>(効果)都内の駅からほど近い通いやすい会場を確保することができました。また、当初の事業計画で予定していなかった急なセミナー開催にも関わらず、獣医学部の学生や、ペットショップの関係者、専門学校生から多数の参加申し込みがあり、会場の広さ的にお申し込みを断らざるを得ない状況となるほど、多くの方に興味を持ってもらえるセミナーとすることができました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,566	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2015年10月29日に、環境パートナーシッププラザ(東京・青山)にて開催したセミナー「野生生物保全のための内戦～アフリカ中央部熱帯林地域での事例より～」に活用させていただきました。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた金額から、会場までのスタッフの交通費と、講師への謝金を支払いました。</p> <p>(効果)30人ほどが参加し、アフリカでの野生生物保全の現場の話を伝えることができました。その中には大学生も含まれ、セミナーで聞いた内容を卒論に取り上げるために、当会の事務所にインタビューに来てくれるなどの成果がありました。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K128	団体名	あそあそ自然学校
連絡先 (電話／メール)	076-472-4410	活動ホームページ (URL)	http://www.asoaso.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	地球温暖化防止をテーマとした「エコかるた」作成・普及プロジェクト		
寄附額合計	¥202,753		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥32,002	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>全体額が未確定のため、現在「住宅エコポイント基金」として全額繰越金としている。</p> <p>繰越金は、富山県独自の地域環境ニーズもとらえながら、より効果的な使途とすることを検討している。</p> <p>最終的には積算で相当程度の寄附金が予想されることもあり、環境啓発ツールを抜本的に作り直したいと考えている。</p> <p>例えば、節電に絞ったカルタなど節電に絞った啓発ツールをオリジナルで開発作成して富山県内の主に小学生に配布する。放課後児童クラブ向けに出張環境講座を実施することも検討している。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,924	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>全体額が未確定のため、現在「住宅エコポイント基金」として全額繰越金(残高122926円)としている。</p> <p>繰越金は、富山県独自の地域環境ニーズもとらえながら、より効果的な使途とすることを検討している。</p> <p>最終的には積算で相当程度の寄附金が予想されることもあり、環境啓発ツールを抜本的に作り直したいと考えているが寄附時期よりも乖離することは好ましくないので、放課後児童クラブ向けに出張環境講座を平成25年度中に実施することも検討している。</p> <p>例えば、放課後児童クラブ単体ではなかなか実施できない実際の里山の生き物を展示した「生き物クイズラリー」や竹を使った「自然工作」など存在感あるユニークな環境教育プログラムを具体化したい。予算10万円。事業実施予定:平成25年11月。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥55,390	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(使途)富山県独自の地域環境ニーズ変化や寄附金額も勘案し、「エコかるた」を使った食育プログラム「子どもエコクッキング」事業を2回行った。1回目:平成25年12月14日(土)、2回目:平成26年3月2日(土)。場所はいずれも公益財団法人富山YMCAのY'sさくらカフェ。事業の直接的な経費(広報、会場代、講師料等)として、前回繰越金122,926円と今回寄附金55,390円を合計した178,316円に、自己資金(将来の寄附金見込みを含む)を充当して、250,000円を使った。食材・材料代は参加者自己負担。</p> <p>(効果)各回5名定員のところ、毎回3倍を超える応募があり、抽選で参加者を決定。実際の参加者は12月14日・6名、3月1日・6名。寄附金により、通常はできないプログラムが実施できた。また、充実した広報活動や講師をお招きすることができ、富山でまだ未開拓分野であるエコクッキングを通じて団体の新しい価値創造に寄与した。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,371	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(使途)前年度は、富山県におけるその時々での社会的ニーズも勘案し、食育プログラム「子どもエコクッキング」事業を2回行った。</p> <p>実施ホームページ 1: http://www.asoaso.jp/bank-h25/h251214/h251214.html 2: http://www.asoaso.jp/bank-h26/h260301/h260301.html 今年度は、寄附額が事業実施に不足ということもあり、繰越金としている。</p> <p>繰越金(18,371円)は、子どもを対象とした当初の予定を想定しつつ、その実施時点での社会的ニーズも勘案しながら、事業を実施していきたい。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,066	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(使途)過年度は、富山県におけるその時々での社会的ニーズも勘案し、食育プログラム「子どもエコクッキング」事業を2回行いました。</p> <p>実施ホームページ 1: http://www.asoaso.jp/archive/bank-h25/h251214/h251214.html 2: http://www.asoaso.jp/archive/bank-h26/h260301/h260301.html 今年度は、寄附額が当初予定していた事業の実施に必要な金額に達しませんでしたので、繰越金としています。</p> <p>今後、繰越金(6,066円)は、子どもを対象とした当初の予定事業を想定しつつ、その実施時点での社会的ニーズも勘案しながら、事業を実施していきたいと思えます。</p> <p>【繰越金使途予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過年度に実施したものと同様の食育プログラム「子どもエコクッキング」事業 ・実施時期 平成28年春以降を予定 ・自己資金なども併せて実施 		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K129	団体名	財団法人石川県緑化推進委員会
連絡先 (電話／メール)	076-240-7075	活動ホームページ (URL)	http://www.isikawagreen.or.jp
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	森林環境教育推進事業		
寄附額合計	¥503,174		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥159,871	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、次世代を担う児童・生徒が、緑に親しみ、森林に対する関心と理解を高めていくことを目的に、森林環境教育の推進に努めていますが、活動を計画的、継続的に進めることが容易ではありませんでした。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた159,871円は、平成23年4月以降に、森林ボランティア団体等と連携して森林環境教育活動を行う予定の数校に対する助成に使わせていただきます。</p> <p>(効果)ご寄附を元にした活動支援制度により、活動に必要な原材料費等の自己負担が軽減され、企画・運営を含めて取組全体が上手く運べるようになります。また、これまでの環境寄附をベースに、今後は、活動支援制度を複数年度に渡って継続的、計画的に運用できることとなります。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥225,583	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、次世代を担う児童・生徒が、緑に親しみ、森林に対する関心と理解を高めていくことを目的に、森林環境教育の推進に努めていますが、活動を計画的、継続的に進めることが容易ではありませんでした。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた225,583円は、公募により小学校2校に対する森林環境教育活動の助成に100,840円を使わせて頂き、残り124,743円(開始時からの累計284,614円)は、平成24年度以降に、引き続き、森林ボランティア団体等と連携して森林環境教育を行う予定の小・中学校に対する助成に使わせていただきます。</p> <p>(効果)ご寄附を元にした活動支援制度により、活動に必要な原材料費等の自己負担が軽減され、企画・運営を含めて取組全体が上手く運べるようになりました。また、これまでの環境寄附をベースに、今後も複数年度に渡って、活動支援制度を継続的、計画的に運用できます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥84,219	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、次世代を担う児童・生徒が、緑に親しみ、森林に対する関心と理解を高めていくことを目的に、森林環境教育の推進に努めていますが、資金面の制約から、活動を計画的、継続的に進めることが容易ではありませんでした。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた84,219円(前回の繰越金と合わせて合計368,833円)は、公募により県内の小学校3校に対する森林環境教育活動の助成に151,505円を使わせて頂き、残り217,328円は、平成25年度以降に、引き続き、森林ボランティア団体等と連携して森林環境教育を行う予定の小・中学校に対する助成に使わせていただきます。</p> <p>(効果)ご寄附を元にした活動支援制度により、森林環境教育活動に必要な原材料費等の自己負担が軽減され、企画・運営を含めて取組全体が上手く運べるようになりました。また、ご寄附の繰越金をベースに、次年度も活動支援制度を存続できます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥25,973	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、次世代を担う児童・生徒を対象に、森林環境教育の推進に努めていますが、資金面の制約から、活動を計画的、継続的に進めることが容易ではありませんでした。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた25,973円(前回の繰越金と合わせて合計243,301円)は、公募により、県内の小学校1校に対する森林環境教育活動の助成に50,932円を使わせて頂き、残り192,369円は、平成26年度以降に、引き続き、森林ボランティア団体等と連携して森林環境教育を行う予定の小・中学校に対する助成に使わせていただきます。</p> <p>(効果)ご寄附を元にした活動支援制度により、対象の学校では、森林環境教育活動に必要な原材料等の自己負担が軽減され、企画・運営を含めて取組全体が上手く運べるようになりました。今報告に係る実施校は少ない結果となりましたが、ご寄附の繰越金をベースに、次年度も活動支援制度を存続できます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,528	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、次世代を担う児童・生徒を対象に、森林環境教育の推進に努めていますが、資金面の制約から、活動を計画的、継続的に進めることが容易ではありませんでした。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた7,528円は、前回の繰越金192,369円と合わせて、公募により、県内の小学校1校に対する森林環境教育活動(61名参加)の助成に50,932円を使わせて頂き、残額は、平成27年度以降に、引き続き、森林ボランティア団体等と連携して森林環境教育を行う予定の小・中学校に対する助成に使わせて頂きます。</p> <p>(効果)ご寄附を元にした活動支援制度により、対象の学校では、森林環境教育活動に必要な教材費等の自己負担が軽減され、企画・運営を含めて取組全体が上手く運べるようになりました。今報告に係る実施校は少ない結果となりましたが、ご寄附の繰越金をベースに、次年度も活動支援制度を存続できます。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K130	団体名	特定非営利活動法人エコプランふくい
連絡先 (電話／メール)	0776-30-0092	活動ホームページ (URL)	http://ecoplanf.com/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	幼児といっしょに、四季を感じる自然体験		
寄附額合計	¥317,853		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,402	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、6年前から幼児の親子自然体験教室を開催し、また保育園と共同で自然体験の保育活動を実施し、四季の自然との触れ合いを通じた自然環境教育を実施しています。さらに、それらの活動を広めていくために、22年度より保育士の指導者養成講座を開催しています。</p> <p>(使徒)この度ご寄附いただきました3,0402円は保育園児対象の自然体験活動の講師謝礼、報告書作成等の経費そして、指導者研修会の講師謝礼に活用させていただきました。</p> <p>(効果)一般の親子対象の自然体験活動では84名、保育園の園児対象での自然体験活動では98名、それを広げていく指導者養成講座では33名が参加し、この3本柱の活動を去年よりさらに浸透させていくことが出来ました。家庭で、保育の現場でと、積極的に自然体験に取り組む場面がますます増えてきているようです。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,124	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、保育園と共同で自然体験の保育活動を実施し、四季の自然との触れ合いを通じた自然環境教育を実施しています。さらに、それらの活動を広めていくために、22年度より保育士の指導者養成講座を開催しています。</p> <p>(使徒)この度のご寄附は保育園児対象の自然体験活動の講師謝礼、報告書作成等の経費と、指導者研修会の講師謝礼に活用させていただきました。合計46,397円</p> <p>(効果)保育園の自然体験活動では122名、それを広げていく指導者養成講座では28名が参加し、自然体験活動を去年よりさらに浸透させていくことが出来ました。保育の現場で積極的に自然体験に取り組む場面が増え、子供達の成長に良い影響を与えることが出来ました。今後も、継続していくことで、より一層効果が得られるものと確信しています。繰越金が43,727円出ましたが、2013年度の自然体験活動に活用させていただきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥68,390	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、保育園と共同で自然体験の保育活動を実施し、四季の自然との触れ合いを通じた自然環境教育を実施しています。さらに、それらの活動を広めていくために、22年度より保育士の指導者養成講座を開催しています。</p> <p>(使徒)この度のご寄附は幼稚園児対象の自然体験活動の講師謝礼や備品購入、指導者研修会の講師謝礼や通信費等に活用させていただきました。合計90,124円の一部として。</p> <p>(効果)保育園の自然体験活動ではのべ132名、それを広げていく指導者養成講座では34名が参加、親子自然体験教室には保護者25名、幼児・児童30名が参加し、自然体験活動を去年よりさらに浸透させていくことが出来ました。保育の現場で積極的に自然体験に取り組む場面が増え、子供達の成長に良い影響を与えることが出来ました。今後も、継続していくことで、より一層効果が得られるものと確信しています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,871	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、幼稚園と共同で自然体験の保育活動を実施し、四季の自然との触れ合いを通じた自然環境教育を実施しています。その活動を広めて、幼児の自然体験教育の普及をめざしています。</p> <p>(使徒)この度のご寄附は幼稚園児対象の自然体験活動の講師謝礼や画用紙等備品購入、通信費等に活用させていただきました。(19,871円、全額を経費合計96,056円(講師謝金20,000円×4回、と旅費、画用紙などの消耗品)の一部として活用。)</p> <p>(効果)保育園の自然体験活動では幼稚園年長児童のべ101名が参加し、自然体験活動を継続して浸透させていくことが出来ました。同じ森で多様な自然に出会い、森の中でおもちゃなしで遊ぶことで、自ら考え、試し、工夫する力を育てています。活動を続けることにより、四季折々の自然の変化やリズムを知ることができます。また、5感をはたらかせて自然の動きを感じ取り、遊びを通して誰かと共に生きる力を身につけています。今後も、継続していくことで、より一層効果が得られるものと確信しています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥109,066	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では7年前から幼稚園と共同で自然体験の保育活動を実施し、四季の自然との触れ合いを通じた自然環境教育を実施しています。活動を広め、幼児の自然体験教育の普及をめざします。</p> <p>(使徒)年4回、幼稚園児対象の自然体験活動を計画し、6月と11月に実施した活動の経費に活用させていただきました。9月は荒天のため中止、1月末冬の森で活動予定。109,066円の寄附をいただき、全額を経費合計131,442円の一部として使用。(講師謝金、バスレンタル代、消耗品費等)</p> <p>(効果)自然体験活動では幼稚園年長・年中児童のべ34名が参加し、自然体験活動を継続して浸透させていくことが出来ました。森の中で多様な自然に出会い、自ら考え、試し、工夫する力を育てています。同じ森で継続して活動することで四季の自然の変化を知り、五感を働かせて自然の動きを感じ、遊びを通して誰かと共に生きる力を身につけています。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K131	団体名	環境ふくい推進協議会
連絡先 (電話／メール)	0776-20-0301	活動ホームページ (URL)	http://www.kankyou-fukui.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	環境についての普及啓発事業		
寄附額合計	¥196,753		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,602	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)今年度、住宅エコポイントでいただいた寄附を、里地山保全推進事業における環境教育の推進に活用しました。ふくい環境フェアにおいて、「コウノトリが舞う里づくり大作戦」の基調講演として、兵庫県コウノトリ野生復帰連絡協議会会長の保田茂氏をお招きし、生物多様性保全の重要性を学習しました。</p> <p>(使途)この度、ご寄附いただいた29,602円を、環境フェアにおける講演会の会場使用料および講師謝礼の一部として活用させていただきました。</p> <p>(効果)環境フェア当日の「コウノトリが舞う里づくり大作戦」講演会では約200名の方にご来場いただきました。参加された方は、講師の方のお話聞きながら、生物多様性の保全について考え、今後の活動の参考にしていました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,124	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)住宅エコポイントでいただいた寄附を、ふくい環境フェア2012とホームページを活用した環境教育の推進に活用しました。ふくい環境フェアでは、俵越山氏をお招きし、「SATOYAMA」についてのご講演をいただきました。また、福井県内の環境保全活動に関わるイベントや講座・講演情報等を提供し合える場として、当協議会のホームページにfacebookのパナーを設置するなどして、環境教育の情報提供を行いました。</p> <p>(使途)この度、ご寄附いただいた90,124円を活用して、環境フェアにおける講演会の会場使用料および講師謝礼、当協議会ホームページの情報提供機能強化のために支出させていただきました。</p> <p>(効果)ふくい環境フェア2012では、約15,000名の方にご来場いただきました。また、今後も双方向のコミュニケーションが図れるようfacebookの内容を充実していきたいと考えています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥51,590	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)農林水産業、伝統工芸などの講座を通し、楽しみながら福井県の里山の魅力・保全の大切さを学ぶことにより、里山に興味をもつ若者を育成するプロジェクトを実施しました。</p> <p>(使途)この度、ご寄附いただいた51,590円を、三方五湖での伝統漁法の体験委託経費(伝統漁法体験、伝統漁法に関する講義、フナ・コイの素材提供及び調理実演)の一部に使用させていただきました。</p> <p>(効果)高校生から社会人までの43名が参加し、三方五湖やその周辺の「環境」と、今に伝わる伝統的な、地域に適応した「生活」を、体験活動を通じて学び、自然と人間が共存する「里山」の存在や魅力を若者に発信することができました。詳しくは、Facebook「里みずむ」をご覧ください。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,871	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)展示や体験を通し、福井県の環境を守り育てることの大切さを考えてもらうため、「わたしたちは「里山里海湖」に住んでいる！～命の連環を体験し、感じてみよう～」をテーマに環境フェアを実施しました。</p> <p>(使途)この度、ご寄附いただいた18,871円を、ふるさと環境フェア(スポーツGOMI拾い大会、里山里海湖カレーの食べ切り、木育キャラバンなど)の一部に使用させていただきました。</p> <p>(効果)環境フェアには4千人の来場があり、豊かな自然に恵まれたふるさと福井に生きるわたしたちと里山里海湖との「つながり」を体験しました。福井県で初めて開催した「スポーツGOMI拾い大会」は、20チーム、97名の参加で、楽しみながら清掃活動を体験しました。地元の里山里海湖の幸(鹿肉、イカ、エビなど)を用いたオリジナルカレーを約120名で食べきり、里山里海湖に対する感謝や食べきりの大切さを学びました。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥6,566		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)いただいた寄附を、「わたしたちは「里山里海湖」に住んでいる！～命の連環を体験し、感じてみよう～」をテーマに開催した「ふるさと環境フェア2014」に活用しました。 http://www.kankyou-fukui.jp/065_photo/archive02.php</p> <p>(使途)この度、ご寄附いただいた6,566円を環境フェアにおける木育についての講演の講師謝金として活用させていただきました。</p> <p>(効果)環境フェアでは子どもから大人まで幅広い年齢層の県民4,000人が来場しました。今後も環境教育の推進のため、様々な取り組みを行っていきます。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K132	団体名	特定非営利活動法人e-plus生涯学習研究所
連絡先 (電話／メール)	058-245-6442	活動ホームページ (URL)	http://e-plus.jpn.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	おサイフと環境にやさしい省エネ講座 みんなではじめよう省エネ！！「一人の百歩より百人の一步」		
寄附額合計	¥219,152		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥32,502	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>2010年8月に岐阜新聞と当法人がチャレンジ25【地球温暖化防止に係る国民運動におけるNPO・NGO等の民間団体とメディアとの連携支援事業・すぐ使える!!「CO2削減 省エネ エコチャレンジぎふ」】に採択されました。</p> <p>平成23年3月、多治見市小泉中学校1年生162人に1年間の学習のまとめとして「ゴミとリサイクル」の授業を行いました。この学校では1年間を通して温暖化や省エネについて学んでいます。</p> <p>当法人は、岐阜市内を中心に活動しておりますが、この事業の寄附金32,502円のおかげで当法人は、東濃地区の多治見市においての初めての出張講座を行いました。また、体系的に3Rをまとめたワークシート集を学年全員に配布することができました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,923	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>23年、24年度に長森西校区子ども会インリーダー子ども夏休み環境講座「旬の野菜を使った省エネクッキングとフードマイレージ」の講座を各20人長森コミュニティセンターの調理室にて行いました。</p> <p>91,923円の寄附のおかげで材料費、2人の講師代などを賄うことができました。</p> <p>また、岐阜市まるごと環境フェア「アースレンジャーこども会議」ではこの料理教室を自分たちで作った旬の野菜で料理を作る体験した子どもたちが発表をしました。「フードマイレージ」や「調理のエネルギーの省エネ」など「食」に関わるエネルギーについて多くの人に伝えることができました。また、当法人で編集発行した「省エネクッキングノート」をこの講座や生協のクッキング教室で配布いたしました。ありがとうございました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥68,290	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>25年度には子ども夏休み環境講座「省エネクッキングとフードマイレージ」を小学生の親子15人に長森コミュニティセンターの調理室にて行いました。</p> <p>この時の材料費、2人の講師代などを賄うことができました。また、エネルギーについてわかりやすい講座をするためにワットチェッカーなどの電気の測定機器や省エネルギーの実験器具を購入しました。岐阜市で開催した「緑のカーテン講座」の4回約200人や大垣市環境市民会議が主催する「グリーンカーテン講座」2回38人ではこの実験機を使用しました。</p> <p>また、岐阜市の長森南子ども会では60人の子どもたちと万華鏡を作り、大学生の協力を得て楽しい講座を主催できました。68,290円の寄附のおかげで実験機やクラフトの材料を買うことができ、たくさんの方に喜んでいただきました。今後も測定器を使い、わかりやすい講座の開催を行うつもりです。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥20,371	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>25年8月には子ども夏休み環境講座「省エネクッキングのフードマイレージ」をテーマに小学生の15人に岐阜市ドリームシアターの調理室にて講座と省エネクッキングを行いました。また、26年3月には下呂市の女性市民団体の代表を25人を対象に「温暖化と食」の講座を行いました。</p> <p>この講座に必要なPPラミネート加工した日本地図と世界地図をセットにして5組を購入いたしました。</p> <p>食べ物の産地を書き込むと食べ物の輸送エネルギーについて一目でわかります。20,371円の寄附のおかげでこの地図や様々な色のペンを買うことができました。今後もわかりやすい資料の工夫をし、楽しめる講座の開催を行うつもりです。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥6,066		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>平成27年6月岐阜市水海道公民館で「温暖化と省エネルギー」「緑のカーテンの効果について～作り方・選び方のコツ～」の講座を開催しました。省エネを考える「間取り図ゲーム」を行いました。家電のイラストシールを部屋ごとに貼って、家電の種類や数などを知って省エネルギーを考えるシミュレーションゲームです。</p> <p>環境寄附6,066円のおかげで、20人分のゲームの台紙とわかりやすいカラーシールを作り、一人一人に配布できました。</p> <p>当法人が子ども用に開発したゲームですが、大人の方にも家電の種類の多さや数を実感してもらいました。このシールは熱や光など電気の働き別に色を分類しています。色別の家電のシールを見ながら、電気の省エネを楽しく伝えることができ、高齢者の方からもわかりやすく実践できることばかりだと喜んでいただきました。今後はこのゲームを市民講座に活用していきます。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K133	団体名	特定非営利活動法人ホールアース研究所
連絡先 (電話／メール)	0544-66-0790	活動ホームページ (URL)	http://wens.gr.jp
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	富士山南麓 自然・文化体験学習		
寄附額合計	¥312,452		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,902	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、富士山周辺を中心に自然体験活動やガイドの育成等の活動を行っています。頂いた寄附金は、地元の子どもたちが地元の自然や文化の学習を深めることを目的とした活動に使わせていただきました。ありがとうございました。</p> <p>(使途)富士市の小学校4年生自然体験教室 日程:2012年3月9日 人数:95名 使用用途:プログラム費、バス代(計397,920円)のうち一部を充当 使用金額:29,902円</p> <p>(効果)富士市の小学4年生95名が、富士山の標高約1000mの森にて自然体験活動を行い、富士山の自然に関する学習を深めることができました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,523	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、富士山周辺を中心に自然体験活動やガイドの育成等の活動を行っています。頂いた寄附金は、地元の子どもたちが地元の自然や文化の学習を深めることを目的とした活動に使わせていただきました。ありがとうございました。</p> <p>(使途) 1.富士宮市の中学校の自然体験教室 日程:2012年5月18日 使用用途:プログラム費として、寄附金89,300円を使用させていただきました。</p> <p>2.富士宮市の小学校の自然体験教室を実施予定 日程:2013年6月13日 ※必要経費の内、2,223円を充当させていただきます。</p> <p>(効果)富士宮市の中学生47名が、火山洞窟探検を通して、地元、富士山の成り立ちを体験的に学びました。また、今後約92名の小学生が、富士山の標高約1000mの森での自然体験活動により、富士山学習をする予定です。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥63,590	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、富士山周辺を中心に自然体験活動やガイドの育成等の活動を行っています。頂いた寄附金は、地元の子どもたちが地元の自然や文化の学習を深めることを目的とした活動に使わせていただきました。ありがとうございました。</p> <p>(使途)富士宮市の小学校の自然体験教室 日程:2013年6月13日 使用用途:バス代141,750円の内、寄附金63,590円を充当使用させていただきました。</p> <p>(効果)富士宮市の小学生85名が、富士山の標高約1000mの森にて自然体験活動を体験しました。1年間富士山学習を実施している学校の児童が、今回、実際に富士山の自然に足を運び、富士山の自然や歴史文化について体験的に学ぶ機会となりました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥21,371	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、富士山周辺を中心に自然体験活動やガイドの育成等の活動を行っています。頂いた寄附金は、地元の子どもたちが地元の自然や文化の学習を深めることを目的とした活動に使わせていただいています。ありがとうございます。</p> <p>(使途)今回の21,371円は、35,000円に達していないため繰り越しました。 2015年の富士宮市内の小学生の自然体験教室のプログラム費用またはバス費用に充てさせていただきます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥106,066	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、1982年の創設以来、大人から子どもまで多数の方に自然体験を通じた環境教育活動を行ってきました。拠点である富士山麓の自然を活かした体験プログラムは、日常生活での自然の見方や人と自然の関わり方を見直すきっかけを提供しています。</p> <p>(使途)地元富士宮市立大宮小学校5年生(76名)が行う、自然教室の一部で富士山南麓の巨木の森を歩き、地域に素晴らしい自然が残されていることを体験していただきました。前回の繰越金21,371円と、今回の寄附金106,066円の合計127,437円を使用し、学校側の負担なしで実施できました。</p> <p>(効果)子どもたちにとって富士山は身近な存在ですが、その麓に巨木の森があり、その中に息づく野生動物や植物の営みについて、肌で感じたことはとても印象に残ったようです。今後もこうした機会を提供すべく、活動していきますので、ご支援を引き続きお願いいたします。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K134	団体名	特定非営利活動法人 林 林 林
連絡先 (電話／メール)	054-635-8576	活動ホームページ (URL)	http://www.13.plala.or.jp/oideyotakinoya/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・プロジェクト名	自然環境保全事業		
寄附額合計	¥202,997		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,848	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>川上と川下との交流拠点として建築中のログハウス建築資金に充当しました。</p> <p>2011年3月11日に起こった東日本大震災、仮設住宅建築資材としてログ材(三面挽き皮むき材)135本をいわき市に支援したため、再度間伐材の伐採、集材、搬出、製材を実施したため建築が遅れていますが、地下水の、くみ上げ設備、仮設電気等の設備も整い現在建ち上げ中です。月1回の作業日を2回にし建築を急いでいます。まだ完成までには時間がかかりませんが、完成後には、森林環境教育の拠点として使用いたします。</p> <p>平成24年1月からは毎月例会を2回とし毎月延25名から30名の川下のクリニック関係者が参加し川上地元食材を使った昼食を地元物産店で作っていただき川上、川下の交流が出来てきています。またログハウスが建ち上がったことで地元民を始めハイカーも感心を持ち始め交流の機会が増加してきています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,023	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>川上と川下との交流拠点としてログハウス建築資金に充当しました。</p> <p>前回までに仮電気設備、給排水設備の設置が終わりログハウス材20段まで立ち上げることが出来ました。毎月第一、第三日曜日を例会に地元物産展「山の市」で毎回昼食を地元食材で作っていただき川下、川上の交流をはかりながら川下「協賛クリニック」職員7、患者会の皆さん毎回10～15名(延300名)作業にあたっています。地元民、ハイカーが徐々に出来上がっていく建物に関心を持ち始め注視しています。</p> <p>今後は足場架設をし小屋組み、屋根葺き、窓設置、塗装と高所作業が始まりますので危険に十分注意し作業いたします。なお小屋組み、窓設置については地元業者の協力を得て実施いたします。木材については全て当法人が切り出した間伐材を使うため、梁7m材5本、棟12m材を始め準備万端これから本格作業です。完成後には、森林環境教育の拠点として使用いたします。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥55,189	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>川上と川下との交流拠点として建築中のログハウス建築資金に充当いたしました。</p> <p>川下の協賛クリニックと共同で毎月定例会2回、20代から80代まで毎回10人～15人で行っていますが全員が素人ですのになかなか捗らず苦戦しています。川上、地元民が営む「不動峽・山の市」産直に毎回昼食を依頼し地場産品をふんだんに使ったお弁当、食材にお弁当を目当てに参加する方がいるくらいに人気があり建築中でも交流拠点として活用できています。</p> <p>完成後の平日は協賛クリニックのデイサービスに活用し自然散策、自然観察森林浴に活用、また祝祭日には小中学生のための自然観察、地元三山ハイキング等の拠点として夏場の沢山の水中昆虫、里山昆虫観察の拠点として、また雨天時の屋内教室として活用いたします。地元婦人会と川下の参加者との田舎料理教室、地元老人との昔話・昭和初期からの地元では忘れさられた話の掘り出し活動をしていきます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,371	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>平成25年度は放置林整備及び平成22年度に実施した整備の生態系調査を実施し経費として全額充当</p> <p>1、放置林の整備 ・間伐:伐採率45% 伐採本数3,112本 ・簡易作業路設置:1,300m(内車道の延長150m) ・実施期間:平成25年6月14日～平成26年2月20日 ・所感:放置林は、林齢37～41年生、平均胸高直径は20cm～25cmの杉・桧林で平均斜度35度超の人工林で植栽後多少の人手は入っているが放置状態で周囲測量時は林床が全く見えない状況で危険を伴うものでしたが、45%間伐が進むにつれ林内に日照が入り明るくなると遣り甲斐を感じました。</p> <p>2、生態系調査 ・平成22年度に整備した3.53ha林内 : 1aを5ヶ所 ・調査結果 : 植生が順調に生え今後混交林が期待できる。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,566	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>平成26、27年度は放置竹林の皆伐を実施し広葉樹林に樹種変換をし水土保全林にいたしました。また平成24年度に実施した人工林(杉・桧)の植生調査を実施し経費として全額充当いたしました。</p> <p>1、平成26年度整備竹林 面積:0.52ha 孟宗竹林 伐採本数 2,593本</p> <p>2、平成27年度整備竹林 面積:0.41ha 孟宗竹林 伐採本数 4,264本 所感:NPO法人設立当初から藤枝市内で増加の一途をたどる放置竹林の整備を計画していましたが、10年を経て可能になり整備となりました。終了後には地元住民からは明るくなったとか景色が変わったと大変喜ばれました。</p> <p>3、平成24年度実施人口林間伐後の3年目の調査を実施いたしました。 面積:3.17ha 調査:標準地、5ヶ所毎に実施前、実施後、3年経過後写真状況及び林床の植生進捗状況調査。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K135	団体名	NPO エコバンク Japan
連絡先 (電話／メール)	0586-82-2212	活動ホームページ (URL)	http://www.ne.jp/asahi/ecobank/honbu/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	緑のカーテン 指導マニュアル&市民への啓発		
寄附額合計	¥205,150		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥32,002	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は、平成21年度より「緑のカーテン」を広めるためにマニュアルの作成・整備と種・器材の配布を行っており、一宮市等の幼稚園・企業様のご協力を得て進めています。</p> <p>(使途)23年度分の種等の配布時期の都合上、今回頂いたご寄附は主として育て方マニュアル・動画マニュアルの更新や英語版マニュアル作成の費用、動画マニュアル作成のための機材購入に使わせていただきました。</p> <p>(効果)参加した園・企業様から地域の皆様へ、アサガオ・ニガウリ計1万ポットの苗を配布することができ、「緑のカーテン」はさらに広がりを見せています。24年度は、すでに他市からも参加希望の連絡をいただいております。今回いただいたご寄附の一部を有効に活用させていただきます。また、誰もが取り組みやすいよう、マニュアル・動画マニュアルを随時更新してまいります。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥98,123	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は、平成21年度より「緑のカーテン」育て方マニュアルの作成・整備と種・器材の配布を行っており、一宮市等の幼稚園・企業様のご協力を得て進めています。23年度はその対象を他市(名古屋市、春日井市、半田市、碧南市、瀬戸市、豊川市)にも広げました。</p> <p>(使途)ご寄附は全額、24年度配布の種・器材、育て方説明会のための機材等の購入に使わせていただきました。</p> <p>(効果)前年度より種の種類を増やし、アサガオ・ニガウリ・ヘチマ・キュウリ・ヒョウタン・ユウガオ・フウセンカズラに加え、シカク豆・ササゲとし、より多くの方の希望にそなうことができました。24年度は41園、10企業・施設様から地域の皆様へ合計13,000ポットの苗を配布していただき、実施報告書から、「緑のカーテン」の浸透ぶりがうかがえます。またマニュアル整備として、「緑のカーテンを楽しもう」と題し成功事例集をHPに掲載し始めました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥50,089	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は、平成21年度より小中学校用、幼稚園・保育園用「緑のカーテン」指導マニュアルの作成・整備と種・器材の配布を行っており、一宮市等の幼稚園・保育園・企業様のご協力を得て進めています。</p> <p>(使途)マニュアルの補完の為、「緑のカーテンを楽しもう」を作成し、HPで自由にご覧いただけるよう、ご寄附を全額使用させていただきます。</p> <p>(効果)皆様から実施状況・感想・反省・工夫などのご報告をいただき、年を追うごとに「緑のカーテン」が市民に浸透してきており、皆様それぞれの実情に合わせて今後の取り組みを目指している姿勢が見られます。これは、当会による5年間の当事業が一定の成果を上げたものと自負しております。「緑のカーテン」を通じてエネルギーなど環境問題を身近に考えるきっかけづくりに役立てたとしたら、当会の活動趣意に沿ったものであり、幸いです。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,870	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会では、平成21年度から緑のカーテンを広げる活動を行っています。当初は一宮市内の幼稚園・保育園・小中学校向けに指導マニュアルを作成し、その後企業や市民の方への広がりと共に誰でも取り組みやすく失敗なく育てられるよう、育て方マニュアルと映像によるマニュアル、緑のカーテンの楽しみ方をホームページに公開しています。緑のカーテン講座では、成功例や工夫などを伝授しています。</p> <p>(使途)北海道から九州まで気候条件の異なる地域で植物を育てていただくために、種の説明・種の播き時・その他注意などをリーフレットにまとめ種の発送時に同封しました。ご寄附は、リーフレット作成等に全額使わせていただきました。</p> <p>(効果)今年度は、こどもエコクラブ全国事務局のご協力を得て事業告知のチラシを配布し、1都1道2府36県148のこどもエコクラブの皆様に参加していただき、これまで以上に緑のカーテンが広がるお手伝いことができました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,066	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)平成21年度から行っている「広げよう緑のカーテン」事業の対象は、当初一宮市内の幼稚園・保育園・小中学校でしたが、26年度よりこどもエコクラブ全国事務局のご協力を得て、全国の都道府県に広がっています。誰でも気軽に取り組みやすく育てられるよう、マニュアルや映像による育て方の説明、緑のカーテンの楽しみ方などをHPで公開しています。</p> <p>(使途)気候条件の異なる地域で植物を育てていただくために、種の説明・扱い方・蒔きどき、その他注意などをリーフレットにまとめ、種に同封しました。ご寄附は全額を、リーフレット作成費用の一部に充当させていただきました。</p> <p>(効果)全国のこどもエコクラブに事業告知のチラシを配布し、38都道府県200以上のクラブが参加しました。参加したクラブがさらに緑のカーテンを広げるという好循環ができつつあり、こどもエコクラブ活動の活性化に微力ながら貢献できたと考えています。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K136	団体名	特定非営利活動法人心豊かにARD(あるど)の会
連絡先 (電話／メール)	090-3568-8818	活動ホームページ (URL)	http://www.ard-jp.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	わくわくきずなっ子事業		
寄附額合計	¥197,310		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥31,062	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)愛知県尾張旭市のシンボルロードの清掃と維摩池花壇の花苗植えの参加者に独自のポイントを提供し、ポイントを使用して、体験型『わくわくきずなっ子教室』に参加できるシステムで、身近な環境行動としてのまち美化活動に積極的に参加する意欲や規範意識の向上と、体験型教室では、世代間交流による次世代を担う子どもたちとの絆つなぎを図ります。</p> <p>(使途)『わくわくきずなっ子』は年2回。春は災害時に活かせる内容を、秋はバラエティあるものづくり運営費の他に維摩池花壇の抜本的整備のために、ご寄附の31,062円充て実施いたしました。</p> <p>(効果)内容の充実とともに年々システム認知度が上っており、リピーターも含め、定員60名に達し、参加者の環境意識とボランティア意識が向上しました。来年度も引き続き開催させていただきたいと思っています。ご寄附を頂いた皆様もご参加頂ければ幸いです。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,423	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)愛知県尾張旭市のシンボルロードの清掃と維摩池花壇の花苗植えの参加者に独自のポイントを提供し、ポイントを使用して、体験型『わくわくきずなっ子教室』に参加できるシステムで、身近な環境行動としてのまち美化活動に積極的に参加する意欲や規範意識の向上と、体験型教室では、世代間交流による次世代を担う子どもたちとの絆つなぎを図ります。</p> <p>(使途)『わくわくきずなっ子』は年2回。作って遊べるものから、飾ったり実用的なもので、バラエティ豊かなものづくり運営費の他に維摩池花壇整備の備品庫設置のために、ご寄附の92,423円を充て実施いたしました。</p> <p>(効果)毎回参加者から、アンケートをとって内容の充実を図っています。そのため最近では開催告知後すぐに定員60名に達する人気事業となり、参加者の環境意識とボランティア意識が向上しているように思います。ぜひ、来年度も引き続き開催させていただきたいと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,389	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)愛知県尾張旭市のシンボルロードの清掃と維摩池花壇の花苗植えの参加者に独自のポイントを提供し、ポイントを使用して、体験型『わくわくきずなっ子教室』に参加できるシステムで、身近な環境行動としてのまち美化活動に積極的に参加する意欲や規範意識の向上と、体験型教室では、世代間交流による次世代を担う子どもたちとの絆つなぎを図ります。</p> <p>(使途)『わくわくきずなっ子』は年2回。ものづくり運営費や維摩池花壇の肥料購入にご寄附の49,389円を充て実施いたしました。</p> <p>(効果)ものづくり教室の内容は開催ごとに人気のあるものを取り入れるように工夫しています。年々システム認知度が上っており、リピーターも含め、定員60名に達し、参加者の環境意識とボランティア意識が向上しました。来年度も引き続き開催させていただきたいと思っています。ご寄附を頂いた皆様もご参加頂ければ幸いです。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,370	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)愛知県尾張旭市のシンボルロードの清掃と維摩池花壇の花苗植えの参加者に独自のポイントを提供し、ポイントを使用して、体験型『わくわくきずなっ子教室』に参加できるシステムで、身近な環境行動としてのまち美化活動に積極的に参加する意欲や規範意識の向上を重視するとともに、体験型教室では、参加者同士の交流も図っています。</p> <p>(使途)『わくわくきずなっ子』を年2回。ものづくり運営費や維摩池花壇の肥料購入にご寄附の18,370円を充て実施いたしました。</p> <p>(効果)ものづくり教室の内容は開催ごとに人気のあるものを取り入れるように工夫していますが、まち美化に参加することに重点を置き、参加者の環境意識とボランティア意識を高めるようにしています。年々システム認知度が上っており、リピーターも含め、定員60名に達しており、来年度も引き続き開催させていただきたいと思っています。ご寄附を頂いた皆様もご参加頂ければ幸いです。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,066	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)愛知県尾張旭市のシンボルロードの清掃と維摩池花壇の花苗植えの参加者に独自のポイントを提供し、ポイントを使用して、体験型『わくわくきずなっ子教室』に参加できるシステムで、身近な環境行動としてのまち美化活動に積極的に参加する意欲や規範意識の向上を重視するとともに、体験型教室では、参加者同士の交流も図っています。</p> <p>(使途)『わくわくきずなっ子』を今年も2回開催。特にものづくり運営費にご寄附の6,066円を充て実施いたしました。</p> <p>(効果)ものづくり教室の内容は開催ごとに内容を工夫していますが、まち美化に参加することに重点を置き、参加者の環境意識とボランティア意識を高めるようにしています。年々システム認知度が上っており、リピーターも含め、定員60名に達しており、来年度も引き続き開催させていただきたいと思っています。ご寄附を頂いた皆様もご参加頂ければ幸いです。 (http://www.ard-jp.org/)</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K137	団体名	特定非営利活動法人地域の未来・支援センター
連絡先 (電話／メール)	052-936-3213	活動ホームページ (URL)	http://www.c-mirai.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	2050年の担い手のための環境学習、インターンシッププログラム		
寄附額合計	¥206,651		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥37,637	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、市民ひとりひとりが価値観(意志)を持った持続可能で豊かな暮らしの実現を目指しています。そのキーワードとなるのは、「当事者意識」。“そこ”で暮らす人が、当事者意識を持ち、主体的に周りとともに行動が出来る人材の創出を目指します。</p> <p>(使途)「環境NPO・ボランティア団体リーダー育成セミナー」などの人材育成セミナー(3回実施)及びインターンシップ事業(2010年、2011年)を行い、受講費、交通費の補助及び事業運営費に使用しました。(家電エコポイントと合算)</p> <p>(効果)寄附のお陰で、前年度より多くのセミナーを実施することができ、大学生も36名の方に受講していただくことができました。また、2年間で5名の大学生に対してインターンシップ事業(80時間/人)を行い、環境NPOの活動内容や当事者意識などを学びました。今後も寄附を活用し、担い手の育成に取り組んでいきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,955	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、市民ひとりひとりが価値観(意志)を持った持続可能で豊かな暮らしの実現を目指しています。そのキーワードとなるのは、「当事者意識」。“そこ”で暮らす人が、当事者意識を持ち、主体的に周りとともに行動が出来る人材の創出を目指します。</p> <p>(使途)「環境NPO・ボランティア団体リーダー育成セミナー」などの人材育成セミナー(3回実施)及びインターンシップ事業(2011年、2012年)を行い、受講費、交通費の補助及び、事業運営費として全額を使用しました。使用金額：92,955円(残高：0円)</p> <p>(効果)2年間で4名の大学生に対してインターンシップ事業(80時間/人)を行い、環境NPOの活動内容や当事者意識などを学んでいただきました。また、環境活動や市民活動に興味のある若年層向けセミナーでは延べ31人の方に参加していただき、主体的に行動していくことの大切さを若い担い手たちに伝える事ができました。今後も引き続き担い手の育成に力を注いでいきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥50,639	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当法人は、市民ひとりひとりが価値観(意志)を持った持続可能で豊かな暮らしの実現を目指しています。「環境問題」や「持続不可能な社会」のそもそもの原因を意識しながら、自ら考え、動くことのできる人材の育成を目的とし、環境分野の中間支援組織として、関連する環境系のNPO、NGO、市民活動団体での様々な体験を通して中間支援組織の、人と人を繋げる仕事について学んでもらいつつ、多様な社会のあり方を自分の目で見て、感じてもらう。</p> <p>(使途)インターンシップ事業(2013年度)を行い、受講費、参加費、交通費の補助及び、事業運営費として全額を使用しました。使用金額：50,639円(残高：0円)</p> <p>(効果)1年間で5名の大学生に対してインターンシップ事業(80時間～150時間/人)を行い、環境NPOの活動内容や当事者意識などを学んでいただいた。学生にとっては、様々な人や活動に触れることで、今まで目を向ける事がなかった事柄に気づき、新しいものの見方を学んだ。受入れ団体先では、事業内の活性化や、宣伝効果、NPO活動への理解と賛同者の獲得という形で、今後も継続してほしいという声を頂いている。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,554	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)2008年より三重大学環境インターンシッププログラムにおいて毎年1～2名の学生を受け入れており(80時間/人)、環境活動について学んで頂くとともに、当事者意識を持ち、主体的に周りとともに行動が出来る人材の創出を目指します。</p> <p>(使途)セミナーの作業補助や、環境NPOが企画するアクティビティへの参加などにおいて、インターン生の受講費、交通費の補助として全額を使用いたしました。使用金額18,554円(残高：0円)</p> <p>(効果)様々な環境NPOの活動内容や当事者意識を持って仕事をするなどを学んでいただきました。また、活動に参加させていただいた他団体の方との交流で市民の方にも若い担い手の触れあう場が提供でき、今後も大いに期待をされています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,866	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)環境インターンシッププログラムにおいて毎年1～2名の学生を受け入れており(150時間/人)、環境活動について学んで頂くとともに、当事者意識を持ち、主体的に周りとともに行動が出来る人材の創出を目指します。</p> <p>(使途)セミナーの作業補助や、環境NPOが企画するアクティビティへの参加などにおいて、インターン生の受講費、交通費の補助として全額を使用いたしました。使用金額6,866円(残高：0円)</p> <p>(効果)様々な環境NPOの活動内容や当事者意識を持って仕事をするなどを学んでいただきました。また、活動に参加させていただいた他団体の方との交流で市民の方にも若い担い手の触れあう場が提供でき、今後も大いに期待をされています。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K138	団体名	特定非営利活動法人環境市民
連絡先 (電話／メール)	075-211-3521	活動ホームページ (URL)	http://www.kankyoshimin.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	地域のお祭りをエコ化する		
寄附額合計	¥295,795		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,348	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では、2006年から京都の伝統的祭り「地蔵盆」において、ごみの減量等、飲料、食品、景品類の環境負荷を減らす「エコ地蔵盆」を提案しています。地域レベルでのお祭りのエコ化から、全国の大規模な祭りへの環境負荷低減の普及を目指しています。</p> <p>(使途) この度、ご寄附いただいた29,384円の一部は、エコ地蔵盆のヒアリングの経費、冊子「やってみよう！エコ地蔵盆2」の印刷費、ウェブサイトの関連ページ整備に使わせていただきました。</p> <p>(効果) 2010年夏には、新規・継続実施を含めて10町内がエコ地蔵盆を実施されました。さらなる普及に向けて、来年度は引き続きいただいた寄附を活用し、町内会や自治会の方向けのエコ地蔵盆説明会を実施し、町内を越えた担当者同士のつながりづくりをはかります。また、「やってみよう！エコ地蔵盆3」を発行し、より多くの町内で取り組みが始まることをめざします。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,122	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 2006年から京都の夏の伝統的な祭りである「地蔵盆」において、飲料、食品、景品等から発生するごみの減量等環境負荷の低減を目指した「エコ地蔵盆」を提案し、地域レベルのお祭りのエコ化から、更に地域を広げたお祭りのエコ化の普及を目指しています。</p> <p>(使途) 家電・住宅エコポイントを併せた計712,846円は、冊子「やってみよう！エコ地蔵盆VOL3」の企画・印刷費及び本会ウェブサイトの整備費に使わせていただきました。</p> <p>(効果) 昨秋、京都市から「エコ地蔵盆」がこの推進に役立つものであると判断され、取材を受けました。その後、その取材者が直接、昨夏に「エコ地蔵盆」を実施した市内山科区の町内会を取材し、本年2月に『地域活動ハンドブック』としてエコ地蔵盆の実例が紹介されました。本書は自治会役員等に配布されていることから、今後も「エコ地蔵盆」を実施する町内会が増えるものと期待しています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,389	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では、2006年から京都の伝統的祭り「地蔵盆」において、ごみの減量等、飲料、食品、景品類の環境負荷を減らす「エコ地蔵盆」を提案しています。地域レベルでのお祭りのエコ化から、全国の大規模な祭りへの環境負荷低減の普及を目指しています。</p> <p>(使途) この度、ご寄附いただいた49,389円は、エコ地蔵盆について解説した冊子「やってみよう！エコ地蔵盆2」の普及活動に全額使わせていただきました。</p> <p>(効果) 2013年夏には、複数の町内会から問合せがあり、スタッフが解説に向いた町内もありました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,870	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 2006年から京都の夏の伝統的な祭りである「地蔵盆」において、飲料、食品、景品等から発生するごみの減量等環境負荷の低減を目指した「エコ地蔵盆」を提案し、地域レベルのお祭りのエコ化から、更に地域を広げたお祭りのエコ化の普及を目指しています。</p> <p>(使途) いただいたご寄附、計19,870円は、冊子「やってみよう！エコ地蔵盆VOL1から3」の普及啓発費に使わせていただきました。</p> <p>(効果) お祭りを通して環境に取り組む手法を広めることができました。「地蔵盆」は京都の無形文化財の候補になっており、現在審査をされています。選定された際には、文化的にも環境面でもより誇らしいお祭りとなるよう、「エコ地蔵盆」の手法が注目されていくものと予測されます。今後も継続して取り組みの普及に務めます。http://kyo-tsunagu.net/jizo/</p>	
平成27年度			
寄附額	¥106,066		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 京都の伝統的な夏のお祭り、地蔵盆がよりエコロジカルなものになるようはたらきかけ、リユース食器の利用などによるごみ量の削減、地場産野菜や果物の利用によるエネルギー使用量の削減等をはかります。具体的にはエコ地蔵盆の実施をするため、過去に作成したガイドの配布を行ったり、ウェブやメールマガジンを通じて広報を行ないました。</p> <p>(使途) はたらきかけを行なうスタッフのための人件費として106,066円を使いました。</p> <p>(効果) その結果、地蔵盆のエコ化に取り組む町内があらわれ、8月に実施をしてくださいました(越後突抜町)。リユース食器を利用しごみ量を削減した他、地場産の野菜や無添加のおやつを提供を行なっておられました。また、京都の竹を使った流し素麺を行っておられました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K139	団体名	特定非営利活動法人社叢学会
連絡先 (電話／メール)	075-212-2973	活動ホームページ (URL)	http://www.shasou.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	健全な社叢の育成のための実習を含めた人材育成		
寄附額合計	¥197,347		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,401	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・当学会では、社叢を適正に管理・育成出来る人材の育成を目指したセミナーを開催しています。ここでは、日本を代表する研究者から、人工林や里山とは違った社叢の管理方法について、講義・実習・演習などを通して学ぶことが出来ます</p> <p>・今回は10月から12月にかけての計7日間にわたり、枚岡神社(東大阪市)、賀茂御祖神社・伏見稲荷大社(京都市)などで社叢の植物の調べ方や、土壌動物調査などの実習訓練を行い、社叢管理の実態や社叢の歴史についての講義を聞きました</p> <p>・頂いた寄附は全額このセミナーの会場費・講師謝礼として使わせていただきました</p> <p>・のべ50人の参加者がきめ細かな指導を受け、受講者からは実際に社叢の管理に携わる者も出てきており、市街地の貴重な緑地である社叢管理に資する活動が出来たと考えています</p> <p>・今後、さらに多くの人材を育成し、身近な森の健全な育成に努めていきたいと思ひます</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,121	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・当学会では、社叢を適正に管理・育成出来る人材の育成を目指したセミナーを開催しています。ここでは、日本を代表する研究者から、里山や人工林とは違った社叢の管理方法について、講義・実習・演習などを通して学ぶことが出来ます</p> <p>・今回は9月と11月にかけての計4日間にわたり、向日神社(向日市)、伏見稲荷大社(京都市)などで社叢の植物や土壌動物調査などの実習訓練を行い、社叢管理の実態や社叢の歴史についての講義を聞きました</p> <p>・さらに、東日本大震災で被災した社叢の復興のために、狐塚(仙台市)と八重垣神社(山元町)で土壌改良等の実習訓練を実施しました</p> <p>・頂いた寄附のうち50,000円をこのセミナーの会場費・講師謝礼として、40,121円を被災地での実習指導員の交通費・謝礼に充当しました</p> <p>・のべ60人が社叢管理を学び、また被災地での社叢の役割や意味について考えることができました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,389	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・当学会では、社叢を適正に管理・育成出来る人材の育成を目指したセミナーや講演会を継続して開催しています。ここでは、里山や人工林とは違った社叢の管理方法や、社叢が直面する問題解決について、講義・実習・演習などを通して学ぶことが出来ます</p> <p>・今回は10月に2日間にわたり、伏見稲荷大社と賀茂御祖神社(下鴨神社)(いずれも京都市)で社叢の植生調査などの実習訓練を行い、同時に都市における社叢の役割についての講義を聞きました。</p> <p>・さらに、4月には東京で社叢をめぐる法律問題に関する研究会を開催し、その解決法を探りました。加えて9月には京都で全国的に被害が深刻化しているシカによる食害について、2月には犬山市で社叢・神木を守るための仕組みづくりについて、研究会を開催し、社叢管理の方策を考えました。</p> <p>・頂いた寄附全額をセミナー・研究会の会場費・講師謝礼に充当しました。</p> <p>・のべ150人が社叢管理を学び、また様々な問題に直面する社叢の維持・保存について考えることができました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,370	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>10月26日(土)・27日(日)の2日間にわたり、社叢管理の基礎知識を学ぶ社叢インストラクター養成セミナーを開催し、伏見稲荷大社(京都市伏見区)と賀茂御祖(下鴨)神社(同左京区)で、社叢の意味と都市における役割や、現在の社叢の林相から環境の変遷が追求できるかについて講義を聞きました。さらに講義ではそもそも森林とは何かや、社叢の森林構造と種組成についても学びました。また、実習では稲荷山と賀茂御祖神社社の森で植生等を調査しました。</p> <p>当日は関西周辺のみならず、東京都や福島県から10人の受講者を迎え、社叢と里山との違いなどについても熱心に学び、それぞれの地域での社叢管理について、知識と経験を積みました。</p> <p>環境寄附については、この折りの講師謝金に充てました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥9,066	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>2014年11月29日(土)と2015年1月17日(土)に社叢管理人材育成セミナーを実施しました。1日目は吉田神社(京都市)で社叢の歴史と社叢と一般の森との違いについて講義を聞いた後、吉田山から黒谷(同)に連なる社叢を見学し、途中で採集した樹木を使って同定実習をしました。2日目は枚岡神社(東大阪市)で、都市の中の社叢が抱える問題点と、その解決法について講義と演習で考えた後、植生調査の方法と、調査によってわかることについて講義を聞き、実施に社叢で毎木調査・活力度・植物相調査等をし、社叢の評価法について考えました。</p> <p>当日は関西周辺のみならず、首都圏からも8人の受講者を迎え、それぞれの地域での社叢管理について、知識と経験を積みました。</p> <p>環境寄附については、この折りの会場費に充てました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K140	団体名	かたの環境フェスタ市民会議
連絡先 (電話／メール)	072-892-0121	活動ホームページ (URL)	http://katano-kankyo.com/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	環境フェスタin交野		
寄附額合計	¥219,847		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,401	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>環境フェスタ市民会議は環境保全に対する意識の啓発活動を行うため、2月20日交野市星の里いわふねにて「環境フェスタin交野2011」を開催いたしました。</p> <p>本フェスタは、市民・行政・企業・学校等色々な角度から環境を考え、プースの展示や子供体験コーナーや環境にやさしい車の展示試乗、リユース食器を使用しての飲食屋台や、環境絵画ポスターの展示、野菜の頒布などを行いました。</p> <p>ご寄附頂いた29,401円を全戸配布チラシの印刷代の一部に充てさせていただきました。当日は、昨年よりも2割増しの3300人の来場者があり環境についてのアピールをすることができました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,121	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>環境フェスタ市民会議は毎年、環境啓発として「環境フェスタin交野」を開催しています。</p> <p>2012年は3月4日、2013年は2月24日に開催いたしました。2012年は交野の市制40周年でもあり、交野市の中心で開催希望が多かったのいきいきランド交野での開催となりました。今まで同様に、いろんな団体・行政・企業・学校等の環境に関する展示に加えて、基調講演にC.Wニコル氏を迎えたり、東北宮城県から吉川団十郎氏を招いたり、近隣より20のゆるキャラの参加やフリーマーケットなど盛りだくさんとなりました。午後よりあいにくの雨にも関わらず、8600人の来場者がありました。</p> <p>これも会場が交野の中心であることもありますが、ご寄附全額で会場設営やPRやチラシの充実ができた為だと思います。有難うございました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥75,889	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>かたの環境フェスタ市民会議では、毎年環境啓発として「環境フェスタin交野」を開催しています。</p> <p>2013年は2月24日(日曜日)に星の里いわふねにて「見直そう 環境・暮らし」をテーマに開催いたしました。来場者3400人、出展団体94団体と過去最高の出展があり、限られたスペースの中でそれぞれ工夫を凝らした展示やわかりやすい内容となりました。又、飲食に伴う食器は当初からのリユース食器を使用し、多くの方にも浸透してきました。</p> <p>ご寄附いただいた費用は、出展団体のテントなどの会場設営や、PRチラシの作成などに使用させていただき、多くの方に知っていただく事が出来ました。2014年そして2015年の10回目を見据えた、実りあるイベントとなりました。有難うございました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,370	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>かたの環境フェスタ市民会議では、環境啓発として様々な環境に関連した団体や、個人、企業に参加頂き「環境フェスタin交野」を開催しています。第9回目では2014年3月2日に、テーマを「さあ 始めよう 私から・・・」とし、交野市の星の里いわふねで開催致しました。出展団体は75団体となり、限られたスペースの中でそれぞれ工夫を凝らした展示で、来場者にはわかりやすい内容でした。天体研修センターではビデオの上映や子供工作コーナーや、飲食頒布コーナーも盛況で、リユース食器の利用に対する理解も高く、多くの方がマイ箸を持ってこられた事や、巡回バスの利用や、公共交通機関を利用されたり、自転車や徒歩など、マイカー利用が減ってきたことなども、寄附金を頂いて作成いたしましたPRチラシの成果の一つだと思います。</p> <p>寄附金は10,800円をチラシ代の一部に、残り7,570円を会場費の一部に使用させていただきました。</p> <p>次回は10回目のフェスタとなります、今後とも有効に使用させていただきたいと思っております。本当に有難うございました。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥6,066		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体では、環境啓発として色々な方の参加をいただき展示や頒布、体験やステージ、環境絵画ポスターなどを中心に「環境フェスタin交野」の開催を行っています。</p> <p>2015年3月8日に交野市星の里いわふねで第10回目の開催を「つづけることが力です」をテーマとして、開催いたしました。震災から4年を迎える私たちも、小さいことの継続ではありますが、出展団体も75団体となり、限られたスペースの中で各団体等工夫を凝らした展示となり、来場者に対しても解りやすい内容となりました。</p> <p>又、プラネタリウムでのビデオ上映や、子供工作コーナー及び飲食や頒布コーナーも盛況で、2286人の来場者に色々な切り口で環境についてのアピールをする事が出来たと思っております。</p> <p>尚、スタッフの高齢化により準備等厳しい状況ではありましたが、今回いただいた寄附金で設営費の一部を捻出することができ、無事に開催することが出来ました。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K141	団体名	特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター
連絡先 (電話／メール)	06-6881-1133	活動ホームページ (URL)	http://econetkinki.org
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	琵琶湖・淀川流域自然環境再生事業		
寄附額合計	¥194,996		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,651	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>流域河川のクリーンアップの推進を通し、流域のNPO・企業・行政等を緩やかなネットワークで結び、相互の理解と交流を通して、地域活動を活性化させる事業を推進しました。本事業は次年度以降も継続して行い、環境活動の発展を進めます。</p> <p>本年度戴きました寄附は、寄附額の全額を次年度以降に持ち越しを行い、同事業の一助とさせて頂く予定です。</p> <p>次年度以降の計画は、以下の通りです。(平成23年度及び平成24年度の計画として)</p> <p>(2)クリーンアップの情報集約・発信のためのWebサイト構築</p> <p>(1)クリーンアップの情報交換会の開催</p> <p>(2)Webサイトを使った団体情報やイベント情報、ノウハウ等の情報の集約・発信</p> <p>(3)ごみ調査の普及と調査データの集約・発信</p> <p>(4)ごみマップの作成</p> <p>(5)地域の緩やかなネットワーク構築</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,121	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>流域河川のクリーンアップの推進を通し、流域のNPO・企業・行政等を緩やかなネットワークで結び、相互の理解と交流を通して、地域活動を活性化させる事業を推進しました。今年度は、頂いた寄附金により次の事項を行いました。</p> <p>(1)クリーンアップ活動団体等に「仲間づくりフォーラム」を開催 使途:講師謝金、環境教育ツールとしての絵本 成果:今年で開催3回目 3月31日(日) 大阪府環境情報プラザ 参加者:15名</p> <p>(2)外来駆除に携わる団体への支援として備品(もんどり等)を購入し提供 成果:河川清掃、在来魚の保全に関わる団体へ無償貸出し、活動支援。3か所で使用。</p> <p>(3)環境団体・行政が主催する環境イベントに参加し環境啓発活動の実施等を行った。 使途:クラフト材料費、出店料(テント、イス、机) 成果:クラフト作成と活動展示。展示出展数4、来場者計4万5200人。</p> <p>次年度以降も寄附金を利用し、環境団体への支援、ネットワーク構築等や環境啓発を図ります。 前回の寄附金29,651円、ならびに今回の寄附金90,121円=合計11,9772円 (1)(2)(3)の支出合計104,730円 次年度繰り越し 15,040円にて、啓発活動費(啓発ポスター、チラシ、マップの作成)に使わせていただきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,589	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>企業のCSR活動を流域の市民活動団体とともに支援し、流域河川(淀川)のクリーンアップを行いました。また活動団体の活性化をはかるための「調査型のクリーンアップ」リーダー育成や、環境啓発活動に、寄附金を使わせて頂きました。次年度以降も環境団体への支援、ネットワーク構築等や環境啓発を図ります。</p> <p>(1)調査型クリーンアップ活動のリーダー育成講習会の開催 使途:ピブス作成費、交通費、保険代 成果:参加者:15名 台風後ごみが散乱する河川敷きが見違えるように美しくなりました</p> <p>(2)クリーンアップ活動団体情報発信のためのHPメンテナンス 使途:平成24年度に立ち上げたHPによる団体情報の発信</p> <p>(3)環境団体・行政が主催する環境イベントに参加し環境啓発活動の実施等を行った。 使途:クラフト材料の購入費、出店料(テント、イス、机)、「海ゴミ問題啓発パネル」賃借料、運搬費 成果:展示出展数3、来場者計約1万5000人</p> <p>前回の繰越金15,042円、ならびに今回の寄附金49,589円=合計64,631円のすべてを上記事業に使わせていただきました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,070	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(1)概要:平成24年度に立ち上げたHPによるクリーンアップ活動団体情報発信 使途:団体情報発信HPメンテナンス</p> <p>(2)概要:環境団体・行政が主催する環境イベント「環境フェスタ2014inまほろば」(2014年10月)「環境フェスタin交野」(2015年3月)に出展し一般市民向け環境啓発活動を行った。 使途:クラフト材料の購入費、出店料(テント、イス、机) 内容:「大阪府の水」啓発パネル展示 「ごみ辞典」パネル展示 成果:展示出展数2、来場者計約5000人</p> <p>今回の寄附金19,070円の全てを上記事業に使わせていただきました。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥6,565		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)環境美化の啓発活動とクリーンアップ活動団体の活動の広報による支援や運営基盤強化のため、Webによる情報発信やメールニュース、FBによる活動紹介をしています。また、企業や地域の団体が開催するクリーンアップイベントでは、連携のコーディネーターやスタッフとして運営協力をするなど、活動の活性化をはかる取り組みをしています。</p> <p>(使途)ご寄附を活動団体情報発信のためのHP(http://econetkinki.org/)のメンテナンスに使用させていただきました。</p> <p>(効果)クリーンアップ活動への支援や連携事例の発信をご覧になった地域の活動団体と連携し、30名が参加するクリーンアップイベント開催に協力しました。また、企業CSR活動として55名が参加するクリーンアップのコーディネーターもお引き受けし、啓発活動の裾野が広がりました。次年度は、児童や単身者世帯も参加できるイベントの開催でより多くの方が環境活動に楽しく取り組める事業開催を検討中です。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K142	団体名	社団法人まちづくり国際交流センター
連絡先 (電話／メール)	0744-23-9908	活動ホームページ (URL)	http://nara-c.com/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	国際貢献、国際文化交流、環境保護を含む住みやすいまちづくり		
寄附額合計	¥201,915		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,656	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>●環境寄附の使い途 当センター理事長吉田浩巳が環境先進国ドイツを視察した際の、同国の環境問題への取組現状のレポートをシリーズで発行中(5000部/回、年6回)で、このレポートを県内の全公民館・図書館・各種団体等に送付しています。頂戴しましたご寄附は、レポートの郵送料の一部として使用させていただきました。</p> <p>●使用対象及び成果 当センターの環境啓蒙活動も定着しつつあり、地域住民のより多くの方に環境問題の意識を深めていただいております。大変ありがとうございました。今後とも更に住みやすいまちづくりに励んで参る所存です。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,740	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>●環境寄附の使い途 当センター理事長吉田浩巳が環境先進国ドイツを視察した際の、同国の環境問題への取組現状のレポートをシリーズで発行中(5000部/回、期間中2回)で、このレポートを県内の全公民館・図書館・各種団体等に送付しています。頂戴しましたご寄附は、レポートの郵送料の一部として全額使用させていただきました。</p> <p>●使用対象及び成果 当センターの環境啓蒙活動も定着しつつあり、地域住民のより多くの方に環境問題の意識を深めていただいております。大変ありがとうございました。今後とも更に住みやすいまちづくりに励んで参る所存です。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥50,604	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>●環境寄附の使い途 前年度に引き続き、当センター理事長吉田浩巳が環境先進国ドイツを視察した際の、同国の環境問題への取組現状のレポートをシリーズで発行し(5000部/回、期間中2回)、このレポートを県内の全公民館・図書館・各種団体等に送付しました。頂戴しましたご寄附は、レポートの郵送料の一部として全額使用させていただきました。</p> <p>●使用対象及び成果 当センターの環境啓蒙活動も徐々に定着し、地域住民のより多くの方に環境問題の意識を深めていただいております。大変ありがとうございました。今後とも更に住みやすいまちづくりに励んで参る所存です。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥20,850	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>●環境寄附の使い途 H25年10月12・13日夢の森フェスタ(榎原神宮公苑、参加者3万人)に参画し、アメリカ、ブラジル等5カ国の外国人に参加頂き、世界の食文化交流と環境啓蒙を行いました。またチャレンジ・ザ・エコ(H26年2月2日、榎原市中央公民館、小学生30人)に参画し「環境先進国ドイツに学ぶ」の講演を実施、子供を対象に環境教育を行いました。費用はこの時使用した教材費・資料印刷費(5種類各50枚)、外国人参画者への謝金、プロジェクター借料等に全額充てさせていただきました。</p> <p>●使用対象及び成果 夢の森フェスタでは、5カ国の外国人に参加してもらい国際的なテーマという観点から環境問題を訴えました。チャレンジ・ザ・エコでは、子ども達が日本とドイツの違いを感じ、多くの質問をして海外とのつながりと、様々な考えを持った人がたくさんいるという気付きになりました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥8,065	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>●環境寄附の使い途 榎原市では、地域で環境活動をしている団体や企業、行政が一体となって、環境をテーマにエコフェスタというイベントを毎年実施しています。今年は10月24日(土)に実施されましたが、このイベントで、当センターの吉田理事長が環境先進国ドイツの環境問題への取組状況について講演しました。頂戴しましたご寄附は、配布資料300部、ラミネート大判10枚、閲覧資料89枚×3部等の作成費用の一部として全額使用させていただきました。</p> <p>●使用対象及び成果 環境啓蒙活動は一朝一石に成果が得られるものではないため、地道に継続して実施する必要があります。おかげさまで我々の活動も毎年実施していることから、地域住民のより多くの方に環境問題の意識を深めていただいております。大変ありがとうございました。今後とも更に住みやすいまちづくりに励んで参る所存です。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K143	団体名	特定非営利活動法人循環生活研究所
連絡先 (電話／メール)	092-405-5217	活動ホームページ (URL)	https://www.facebook.com/jsk.fukuoka/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	「小さな循環でい暮らし」をするための人材養成と支援		
寄附額合計	¥310,645		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,900	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当NPOの堆肥づくり歴45年の堆肥名人の実践力を、各地域で楽しく着実に展開できるように実践型専門家の養成・支援と手法を移植しました。自家製堆肥づくりから菜園・野菜・食までむすぶ循環を実現するため初心者でも簡単に取り組めるダンボールコンポストを使い、市民へわかりやすい指導と継続を支える活動をする市民の養成と継続支援を行っています。</p> <p>今回寄附いただいた29,900円は、養成されたリーダーの情報交流会開催への補足資金として活用しました。</p> <p>地域で活動するリーダーが、他の地域での活動を参考にし、情報交流することができました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,921	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>寄附いただいた92,921円は3都市の市民に対して堆肥専門家を1年間かけて養成し、コンポスト普及活動に充当。</p> <p>専門家講座の2日間の開催、および教材費の補助、合計6日間の各県へ出向いての養成するための実習の開催の交通費の1部に充当し、すべて使用させていただきました。</p> <p>育ったリーダーたちが、ダンボールコンポストを市民へ普及し、生ごみを総計で年360t以上減量し、畑で野菜を育てて資源循環させることができました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥60,889	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体は、家庭から出る生ごみを、市民が循環し環境にやさしい暮らしをするための普及・促進活動をおこなっております。都市部に向けた、ベランダで簡単にできる「ダンボールコンポスト(堆肥化)」を普及・啓発するためのリーダー養成・支援を実施しています。</p> <p>寄附いただいた60,889円と、自己資金を合わせて、養成講座の費用に活用しました。</p> <p>講座へは、9都市14名の参加があり、9都市でそれぞれコンポスト普及リーダーとして、1年間で合計で、生ごみ140トン減量し、地域で資源循環しました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥20,370	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当団体では、市民が家庭から出る生ごみを循環し、環境にやさしい暮らしをするためのダンボールコンポストの普及・促進活動を実施しています。都市部でもベランダで簡単にできる「ダンボールコンポスト(堆肥化)」を普及・啓発するためには、地域で適切なアドバイスをする人材が継続を支えることから、リーダー養成・支援を平成17年度から実施しています。</p> <p>寄附いただいた20,370円と、自己資金を合わせて、養成講座の費用に活用しました。</p> <p>福岡県、岡山県、奈良県、神奈川県、東京都、岐阜県から8都市14名の参加があり、それぞれコンポスト普及リーダーとして、活動し全地域少なくとも1年間で生ごみ140トン減量することができました。私たちNPOの普及活動と前年度まで養成したリーダー合わせて多くの地域で資源循環することができました。本年度はインドネシアからも養成講座への参加があり、本活動はアジア都市圏へと広がっています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥106,565	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当研究所では、ベランダで気軽に生ごみをたい肥化するダンボールコンポストの指導者(アドバイザー)育成を行っています。</p> <p>(使途)これまで育成したリーダーとの情報交流会や活動サポートのために全額を充当いたしました。</p> <p>(効果)情報交流やサポートの成果があり、2年間で35名の指導者を育成し、全国で講座を開催し市民や学校教育現場で、年間約35,000人に指導することで、年間で生ごみ525トンが減量。CO2は183.75トン削減できました。こうした地域で気軽に相談できるアドバイザーがいることで、継続したごみ減量活動、環境負荷低減を実現することができています。</p> <p>近年では、若い受講生も多く、学校教育との連携も目立つようになっており、今後は使いやすい新しい教材づくりの検討や、循環野菜(生ごみをたい肥化するダンボールコンポストを使った無農薬野菜)ができる仕組みのノウハウ移転の実施を予定しています。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K144	団体名	特定非営利活動法人くまもと温暖化対策センター
連絡先 (電話／メール)	096-356-4840	活動ホームページ (URL)	http://www.kuma-ontai.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	省エネアドバイス実施		
寄附額合計	¥294,945		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,400	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・当団体では、2年前から熊本県内の各種イベントにおいて、省エネ家電や節電行動及びうちエコ診断の啓蒙や広報を実施していく中で、特に3. 11以後の節電行動の具体的な行動や発電自転車を利用した、体験型環境教育を熊本県・熊本市の環境祭や各地区で実施される環境祭に、当センターの理事を派遣する為の費用として使用させて頂きました。</p> <p>・参加人員は熊本県・熊本市で1000名程度の入場が有り、参加者への指導をすることで節電行動に繋がったものと想定されます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,121	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・省エネ家電アドバイザー養成講座の開催(2回／年)を実施、延べ参加数は2回で56名となりました。参加者の主な方は、熊本県電機商工組合員家電販売店及び熊本県地球温暖化防止活動推進員と当センター会員へ呼びかけて実施した。その際の講師派遣料及び会場使用料と参考資料の作成費・コピー代として寄付いただいた91,121円を使用しました。又、各イベント参加時に参加アドバイザーの日当、アンケート用紙コピー代として活用(熊本市主催・熊本県主催等)</p> <p>・各イベント参加者へ家電アドバイザーから省エネグッズラリーでの最新家電に関する情報提供や体験として、LED電球と従来電球での消費電力量の比較などを説明指導、その他冷蔵庫やエアコンなどの最新情報を”省エネ家電”おすすめBOOK(財家電製品協会)などを使用する事で詳細まで説明した。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,489	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では各市町村の環境イベントに出向き、省エネグッズを実施したり普及啓発資料を配布したりしています。</p> <p>(使途)今回寄附いただきました49,489円は、資料印刷や経費の一部に使用させて頂きました。ご寄附を経費の一部に充てることにより、資料をカラーで準備することができました。</p> <p>(効果)カラー印刷の資料を使うことにより、参加者にわかりやすい資料になり、手にとってみていただける確率が増えました。説明もしやすく、普及啓発に役立ったものと考えます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,370	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では各市町村の環境イベントに出向き、省エネグッズを実施したり普及啓発資料を配布したりしました。</p> <p>(使途)今回寄附いただきました18,370円は、資料印刷費に使用させて頂きました。ご寄附を経費に充てることにより、資料をカラーで準備することができました。</p> <p>(効果)カラー印刷の資料を使うことにより、参加者にわかりやすい資料になり、手にとってみていただける確率が増えました。説明もしやすく、普及啓発に役立ったものと考えます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥106,565	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では各市町村で開催される環境イベントに参加要請があった際に出向き、パネル展示とともに省エネグッズを実施し普及啓発資料を配布しました。</p> <p>(使途)今回寄附いただきました106,565円は、資料印刷費やパネル制作費として使用させて頂きました。ご寄附を経費に充てることにより、最新情報を掲載したパネル作成や資料のカラー印刷をすることができました。</p> <p>(効果)大きなパネルを展示することにより、参加者にわかりやすく伝わりやすい情報となり、印刷した資料をお渡しするよりもイベントブースにお立ち寄り頂ける確率が増えました。また、カラー印刷の資料もわかりやすいと好評でした。説明もしやすく、普及啓発に役立ったものと考えます。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K216	団体名	特定非営利活動法人水・環境ネット東北
連絡先 (電話／メール)	022-723-1390	活動ホームページ (URL)	http://mizunet.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	東北の“いい川”づくり交流		
寄附額合計	¥292,978		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,146	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)北上川の流域を1つの枠組みとして、水環境の保全に関わる立場の異なる人々(NPO・教育機関・企業・行政)が議論できるワークショップを2回開催しました。2010年12月4日に岩手県一関市で開催したワークショップは、様々な取り組みの成果や課題を発表し合い、翌年の2011年12月10日に宮城県石巻市で開催したワールドカフェでは、参加者全員が東北の震災後の水環境について話し合いました。</p> <p>(使途)この度寄附いただいた30,146円は2回のワークショップの開催運営費として、コーディネーター・ファシリテーターの謝金(旅費)、チラシ・当日配布資料作成費等に充てました。</p> <p>(効果)全体で150名程の参加者となり、今回の寄附金を頂いたことで2回目のワークショップは被災地の石巻で開催することができました。東北外(東京や九州等)からも参加いただきました。また第3弾の開催を検討しています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥106,823	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)北上川の流域をテーマにしたワークショップを2回実施後、「持続可能な川づくり研究会」への参画。全国のいい川・いい川づくりワークショップへ参画しました。「持続可能な川づくり研究会」は各主体の役割のあり方や、多自然川づくりの普及の方策などをテーマに4回検討会に参加しました。また、いい川・いい川づくりワークショップは、スタッフや実行委員としての参画をしました。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた106,823円は、東京を会場に開催される川づくり研究会への旅費宿泊費4回分、東京で開催される全国ワークショップへ出席の旅費宿泊費3名分に充てました。不足分は自己資金で充当しました。</p> <p>(効果)石巻でのワークショップの後、全国のキーマン6名と「持続可能な川づくり研究会」(4回開催)を立ち上げ、水防協力団体や河川環境に関しての市民団体の役割や現行制度の検証などを議論し報告書の作成に至りました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥95,483	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)東北の“いい川”づくり交流を目的として、2013年11月28日、29日に仙台市で「みやぎの“いい川”づくり研修会」を開催しました。2日間で、フィールド研修および室内研修会(講座・報告・全体討論)を行いました。</p> <p>(使途)ご寄附を、研修会の当日資料の作成、フィールド研修(広瀬川～名取川河口)のためのバス借り上げ、および講師謝金の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)行政やコンサルタント会社、NPOなど、川づくりにかかわる方、約60名に参加していただき、多自然川づくりの考え方や各地の事例について学んでいただくことができました。首都圏ではこういった研修会が多く開催されていますが、地方からはなかなか参加できないため、良い機会になったと考えます。アンケートでは、とても参考になったという意見が多く、また継続して開催してほしいといった声も聞かれました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥43,464	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)東北の“いい川”づくり交流を目的として、2014年9月11日、12日に秋田県で「秋田“いい川”づくり研修会」を開催しました。2日間で、フィールド研修および室内研修会(講座・報告・全体討論)を行いました。</p> <p>(使途)ご寄附を、研修会の座学、フィールド研修(雄物川の三角沼、子吉川)のための講師謝金の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)行政やコンサルタント会社、NPOなど、川づくりにかかわる市民、60名以上の方に参加していただき、多自然川づくりの考え方や各地の事例について学んでいただくことができました。フィールド研修のカヌー体験では、実際に水に触れ貴重な体験になったようです。座学研修では多様な講師、発表者に話してもらったことで、多自然川づくりの考え方や事例がとても勉強になったという声が多くありました。環境に配慮した川づくりに対する意識を持っていただけたと思います。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥17,062	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)「いい川・いい川づくりワークショップ in 仙台」が2015年8月29-30日に仙台で開催されるのに合わせ、被災地での現地研修会を8月28日に併催しました。全国から集まった、川や水辺で活動している参加者と、復興の現状視察・意見交換などを実施し、防災についての認識を高めることを目的としました。</p> <p>(使途)ご寄附を、研修会の移動のためのバス借り上げ代の一部として使用いたしました。</p> <p>(効果)関東や関西、九州地区等で川や水辺で活動する市民、団体の方々にご参加いただくことができました。被災した当時の状況についてのお話や映像、また各地の復旧の状況についても、各関係機関のご協力でご説明いただきながら視察することが出来ました。遠方からの参加者が多く、なかなか訪れることができない現在の被災地の状況を見ていただきました。各地域に持ち帰って、この研修内容を伝えていただけると期待します。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K217	団体名	認定NPO法人アサザ基金
連絡先 (電話／メール)	029-871-7166	活動ホームページ (URL)	http://www.asaza.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	アサザプロジェクトの環境教育事業		
寄附額合計	¥245,063		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,146	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>弊基金は1995年から霞ヶ浦の環境保全に取り組んでいます。その一環として環境教育にも力を注いできました。</p> <p>環境寄附は、2008年度から活動資金が確保できずほとんどボランティアで実施している霞ヶ浦流域における小中学校の環境学習のための必要経費に充当しました。予定のガソリン代ではなく、湖での生きもの観察用に胴つき長靴3個(7,200円×3個=21,600円)とショルダーメガフォン1個(17,000円)を購させていただきました。合計38,600円(住宅エコポイントからは30,146円負担)</p> <p>環境寄附のご支援をいただきましたことにより、2010年4月から2011年2月まで霞ヶ浦流域の小中学校におきまして、延べ116回、2680名の児童に環境学習を提供することができました。ありがとうございました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,608	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>弊基金は1995年から霞ヶ浦再生事業(アサザプロジェクト)に取り組んでいます。その一環として環境教育にも力を注いできましたが、2008年度から活動資金が確保できずほとんどボランティアで実施しています。</p> <p>御事業から頂戴した寄附は、霞ヶ浦流域における小中学校の環境学習のための必要経費に充当させて頂きました。内訳は、湖での生きもの観察用にアウトドラスコープ 2個 24,000円、アルミ製引抜き捕虫網 2個 25,228円、メガフォン 1個 17,500円、学校ビオトープ維持管理費として50,000円 合計116,728円(エコポイントからは90,608円負担)</p> <p>環境寄附のご支援により、2011年4月から2012年9月まで霞ヶ浦流域の小中学校において、延べ62回、1,846名の児童に環境学習を提供することができました。また、これらの学習を通して霞ヶ浦の水辺環境の再生に貢献できました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥93,383	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>アサザプロジェクトの環境教育事業では、BT(学校ビオトープ)の造成や野外での観察授業など屋外で活動する機会が多くあります。</p> <p>御事業の寄附から「手ぶら拡声器」を購入しました。のどマイク付で61,530円です。(手ぶら拡声器57,540円+のどマイク3,990円)これにより、両手をふさがれることなく説明できることから、子ども達との野外活動が大変しやすくなりました。また、残りの31,853円は学校訪問に際してのガソリン代として充当させて頂きました。</p> <p>子ども達は自然の生態系を知ることで、自分たちの住んでいる地域の自然を大切にすることが湖の水源地を保全し、湖の再生につながることを学ぶことが出来ました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,364	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>私どもは1995年から霞ヶ浦の再生事業の一環として、学校にBT(池)を造成して水草を育てたり、生きもの生態を学ぶ環境教育事業を実施しています。</p> <p>今回頂戴した寄附金で、環境学習用に「たも網」を購入しました。 (たも網1本1080円を20本 → 1080円×20本=21,600円 その内頂戴した寄附金18,364円を充てました。)</p> <p>購入したたも網は、学校BTや学校周辺の生きもの観察授業で活用しました。子供達一人一人が網を手に取り、BT内のヤゴやカエルなどを採取して、周辺の環境とBTのつながり、生きもの道の道を考える授業を進めることが出来ました。未来を担う子供達の育成は、霞ヶ浦の再生にとって大変重要な位置づけです。今後も出来る限り継続していきたいと考えています。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥12,562		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当法人は1995年から霞ヶ浦流域における環境教育事業に取り組んでいます。</p> <p>ご支援いただいた環境寄附12,562円は、霞ヶ浦流域におけるアサザプロジェクトの環境学習授業(生態系の学習や生き物観察)における移動のためのガソリン代として活用させていただきました。</p> <p>2015年5月～7月までで19の小中(牛久市、石岡市、潮来市、鹿島市、小美玉市)に合計40回訪問しました。移動距離(事務所と学校間の往復)は総計630.5Kmとなります。</p> <p>車両移動のガソリン代として1kmあたり20円で計算しますと12,562円では628.1Kmとなります。お陰様にて、630.5Km移動のうちの628.1Km分をご支援いただいたこととなります。</p> <p>これにより、3,474名の児童生徒に環境学習を提供することが出来ました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K218	団体名	特定非営利活動法人川に学ぶ体験活動協議会
連絡先 (電話／メール)	03-5832-9841	活動ホームページ (URL)	http://www.rac.gr.jp
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	全国一斉1万人・川の流れ体験キャンペーン		
寄附額合計	¥193,572		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,646	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当年度は、川の流れ体験キャンペーンの期間中のメイン活動日(夏休み前の土曜日: 昨年は7月16日)に茨城県・小貝川を会場に、「全国一斉1万人川の流れ体験in小貝川」を実施するための費用(インストラクターの交通費、謝金、活動用機材レンタル料)として活用しました。</p> <p>実施に際しては葛飾ポニースクールに通う子どもが多数参加し、当地の「NPO小貝川プロジェクト21」の方々を含めて総勢44名で実施。最初、川での身の守り方のレクチャーを受けた後、上流から約200mをゆったりとライフジャケットを着て漂流。また、防災でも活用される10人乗りボート(Eボート)への乗船も経験。最後は施設までの移動中にごみ拾いを行い、遊ぶ前よりも綺麗にすることのすかさずささも体感しました。</p> <p>当該取り組みは、身近な大自然である川に楽しく触れることで、子どもの教育に必要な生きる力を育む絶好の機会を提供できたことと思われまます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,118	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)全国各地の川の指導者に募集をかけ連携し、7月1日～8月31日の期間に、それぞれの地元組織の趣向を凝らしたプログラムを展開する。子どもまたは親子を対象とし、川の自然体験の専門家が主導する。ライフジャケットの着用等安全に関する内容を含めた、川の流れ体験を一斉に実施することで川の恵み・安全な活動を全国にアピールする。同時に当該活動に併せて河川清掃を行い、自ら川をきれいにしたいという思いを達成する。</p> <p>(使途)「全国一斉1万人・川の流れ体験キャンペーン」と銘打った期間イベントの運営事務費(連絡・調整・広報、一般事務)、賛同実施団体への提供グッズに90,118円を使わせていただいた。</p> <p>(効果)最終的に全国25箇所(別紙開催箇所一覧参照)で計971名の方が川の流れ体験を行った。次年はより広く・多くの方に参加いただき、より良い川と人の関係が作られて行く事を目指す。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,383	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)全国各地の川の指導者に募集をかけ連携し、7月1日～8月31日の期間に、それぞれの地元組織の趣向を凝らしたプログラムを展開する。子どもまたは親子を対象とし、川の自然体験の専門家が主導する。ライフジャケットの着用等安全に関する内容を含めた、川の流れ体験を一斉に実施することで川の恵み・安全な活動を全国にアピールする。同時に当該活動に併せて河川清掃を行い、自ら川をきれいにしたいという思いを達成する。</p> <p>(使途)「全国一斉1万人・川の流れ体験キャンペーン」と銘打った期間イベントの運営事務費(連絡・調整・広報、一般事務)、賛同実施団体への提供グッズに49,383円を使わせていただいた。</p> <p>(効果)最終的に全国25箇所(別紙開催箇所一覧参照)で計971名の方が川の流れ体験を行った。次年はより広く・多くの方に参加いただき、より良い川と人の関係が作られて行く事を目指す。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,364	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)全国各地の川の指導者に募集をかけて連携をし、7/1～8/31までの期間に、それぞれ地元組織の趣向を凝らしたプログラムで活動を行う。子ども向けまたは、親子を対象とし、川の自然体験の専門家が主導する。ライフジャケットの着用等安全に関する内容を含めた、川の流れ体験を一斉に実施することで川の恵みや安全な活動を全国にアピールすると同時に、活動に合わせて河川清掃を行い、自らすすんで川をきれいにしたいという思いを達成する。</p> <p>(使途)「全国一斉1万人・川の流れ体験キャンペーン」と銘打った期間イベントの運営事務費(連絡、調整、一般事務)、賛同実施団体への提供グッズに18,364円を使わせていただいた。</p> <p>(効果)全国で18か所約1200名の人たちが川の流れ体験を行い、安全や川に対する知識を得ることができ、川と人の良い関係が出来上がりつつある。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥6,061		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)全国各地の川の指導者に募集をかけて連携をし、7/1～8/31までの期間に、それぞれ地元組織の趣向を凝らしたプログラムで活動を行う。子ども向けまたは、親子を対象とし、川の自然体験の専門家が主導する。ライフジャケットの着用等安全に関する内容を含めた、川の流れ体験を一斉に実施することで川の恵みや安全な活動を全国にアピールすると同時に、活動に合わせて河川清掃を行い、自らすすんで川をきれいにしたいという思いを達成する。</p> <p>(使途)「全国一斉1万人・川の流れ体験キャンペーン」 (http://www.rac.gr.jp/orac/03activeRAC/1mankawanagare/kawanagare.html)と銘打った期間イベントの広報費用(ホームページの作成、運営、連絡)の一部として6,061円を使わせていただいた。</p> <p>(効果)全国で16か所約674名の人たちが川の流れ体験を行い、安全や川に対する知識を得ることができ、川と人の良い関係が出来上がりつつある。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K219	団体名	財団法人日本野鳥の会
連絡先 (電話／メール)	03-5436-2622	活動ホームページ (URL)	http://www.wbsj.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	野鳥をシンボルとした、生物多様性保全の普及教育事業		
寄附額合計	¥251,387		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥32,446	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>野鳥や生きものの魅力、保護の重要性をわかりやすく伝えるための小冊子「ミニミニ野鳥図鑑」を、全国90の支部を通じて一般配布する際の送料の一部とした。</p> <p>全国の支部では、初めての方が気軽に野鳥や自然に親しめる、バードウォッチング・イベント「探鳥会」を年間を通じて開催しており、「ミニミニ野鳥図鑑」をその教材として役立てることができた。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥101,833	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>初心者を対象としたバードウォッチングの手助けとなる小冊子「ミニミニ野鳥図鑑」を25,000部発行しましたが、その前段階として、「ミニミニ野鳥図鑑プレゼントハガキ」を制作し、その制作関連費とさせていただきます。</p> <p>この「ミニミニ野鳥図鑑プレゼントハガキ」を使用し、約1000人の方から、「ミニミニ野鳥図鑑」のお申込みをいただきました。「日常、姿を見かけるが名前が分からない鳥の名前を知ることができて、自然に親しむことができました」など、感想をいただいています。まずは、この図鑑を手にフィールドに出てみることで、そして自然のしぐみを理解することを提案しています。日本野鳥の会はこれからも自然保護活動を推進してまいります。</p> <p>ミニミニ野鳥図鑑プレゼントハガキ制作印刷費 約50,000円、郵送料、約75,000円、デザイン料約20,000円 合計約145,000円かかりましたが、住宅エコポイント寄附の101,833円全額を充当させていただきました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥87,383	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>2012年度から2013年度にかけて、小冊子「ミニミニ野鳥図鑑」を25,000部発行し、個人の方から6,273件のお申し込みがありました。</p> <p>その発送費@75×6,273=470,475円のうち、皆さまから頂きましたご寄附87,383円全額を充当させていただきます。この「ミニミニ野鳥図鑑」は身近な鳥23種を家の周り、公園、水辺、林と環境ごとに紹介している、初心者向けの冊子です。</p> <p>申込みをされた方からは、「この冊子を見て、近所でよく見る鳥の名前がわかりました」とか、「小さくて持ち運びやすいので、散歩に出かける際に必ずバッグに入れてます」などの感想が寄せられています。さらに、小学生の生活科・総合学習のテキストとしても活用されており、自然を大切にすることを育む一助となっています。まずは、身近な自然に親しんでいただき、そこからフィールドに出かけてバードウォッチングを楽しみ、自然保全活動に思いを馳せる、その最初の一步として、この「ミニミニ野鳥図鑑」がお役に立てればと思います。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥23,664	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>日本野鳥の会では、身近な野鳥や自然に目を向けていただく機会となるよう、毎年無料配布の冊子を制作しています。</p> <p>2013年度は冊子を約2万5千冊、申し込みを誘導するハガキは2万枚制作しました。このハガキを通じたお申込み件数は2,241件あり、145,665円かかった郵送料のうち、ご寄附全額を充当させていただきました。</p> <p>この冊子がお手元に届いた方々より、「冊子を片手に探鳥会にでかけます」「冊子のおかげで自然の中に出かけるのが楽しになりました」などの感想が多く寄せられています。ミニミニ野鳥図鑑をお届けしたことで、野鳥と人とが同じ空間で生活しているという実感をお持ち頂くことができたと確信しております。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥6,061		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>日本野鳥の会では、2015年4月に新小冊子『鳴き声ノート』を発行しました。この小冊子は野鳥の『鳴き声』にフォーカスした小冊子で、12種類の野鳥の鳴き声を、文字とイラストで紹介しています。また、youtubeや当会のオリジナル商品と連動し、音声を簡単に再生することもできるような仕掛けになっています。この小冊子のお申込み者は約16,000件。</p> <p>皆さまのご寄附6,061円は小冊子の制作費に全額充当させていただきます。この小冊子は、SNSでも話題となり、今までとは違った新たな層からもお申込みをいただいております。野鳥やバードウォッチングへの興味を持っていただく第一歩となれば幸いです。</p> <p>実際に「鳴き声ノート」を読んで、近所で鳴いている鳥が分かった、「この鳴き声はキジバトの鳴き声だったと分かりました」との感想が寄せられています。日本野鳥の会は、これからも自然と人間とが共存する豊かな社会の実現を目指します。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K220	団体名	特定非営利活動法人神奈川県環境学習リーダー会
連絡先 (電話／メール)	090-3247-6647	活動ホームページ (URL)	http://npo-k-leader.net/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	将来を託す子どもたちと市民の環境学習事業		
寄附額合計	¥198,171		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,446	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は、自然環境保全や地球温暖化対策に貢献することを目的としています。様々な環境保全活動に取り組み、活動で得た体験や知識を地域の子どもたちや市民の皆さんに伝えることで、持続可能な社会の実現を目指しています。</p> <p>(使途)平成22年5月から平成23年4月までにご寄附いただいた30,446円は、平成23年7月から12月に横浜市、平塚市、小田原市など神奈川県内各地で開催した、小学生を中心とする子どもたちと市民を対象とした環境体験教室、合計12教室を開催する際の材料購入費用として使わせていただきました。</p> <p>(効果)開催した各教室には、毎回10～30名の子どもたちとその保護者に参加していただき、工作や自然体験などを通して、子どもたちに環境の大切さをより良く理解してもらう機会を設けることができました。来年度も今回同様の活動を予定しており、今回頂いたご寄附の一部を活用させていただきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,118	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は、自然環境保全や地球温暖化対策に貢献することを目的としています。様々な環境保全活動に取り組み、活動で得た体験や知識を地域の子どもたちや市民の皆さんに伝えることで、持続可能な社会の実現を目指しています。</p> <p>(使途)平成23年5月から平成24年4月までにご寄附いただいた90,118円は、平成24年7月から10月に平塚市、横浜市泉区、横浜市港南区など神奈川県内各地で開催した、小学生を中心とする子どもたちと市民を対象とした環境体験教室、合計11教室を開催したスタッフ交通費、材料費、印刷費の一部として全額を使わせていただきました。</p> <p>(効果)環境体験教室には毎回10～30名の子どもたちとその保護者にご参加いただき、工作や自然体験などを通して環境の大切さを理解してもらう機会を設けることができました。市民環境活動報告会には参加した市民80名に環境保全活動に関心を寄せていただきました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥52,682	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は、自然環境保全や地球温暖化対策に貢献することを目的としています。様々な環境保全活動に取り組み、活動で得た体験や知識を地域の子どもたちや市民の皆さんに伝えることで、持続可能な社会の実現を目指しています。</p> <p>(使途)平成24年5月から平成25年4月までにご寄附いただいた52,682円は、平成25年7月から8月に平塚市、横浜市泉区、横浜市西区など神奈川県内各地で開催した、小学生を中心とする子どもたちと市民を対象とした環境体験教室や工作教室など、合計9教室を開催した際のスタッフ交通費、工作材料費、資料印刷費の一部として全額を使わせていただきました。</p> <p>(効果)開催した環境体験教室や工作教室などには、毎回10～40名の子どもたちとその保護者の皆さんにご参加いただき、工作や自然体験などを通して環境の大切さを理解してもらう機会を設けることができました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,864	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は自然環境保全や地球温暖化対策に貢献することを目的としています。様々な環境保全活動に取り組み、活動で得た体験や知識を地域の子どもたちや市民の皆さんに伝えることで、持続可能な社会の実現を目指しています。</p> <p>(使途)平成25年5月から平成26年4月までにご寄附いただいた18,864円は、電磁誘導実験に使用するエナメル線、磁石、電池や、パスカルの実験に使用するビニール袋、ストロー、粘着テープ等の購入に全額を使わせていただきました。</p> <p>(効果)購入した機材は平成26年8月に神奈川県環境科学センターで開催した夏休み子ども環境教室「いろいろな方法で電気を作ってみよう」、および平成27年1月に相模原青少年学習センターで開催した青少年のための科学の祭典「君は自分で自分の体を持ち上げることができるか」の工作、実験の材料として使用し約150名の小学校児童に科学実験を体験する機会を提供できました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,061	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は自然環境保全や地球温暖化対策に貢献することを目的としています。様々な環境保全活動に取り組み、活動で得た体験や知識を地域の子どもたちや市民の皆さんに伝えることで、持続可能な社会の実現を目指しています。</p> <p>(使途)平成26年6月から平成27年7月までにご寄附いただいた6,061円は、パスカルの実験に使用するビニール袋、ストロー、粘着テープ、および電池の実験に使用する金属板、レモン、備長炭等の購入に全額を使わせていただきました。</p> <p>(効果)購入した材料は平成27年8月に神奈川県立青少年学習センターで開催した青少年のための科学の祭典「君は自分で自分を持ち上げられるか」、および平成27年12月に逗子市体験学習施設スマイルで開催した子どもサイエンスフェスティバル「身近なもので電池を作ろう」の工作、実験の材料として使用し約200名の小学校児童に科学実験を体験する機会を提供できました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K221	団体名	特定非営利活動法人加治川ネット21
連絡先 (電話／メール)	090-8080-1349	活動ホームページ (URL)	http://www.inet-shibata.or.jp/~kjn21/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	新発田市・聖籠町小学生による環境学習発表会とパネル展		
寄附額合計	¥196,097		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,346	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、新潟県新発田市内及び聖籠町内の小学生達が取り組み、支援した環境学習の成果を広く市民にも知ってもらう為の発表会を行った。学習成果を発表することで子供達の感じた「学びや、気づき」から地域環境の重要性を市民にも認識してもらい環境保全と環境教育の意識向上を目指します。</p> <p>(使途)平成22年11月に開催した第4回発表会の開催のプログラムとポスター、チラシの作成費に計157,185円の一部に使用した。</p> <p>(効果)発表会では200人以上の市民を前に各校が工夫を凝らした演出で発表を行い、聴講した市民からは、子供達の環境の関心の高さに好評を寄せる感想を多く頂いた。子供達も大勢の聴講者を前に堂々と発表を行うことで大いに自信を得た模様。同時開催されたパネル展示発表でも多数の親子が見に来て、高評価を得られ次年度に繋げたい。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,944	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、新潟県新発田市内及び聖籠町内の小学生達が取り組み、支援した環境学習の成果を広く市民にも知ってもらう為の発表会を行った。学習成果を発表することで子供達の感じた「学びや、気づき」から地域環境の重要性を市民にも認識してもらい環境保全と環境教育の意識向上を引き続き目指します。</p> <p>(使途)平成23年11月に開催した第5回発表会の開催のプログラム、ポスターの作成費の計98,700円の一部に使用した。</p> <p>(効果)発表会では、参加校の子供達がそれぞれ独自の演出で多数の市民を前に発表を行い、聴講した市民の感想は、子供達の環境に対する多様な視点に関心したとの声が多数聞かれた。子供達も多勢の市民を前に発表する機会を得て満足げの様子でした。同時開催の環境学習パネル展でも多数の市民や親子が学習成果を閲覧して頂き好評を得ることができました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,882	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、新潟県新発田市内及び聖籠町内の小学生達が取り組んでいる環境学習の成果を学校内にとどまらず、広く市民にも知ってもらう為の支援を行っている。学習成果を発表することで子供達の感じた「学びや、気づき」から地域環境の重要性を市民にも認識してもらい環境保全と環境教育の意識向上を目指している。</p> <p>(使途)平成24年11月に開催した第6回発表展示会の開催プログラム作成費の計52,000円の一部に使用した。</p> <p>(効果)発表展示会では、参加校の子供達がそれぞれ独自の視点に基づいた取り組みを披露し、広く市民に日頃の学習成果の様子をアピールすることが出来た。子供達の環境に対する多様な取り組みについて他校の様子も合わせて一同に見聞できることは、日頃の学校での学習の様子もうかがい知ることのできるものとして市民からも参加した小学生の保護者からも概ね好感を得ることが出来た。引き続き小学校における環境学習の支援の取り組みを継続させて学校と市民のつながりにささやかではあるが貢献していきたい。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,864	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、新潟県新発田市内及び聖籠町内の小学生達が取り組んでいる環境学習の成果を学校内にとどまらず、広く市民にも知ってもらう為の支援を行っている。学習成果を発表することで子供達の感じた「学びや、気づき」から地域環境の重要性を市民にも認識してもらい環境保全と環境教育の意識向上を目指している。</p> <p>(使途)平成25年11月に開催した第7回発表展示会の開催プログラム作成費の計53,130円の一部に使用した。</p> <p>(効果)発表展示会では、参加校の子供達がそれぞれ独自の視点に基づいた取り組みを披露し、広く市民に日頃の学習成果の様子をアピールすることが出来た。子供達の環境に対する多様な取り組みについて他校の様子も合わせて一同に見聞できることは、日頃の学校での学習の様子もうかがい知ることができ、市民からも参加した小学生の保護者からも概ね好感を得ることが出来た。合併統廃合または、総合学習の取り組みの変化により参加校が減少気味ではあるが、その分一校あたりの発表内容を深めてもらうことで内容の充実度を上げてもらっている。</p>	
	平成27年度		
寄附額	¥6,061		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、新潟県新発田市内及び聖籠町内と一部胎内市の小学生達が取り組んでいる環境学習の成果を学校内にとどまらず、広く市民にも知ってもらう為の支援を行っている。子供達の感じた「学びや、気づき」から地域環境の重要性を市民にも認識してもらい環境保全と環境教育の意識向上を目指している</p> <p>(使途)平成26年11月に開催した第8回と平成27年11月に開催した第9回の発表展示会の開催プログラム作成費の合計103,140円の一部に使用した。</p> <p>(効果)子供達がそれぞれ独自の視点に基づいた課題の取り組みを披露し、市民に日頃の学習成果の様子をアピールすることが出来た。子供達の環境に対する多様な取り組みについて他校の様子も合わせて一同に見聞できることは、日頃の学校での学習の様子もうかがい知ることができ、市民からも参加した小学生の保護者からも概ね好感を得ることが出来た。総合学習の取り組みの変化で参加校が毎年変動するが継続することが重要として実施している。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K222	団体名	特定非営利活動法人かみえちご山里ファン倶楽部
連絡先 (電話／メール)	025-541-2602	活動ホームページ (URL)	http://kamiechigo.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	～地産即食～ 農山村地域の「食」をテーマに、人と人、産と食をつなぐ体験事業		
寄附額合計	¥300,570		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,346	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、農山村に今も息づく「生きるための知恵」未来へとつなげるために、都市部の人に向けて「食」に対する新たな価値の提案を行うための体験プログラムの実施や、場づくりを行っています。平成22年度は、畑で野菜を摘みとり、その場で調理して食べる「摘みたて野菜のサラダランチ体験」を行いました。野菜の「生きた味」を味わっていただき、地域が持つ食の豊かさを発信することを目的としています。</p> <p>(使途)上記のプログラム実施のための作物栽培費用として、30,346円を使わせていただきました。常時体験ができるように、春から秋にかけて継続的に野菜の植え付けを行いました。</p> <p>(効果)計10組、延べ41名の方に参加していただくことができました。今後も地域の「食」をテーマに、地域の持つ「まかない力」を多くの人に感じていただけるプログラムを開発し、提供していきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,617	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、農山村に今も息づく「生きるための知恵」未来へとつなげるために、都市部の人に向けて「食」に対する新たな価値の提案を行うための体験プログラムの実施や、場づくりを行っています。平成24年度は、農村交流拠点となる古民家「平左衛門」にて、地元の在来品種「とよむすめ」を使った蕎麦を提供する、「桑取谷そば祭り」を初めて実施しました。</p> <p>(使途)上記のプログラム実施のための施設整備、フィールド整備費用として、91,617円を使わせていただきました。</p> <p>(効果)計281名の方に参加していただき、元祖とよむすめの産地としてアピールできたことと共に、その土地の古民家で、その土地の湧水を使ったうちたて蕎麦や山菜等を堪能してもらうことができました。今後も地域の「食」をテーマに、地域の持つ「まかない力」を多くの人に感じていただけるプログラムを開発し、提供していきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥51,682	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、農山村に今も息づく「生きるための知恵」を未来へとつなげるために、都市部の人に向けて「食」に対する新たな価値の提案を行うための体験プログラムの実施や、場づくりを行っています。平成24年度は、当年度で9期目となる棚田学校を開催しました。</p> <p>(使途)上記のプログラム実施のための施設整備、フィールド整備費用として、51,682円を使わせていただきました。</p> <p>(効果)地元住民を講師として招き、上越市の中ノ俣集落で千年続く棚田の作業を学ぶ事を通して、稲作の技術はもちろん、日本の農山村にある昔ながらの暮らしの知恵や技術を経験する機会を参加者に提供しました。また、長年通っている参加者が耕作面積を増やした事を受け、作業用機械を保管するための小屋の増築にも使用させて頂きました。今後も地域の「食」をテーマに、地域の持つ「まかない力」を多くの人に感じていただけるプログラムを開発し、提供していきます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,364	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、農山村に今も息づく「生きる力と知恵」を未来へとつなげるべく、都市部の人に向けて「食」に対する新たな価値の提案を行うための体験プログラムの実施を行っています。平成25年度は10期目となる「棚田学校」を新潟県上越市の中ノ俣地域の棚田にて開催しました。</p> <p>(使途)年10回ほど開催する上記プログラム実施のための運営費として(フィールド整備や会場借料、資料印刷費など)18,364円を使わせていただきました。</p> <p>(効果)参加者は10組ほどで、夫婦、子ども連れ、友人同士と幅広い層に参加いただきました。地元住民に米作りの技術や知恵を伝授してもらいながら、千年続く棚田の作業を通して、地域に帰属感を持って関わる人が増えました。それに伴い、棚田作業のみならず、用水や農道の共同作業や地域行事のお祭りなどにも積極的に参加し、都市部と農村の人による新たな形のコミュニティが生まれつつあります。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥108,561		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、農山村に今も息づく「生きるための知恵」を未来へとつなげるために、都市部の人に向けて「食」に対する新たな価値の提案を行うための体験プログラムの実施や、場づくりを行っています。平成27年度は、「地産地消」を目指す「川辺の小屋カフェ」を整備し夏季限定でオープンしました。</p> <p>(使途)上記の施設を整備するためにウッドデッキの設置やプログラム消耗品費として、108,561円を使わせていただきました。</p> <p>(効果)地元・桑取谷産のお米から製造した糺を使い、ノンアルコールの糺甘酒や、地域の野菜を使ったスイーツを開発・提供することで、「地産地消」を広めました。またカフェにすることで、若者など新しい層が桑取谷を訪れるきっかけとなりました。関心を持った人には、糺やスイーツの作り方講座を開き、桑取谷の食や文化により深く触れてもらうことができました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K223	団体名	興津川保全市民会議
連絡先 (電話／メール)	054-221-1319	活動ホームページ (URL)	http://www.okitsu-yamasemi.net/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	興津川保全活動		
寄附額合計	¥200,476		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,552	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	住宅エコポイント事業からいただいているご寄附については、まだ使用していません。 有効活用していきますので、今後ともよろしくお願ひします。 活用予定:「市民の森づくり」等の活動に使用するための苗木などの消耗品や、道具等の購入	
	平成24年度		
	寄附額	¥95,617	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	(概要)興津川の上流部の山林にはシカが多数生息しています。「市民の森づくり」において植樹作業を行うのですが、新芽をシカに食い荒らされ、枯死してしまう木がたくさんありました。シカの食害対策として、ヘキサチューブと呼ばれるポリプロピレン樹脂製の六角柱用い、植樹したばかりの木に設置することで食害を防止することとしました。 (使徒)ヘキサチューブを50セットを53,130円で購入しました。また、森づくりで安全確保のために使用するハーネス、ワイヤー、PPロープを合わせて28,915円で購入しました。 (効果)シカの食害をなくしたことで、植樹した苗木は順調に生育しています。またハーネス等の活用により、安全に作業ができるようになりました。 (その他)収入合計95,617円から支出合計82,045円を差し引いた13,572円については次年度に繰り越します。また、前回繰越金の29,552円についても同様に次年度に繰り越します。繰越金の使途といたしましては、今年度同様「市民の森づくり」で使用する苗木等の消耗品費、草刈り機・チェーンソーなどの備品購入費を予定しております。	
	平成25年度		
	寄附額	¥50,882	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	(概要)年に3回行う「市民の森づくり」では、植樹、下草刈り、地植え等の様々な活動を行っています。 (使徒)森づくり参加者が安全に作業ができるよう、革手袋を50双を11,900円で購入しました。また、7月の森づくりにおいて、参加者の指導をしていただいた「みどり情報局静岡(S-GIT)」に対し、指導料(講師謝金)として50,630円を支払いました。 (効果)革手袋を使用したおかげで、参加者は怪我をすることなく作業ができました。また、専門家の指導のおかげで、正しい鎌の研ぎ方・使い方や間伐を行う際の手順等を分かりやすく教えていただくことができました。 (その他)前回繰越金と今回の寄附金の合計94,006円から今年度支出額62,530円を差し引いた31,476円については次年度に繰り越します。使途としては、今年度同様、「市民の森づくり」で使用する苗木等の消耗品費、森づくり指導者に対する講師謝金を予定しております。	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,364	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	(概要)年に3回行う「市民の森づくり」では、植樹、下草刈り、地植え等の様々な活動を行っています。 (使徒)7月の「市民の森づくり」において、参加者の指導をしていただいた「みどり情報局静岡(S-GIT)」に対し、指導料(講師謝金)として50,648円を支払い、今回のご寄附18,364円と前回繰越額31,476円と合わせて、49,840円を経費の一部に充てさせていただきました。 (効果)雨天により、一部屋外活動が中止となってしまいましたが、専門家の指導のおかげで、屋内で正しい鎌の研ぎ方・使い方や間伐を行う際の手順等を分かりやすく教えていただくことができました。来年度は、植樹範囲を拡大して森づくりを継続していく予定です。	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,061	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	(概要)年に3回行う「市民の森づくり」では、植樹、下草刈り、地植え等の様々な活動を行っています。 (使徒)平成26年7月に実施された市民の森づくりにて、講師謝金として50,000円、平成27年4月に実施した市民の森にて講師謝金及び準備費として100,000円、同年7月に開催予定であった市民の森づくりの準備費として15,972円の合計165,972円を活動費として経費の一部に頂いた寄附を充てさせていただきました。 (効果)平成26年7月に実施した市民の森では、草の刈り方を指導し、安全に下草刈りを行うことができました。平成27年4月の市民の森では、参加者が過去最大の100名を超え、大人数ではありましたがひとりひとりに指導が行き届き、植樹や竹工作を行いました。 今後も、参加者の皆さんに楽しみながら環境について学んでいただきたいと思います。		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K224	団体名	特定非営利活動法人ラブ・ネイチャーズ
連絡先 (電話／メール)	053-522-1792	活動ホームページ (URL)	http://love-natures.sakura.ne.jp
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	自然環境の啓発活動と自然保護		
寄附額合計	¥195,169		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,346	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、絶滅危惧種の保護、および自然環境の啓発活動を通じてストップ温暖化に貢献する目的で、一般市民、小中学校の生徒などを対象に出前講座を年間120回程度、参加者は6000人ほどを実施いたしています。</p> <p>(使途)絶滅危惧種「シラタマホシクサ」の保護のために、浜松市北区細江町にある「銅鐸公園」の湿地に自生しているホシクサを13年間にわたって保護を行っています。湿地の保全のための作業道具としてノコギリ、鎌の購入に29,346円を充当いたしました。</p> <p>(効果)住民の植物を大切にすることを育むことができました。一過性でなく今後も寄附を利用して継続した活動としたいと念願しています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,016	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、絶滅危惧種の保護、および自然環境の啓発活動を通じてストップ温暖化に貢献する目的で、一般市民、小中学校の生徒などを対象に出前講座を年間120回程度、参加者は6000人ほどを実施いたしています。</p> <p>(使途)絶滅危惧種「シラタマホシクサ」の保護のために、浜松市北区細江町にある「銅鐸公園」の湿地に自生しているホシクサを14年間にわたって保護を行っています。湿地の保全のための作業道具としてチェンソーの修理、鎌の購入に92,016円を充当いたしました。</p> <p>(効果)継続することにより、住民の関心も高まり、植物を大切にすることを育むことができました。一過性でなく今後も寄附を利用して継続した活動としたいと念願しています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,382	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、絶滅危惧種の保護、および自然環境の啓発活動を通じてストップ温暖化に貢献する目的で、一般市民、小中学校の生徒などを対象に出前講座を年間120回程度、参加者は6000人ほどを実施いたしています。</p> <p>(使途)絶滅危惧種「シラタマホシクサ」の保護のために、浜松市北区細江町にある「銅鐸公園」の湿地に自生しているホシクサを15年間にわたって保護を行っています。湿地の保全のための作業道具としてチェンソーの替刃、鎌、鍬の購入に49,382円を充当いたしました。</p> <p>(効果)継続することにより、住民の関心も高まり、植物を大切にすることを育むことができ、生物の多様性に貢献する事が出来ました。一過性でなく今後も寄附を利用して継続した活動としたいと念願しています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,364	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、絶滅危惧種の保護、および自然環境の啓発活動を通じてストップ温暖化に貢献する目的で、一般市民、小中学校の生徒などを対象に出前講座を年間120回程度、参加者は6000人ほどを実施いたしています。</p> <p>(使途)絶滅危惧種「シラタマホシクサ」の保護のために、浜松市北区細江町にある「銅鐸公園」の湿地に自生しているホシクサを15年間にわたって保護を行っています。湿地の保全のための作業道具として鎌、鍬、ノコギリの購入に18,364円を充当いたしました。</p> <p>(効果)今年は開花のテレビ放映もあり住民の関心も高まり、植物を大切にすることを育むことができ、生物の多様性に貢献する事が出来ました。一過性でなく今後も寄附を利用して継続した活動としたいと念願しています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,061	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、絶滅危惧種である「シラタマホシクサ」の保護のために、浜松市北区細江町にある「銅鐸公園」の湿地に自生しているホシクサを16年間にわたって保護しています。また、自然環境の啓発活動を通じてストップ温暖化に貢献する目的で、一般市民、小中学校の生徒などを対象に出前講座を年間110回程度、参加者は5000人ほどを実施しています。</p> <p>(使途)今回いただいた寄附金6,061円は、湿地の保全のための作業道具として鎌、鍬、ノコギリの購入に充当いたしました。</p> <p>(効果)今年はシラタマホシクサ開花のテレビ放映もあり、住民の関心も高まり、植物を大切にすることを育むことができ、生物の多様性に貢献する事が出来ました。一過性でなく今後も寄附を利用して継続した活動としたいと念願しています。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K225	団体名	特定非営利活動法人エコ村ネットワーキング
連絡先 (電話／メール)	0748-26-1368	活動ホームページ (URL)	http://eco-mura.net
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	持続可能なコミュニティの普及啓発事業		
寄附額合計	¥202,369		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,546	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当会では、持続可能な社会をコミュニティから実現するための普及啓発事業をセミナーやシンポジウム、印刷物の普及などにより実施しています。22年度は講演会「クリエイティブ経済 そのチャンスと未来」をクリエイティブ経済の開発と推進に携わっておられる、ララ・デ・エインゼリン氏をブラジルからお招きし、クリエイティブ経済の特質やその可能性についてご講演いただきました。41名の方々にご参加いただき、地域通貨の最新情報の報告など、持続可能なコミュニティへの実践を学ぶことができました。</p> <p>当会のセミナーは無料で開催しております。皆様からご寄附いただいた29,546円は、これらセミナーの運営資金の一部として、会場費、チラシ・資料印刷代等に当てさせていただきました。</p> <p>今年度もまたセミナーの開催を予定しており、今後はさらに、皆様に興味を持ってご参加いただけるようなセミナーを企画していきたいと存じます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,516	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当会では、持続可能な社会をコミュニティから実現するための普及啓発事業をセミナーやシンポジウム、印刷物の普及などにより実施しています。23年度は「復興のちからはコミュニティから！東日本大震災被災地支援報告会」と題して、自然と共生する生業や文化を尊重する復興を目指した支援のあり方を考える会を開催しました(参加者20名)。当会のセミナーは無料で開催しております。</p> <p>皆様からご寄附いただいた90,516円のうち33,914円は、これらセミナーの運営資金の一部として、会場費、チラシ・資料印刷代等に当てさせていただきました。</p> <p>今年度もまたセミナーの開催を予定しており、今回いただいた寄附金の残金(56,602円)は次回のセミナーにて使用させていただきます。今後はさらに、皆様に興味を持ってご参加いただけるようなセミナーを企画していきたいと存じます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥57,882	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当会では、持続可能な社会をコミュニティから実現するために、近江八幡エコハウスを拠点とした普及啓発活動(セミナーやワークショップ開催、視察受入、展示案内、印刷物の普及等)を行っています。</p> <p>前回の繰越金56,602円、及び今回の寄附額57,882円は、事業の準備に必要なノートパソコン(Windows8)1台の購入費の一部に充てさせて頂きました。</p> <p>これにより、Microsoft社のサポートを受けられる環境の中で引き続き企画運営業務を行うことができるようになり、特に視察のプレゼンテーションや展示物、印刷物の製作に活用させて頂いています。今後もより多くの方へ向けて分かりやすい普及啓発に取り組みます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,364	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、滋賀県近江八幡市小舟木町に位置する環境共生型コミュニティ「小舟木エコ村」への視察受入れ等を通じて、普及啓発活動をおこなっています。現在は、エコ村内に位置する近江八幡エコハウスを活動の拠点としておりまして、訪問者がプレゼンを聞かなくとも小舟木エコ村の概要がわかる展示内容についてのニーズが出ておりました。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた18,364円と当法人の資金を合わせまして、平成26年2月にA1サイズ6枚の展示パネルを製作いたしました。</p> <p>(効果)展示パネルの設置により、近江八幡エコハウス2階の約30m²以上を新たな普及啓発のためのスペースとして拡張することができました。立地している小舟木エコ村自治会の住民や来訪者からも、プレゼンを聞かなくてもまちの成り立ちや経緯を知ることができてよかった、とご評価いただいております。お越しの際はぜひご覧ください。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥6,061		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、滋賀県近江八幡市小舟木町に位置する環境共生型コミュニティ「小舟木エコ村」への視察受入れ等を通じて、普及啓発活動をおこなっています。現在は、エコ村内に位置する近江八幡エコハウスを活動の拠点としておりまして、こちらの会場の運営管理を行っております。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた6,061円と当法人の資金を合わせまして、平成27年6月に近江八幡エコハウスの建具2枚分の改修を行いました。</p> <p>(効果)建具の改修により、(1)近江八幡エコハウスの1階約90m²の空調効率を高めることができ、エコ化へつなげられた。(2)外部トイレ1か所が身障者の方が利用しやすい環境ができた。と、利用者の方にもご評価いただいております。ありがとうございます。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K226	団体名	特定非営利活動法人関西NGO協議会
連絡先 (電話／メール)	06-6377-5144	活動ホームページ (URL)	http://www.kansaingo.net/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	世界とつながるカフェイベント		
寄附額合計	¥195,068		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,946	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会では2009年より、加盟するNGOと合同で“気軽にNGOの活動に触れてもらう”ためのイベントを開催してきました。その一つが、「世界とつながるカフェイベント」です。気軽に食事も楽しめる場をつくり、世界で起こっている問題と私たちの足元の問題とのつながりを考えていただきます。</p> <p>(使途)本企画の講師謝金として、29,946円を使わせていただきました。一つのイベントに複数の講師をお迎えすることができました。</p> <p>(効果)複数回(3回)にわたって開催し、より多くの方(約100人)が参加する機会となりました。また、複数のNGOが共同で開催することでそれぞれが学びあい、内容がユニークなものになりました。来年度も引き続き「世界とつながるカフェイベント」の実施を予定しており、今回いただいたご寄附を運営のために使用させていただきます。ぜひご参加ください。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,316	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会では2009年より、加盟するNGOと、気軽にNGOの活動に触れてもらうためのイベントを開催してきました。その一つが「世界とつながるカフェイベント」です。気軽に食事も楽しめる場をつくり、世界で起こっている問題と私たちの足元の問題とのつながりを考えていただきます。</p> <p>(使途)本企画の運営費として91,316円を使わせていただきました。ご寄附を1回のイベントの経費(講師謝金、会場費、ちらし作成費など)に充当することで、より参加しやすい参加費を設定できました。</p> <p>(効果)昨年度より多くのNGOと、多様なテーマで計5回のイベントを開催しました。京都や大阪で開催し、のべ約150人にご参加いただきました。カフェでの開催のため気軽に参加いただけました。来年度も「世界とつながるカフェイベント」の実施を予定しており、いただいたご寄附を運営のために使用させていただきます。ぜひご参加ください。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,381	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>関西NGO協議会では、住宅エコポイントの寄附制度を活用させていただき、『世界とつながるカフェイベント』と題し、グローバル規模の課題に関心を持ってもらえるイベントを実施してきた。</p> <p>本イベントは、関西地域で活動する国際協力系のNGOスタッフに海外の事情や活動内容を話していただき、関西地域の国際協力分野における人材育成、啓発活動につなげてきた。</p> <p>本年度は予定していたイベント開催のための金額に満たなかったこともあり、全額次年度に繰り越し、次年度の寄附金額と併せ、エコポイント制度の主旨に相応しい人材育成・環境教育のイベントを開催する予定である。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,364	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会では2009年より、加盟するNGOと、気軽にNGOの活動に触れてもらうためのイベントを開催してきました。その一つが「世界とつながるカフェイベント」です。飲み物を飲みながら気軽に参加することのできる場をつくり、世界で起こっている問題と私たちの足元の問題とのつながりを考えていただきます。</p> <p>(使途)今年度の寄附額18,364円と前年度の繰越金額49,381円を合わせ、67,745円のご寄附を、本企画の運営費として1回のイベントの経費(講師謝金、会場費、チラシ印刷費など)に充当させていただきました。</p> <p>(効果)大学生などの若い世代を中心に、約30名の参加がありました。大阪のカフェでの開催ということもあり気軽に参加いただけました。NGO主催イベントへの参加が初めてという方が全体の1/3以上となり、NGO活動や環境・国際問題に関心を持つ新しい人材の育成に貢献できました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,061	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)本年度は、カフェイベント開催のための金額に満たなかったため、高校生を対象とした関西地域のイベント(12月26日於：大阪国際交流センター)にて、「フェアトレードをみんなに知ってもらおう～世界とつながる買い物」と題し、クイズを交えてフェアトレードを紹介するブースを出展いたしました。</p> <p>(使途)高校生を対象にフェアトレードを紹介するブースの企画運営費として6,061円を使わせていただきました。ご寄附を経費の一部(配布資料印刷代等)に充てることにより、より充実した内容を参加者へ伝えることができました。</p> <p>(効果)高校生を中心に175名の方にブースを訪問いただきました。クイズを交えたり、詳しい説明を載せた小冊子を配布することにより、環境や持続可能な社会に配慮したフェアトレードという取り組みについて、多くの若い世代に伝え、環境や国際問題に関心を持つ人材の育成に貢献することができました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K227	団体名	特定非営利活動法人黒潮実感センター
連絡先 (電話／メール)	0880-62-8022	活動ホームページ (URL)	http://www.orquesta.org/kuroshio/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	体験実感学習(海と山とのつながり)、海の中の森づくり		
寄附額合計	¥1,552,489		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,345	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>黒潮実感センターでは、より多くの人に豊かな自然が残る柏島を実感してもらうために持続可能な里海づくりを目指しています。その中の一環として、環境学習や体験実感学習、子どもや親子を対象としたサマースクールやエコツアーといったプログラムを実施しています。小学生から大学生までの学校単位や、一般の参加者を受け入れ、柏島の豊かな自然を体験していただき、海や海の生き物はもちろん、山と川と海とのつながり等を学ぶことができます。</p> <p>環境学習、体験実感学習の運営費として、30,345円を使用させていただきました。ご寄附を経費の一部(しおりの作成費や、印刷代等)に宛てることにより、より充実したしおりやテキストの作成ができました。</p> <p>修学旅行など前年度よりも2倍の生徒を受け入れることができました。来年度も引き続き環境学習、体験実感学習を行う予定をしており、内容の更なる充実のためにご寄附を使用させていただきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,276	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>黒潮実感センターでは、より多くの人に豊かな自然が残る柏島を実感してもらうために持続可能な里海づくりを目指しています。その中の一環として、環境学習や体験実感学習、子どもや親子を対象としたサマースクールやエコツアーといったプログラムを実施しています。小学生から大学生までの学校単位や、一般の参加者を受け入れ、柏島の豊かな自然を体験していただき、海や海の生き物はもちろん、山と川と海とのつながり等を学ぶことができます。</p> <p>環境学習、体験実感学習の運営費として、90,276円を使用させていただきました。ご寄附を経費の一部に宛てることにより、プログラム運営を行うアルバイトスタッフを雇うことができ、より充実したプログラムの運営ができました。</p> <p>また昨年はお陰様で海洋立国推進功労者表彰(内閣総理大臣賞)をいただく事ができました。体験実感学習としてのサマースクールなどはリピーターが多く、募集前から大半が予約で埋まるほどになりました。来年度も引き続き環境学習、体験実感学習を行う予定をしており、内容の更なる充実のためにご寄附を使用させていただきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥836,876	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>黒潮実感センターでは、より多くの人に豊かな自然が残る柏島を実感してもらうために持続可能な里海づくりを目指しています。その中の一環として、環境学習や体験実感学習、子どもや親子を対象としたサマースクールやエコツアーといったプログラムを実施しています。小学生から大学生までの学校単位や、一般の参加者を受け入れ、柏島の豊かな自然を体験していただき、海や海の生き物はもちろん、山と川と海とのつながり等を学ぶことができます。</p> <p>サマースクールやエコツアー、講演・セミナー等、および海の中の森づくり(藻場再生・サンゴ保全)の運営費として、836,876円を使用させていただきました。ご寄附を経費の一部に宛てることにより、より充実したプログラムの運営ができました。</p> <p>体験実感学習としてのサマースクールなどはリピーターが多く、募集前から大半が予約で埋まるほどになりました。来年度も引き続き環境学習、体験実感学習、新たにアオリイカの里親プロジェクトを行う予定をしており、内容の更なる充実のためにご寄附を使用させていただきます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥588,931	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では近年、磯焼けによる藻場の減少により有用水産物であるアオリイカの産卵場が失われ、資源が減ってきたのを回復させるため、アオリイカの人工産卵床設置事業を行っています。具体的には失われた藻場の代わりにスギやヒノキの間伐材の枝葉を用いて人工産卵床を作り、海底に設置する作業です。活動には漁業者、ダイバー、森林組合、行政関係者ら多くの人の協力を得て実施しています。</p> <p>(使途)上記活動の教材作成および作業時の備給費、ダイバーや森林組合の方への御礼として588,931円活用させていただきました。</p> <p>(効果)産卵床設置の影響で今年も多くのアオリイカが産卵に来て、大量の卵を産みました。また本活動は大月小学校の6年生の定番授業となりました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,061	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では地元の小学生や高知県内外の小中高校、大学生を対象に海の世界学習を行っています。その一環として、柏島の海の生きものに関心を持ってもらうために、海中ビデオライブラリーの制作を行っています。実際にはスキューバダイビングをしないと観察できないような海中の生きものから、磯遊びの際に身近に観察できる潮間帯の生きものを生態をビデオ撮影し、VTRを制作しました。</p> <p>(使途)上記活動の教材作成のための費用の一部として活用させていただきました。</p> <p>(効果)地元の子供達だけでなく、高知県外からの修学旅行生等への環境学習の教材として活用し、参加者からは高い関心が寄せられました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K228	団体名	特定非営利活動法人地球市民の会
連絡先 (電話／メール)	0952-24-3334	活動ホームページ (URL)	http://terrapeople.or.jp/main/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	ミャンマー南シャン州 自然を愛する若手リーダー育成プロジェクト		
寄附額合計	¥998,262		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,345	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は、ミャンマー連邦南シャン州で農業を中心とし、湖・森林の環境保全活動や、教育支援、インフラ整備など、総合地域開発を行っています。青少年育成センターでは、将来の農村リーダー育成を目的として、優秀ながらも経済的に進学が難しい高校生を対象に、農業実習や環境教育を組み合わせた全寮制のプログラムを行っています。</p> <p>(使途)青少年育成センターがあるインレー湖周辺地域では、環境問題への意識が低く、薪や畑にするために木をたくさん切っている状態です。そこで、将来の農村リーダー候補の高校生を対象に、ご寄附いただいた29,345円を利用して資料を作成し、環境教育ワークショップを全5回実施しました。将来的に、彼らから周辺住民に環境知識を広めていくことが期待されます。</p> <p>(効果)環境保護に関心を持ち、実践できる若手リーダーが16名育成されました。今後の彼らの活動にご期待ください。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,916	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は、ミャンマー連邦南シャン州で農業を中心とし、湖・森林の環境保全活動や、教育支援、インフラ整備など、総合地域開発を行っています。青少年育成センターでは、将来の農村リーダー育成を目的とし、優秀ながらも経済的に進学が難しい高校生を対象に、農業実習や環境教育を組み合わせた全寮制のプログラムを行っています。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた90,916円を利用して、苗用ポットや種を購入し、植林を行いました。また、「なぜ木が大切なのか」というタイトルでワークショップも実施し、植林をする必要性を理解してもらうようにしました。</p> <p>(効果)植林や農作業を通して自然と親しむ心を育み、環境保護に関心を持って実践できる若手リーダーが16名育成されました。彼らは卒業後はそれぞれの村に戻り、村の人たちに環境保護の大切さを伝えていきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥841,076	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は、ミャンマー連邦南シャン州で農業を中心とし、湖・森林の環境保全活動や、教育支援、インフラ整備など、総合地域開発を行っています。青少年育成センターでは、将来の農村リーダー育成を目的として、優秀ながらも経済的に進学が難しい高校生を対象に、農業実習や環境教育を組み合わせた全寮制のプログラムを行っています。</p> <p>(使途)青少年育成センターがあるインレー湖周辺地域では、環境問題への意識が低く、薪や畑にするために木をたくさん切っている状態です。そこで、将来の農村リーダー候補の高校生に住む寮の敷地内に育苗施設を建設し、ご寄附いただいた841,076円を利用してその施設への水パイプ配管、及びポンプの設置を実施しました。育苗の技術を習得した高校生が、実際に育苗を行い植林すると共に、将来的周辺住民に技術を広めていくことが期待されます。</p> <p>(効果)環境保護に関心を持ち、育苗技術を習得、実践した若手リーダーが16名育成されました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥29,364	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は、ミャンマー連邦共和国シャン州南部で農業を中心とし、湖・森林の環境保全活動や、教育支援、インフラ整備など、農村開発を行っています。当会が運営する青少年育成センターでは、将来の農村リーダー育成を目的として、優秀ながらも経済的に進学が難しい高校生を対象に、農業実習や環境教育を組み合わせた全寮制のプログラムを行っています。</p> <p>(使途)青少年育成センターがあるインレー湖周辺地域では、環境問題への意識が低く、薪や畑にするために木をたくさん切っている状態です。そこで、ご寄附いただいた29,364円を利用して環境教育の教材を作成し、将来の農村リーダー候補の高校生とインレー湖上の学校に通う子どもたちに対し環境問題を行いました。</p> <p>(効果)環境保護に関心を持ち、環境問題についても知識を身につけた青少年リーダーが55名育成されました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,561	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当会は、ミャンマー連邦南シャン州で農業を中心とし、湖・森林の環境保全活動や、教育支援、インフラ整備など、総合地域開発を行っています。青少年育成センターでは、将来の農村リーダー育成を目的とし、優秀ながらも経済的に進学が難しい高校生を対象に、農業実習や環境教育を組み合わせた全寮制のプログラムを行っています。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた7,561円を利用して、環境教育ワークショップの補助資料の印刷代として使用し、高校生たちは「木の伐採と地球温暖化」についてディスカッションを行いました。また、ワークショップ後、モリンガの木等の植林を行いました。</p> <p>(効果)植林や農作業を通して自然と親しむ心を育み、環境保護に関心を持って実践できる若手リーダーが14名育成されました。来年度は、高校生だけではなく、20代の若手農家にも対象を広げて、続けて環境教育を行う予定です。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K235	団体名	特定非営利活動法人あらかわ学会
連絡先 (電話／メール)	03-5284-7885	活動ホームページ (URL)	http://www.arakawa-gakkai.jp
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	姉妹河川荒川・ポトマック交流事業		
寄附額合計	¥72,576		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥48,152	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>平成24年12月1日(土)北千住にあるシアター千住において、荒川とポトマック川との姉妹河川提携調印式が行われた。調印式はワシントンと東京をスカイプで結び、両国で同時に調印書に署名が行われた。</p> <p>平成25年1月20日、川の日ワークショップ関東大会において、親善大使として来日したダン・スクラリュ氏にポトマックでの活動のようすを発表してもらった。</p> <p>3月26日、荒川の桜を訪ねるバスツアーを主催し、熊谷包みの桜や北本自然公園のエドヒガンザクラ、帰宅赤水門の桜を観察。熊谷では絶滅危惧種ムサシミヨを保護しているグループと交流した。参加者は48名。ダン・スクラリュ氏も参加し、ほかに外国人が3名も参加した。8月6日、ダン・スクラリュ氏家族の送別会を兼ねて荒川下流域を見学するため、国土交通省荒川下流河川事務所の船を使って、荒川クルーズを行った。参加者は20名。</p> <p>この度の寄附金48,152円はチラシ印刷等に全額使用させていただいた。以上の活動をもって、荒川の環境保全等の情報共有や活動の活性化を図ることができた。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,364	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>関東管内の河川(特に荒川)を舞台にして、優れた「いい川づくり」の活動をしている団体に対する中間支援として、成果発表の交流とワークショップの場を提供している。会場費は無料であった。また近郊からの出席者ばかりであったため特に交通費も支払わなかったため、頂いた寄附金は、論文集印刷費(58,140円)の一部に当てさせていただいた。</p> <p>開催日時:平成26年2月2日(日)10時～16時 開催場所:アモアホール 参加者:13名 内容:「続・あらかわ」映画上映、論文発表とポスターセッション、講演「地球温暖化と気候変動による暮らしへの影響」 講師:大平一典(中央大学理工学部特任教授・元荒川下流河川事務所長)</p> <p>少人数ながら、熱のこもった発表があり、会場とのやり取りが活発に行われた。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,060	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>荒川での活動を報告しあうワークショップを27年2月22日(日)10時～16時、荒川知水資料館アモアホールで開催。</p> <p>論文13件、ポスターセッション10件が集まり、発表が行われた。参加者は15名で、来年度も研究や活動を続けてほしい論文提出者に対し奨励賞が授与された。JCOM東京北がその様子取材し、後日放映した。今年度は、姉妹河川ポトマック川からの活動報告とパネル展示もあり日米河川交流の端緒につくことが出来た。東大大学院生や埼玉県のコウノトリ復活を目指す市民団体の活動など多岐に亘った発表があり、大変意義のあるワークショップとなった。</p> <p>頂いたご寄附は、会場費が無料であったため、論文集の印刷費108,000円の一部に充てさせて頂いた。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K236	団体名	特定非営利活動法人太陽光発電所ネットワーク
連絡先 (電話／メール)	03-5805-3577	活動ホームページ (URL)	http://www.greenenergy.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	みんなでつくろう！市民共同発電所！		
寄附額合計	¥85,500		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥57,826	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>3.11の津波の被害を受けた岩手県野田村の山あいにて50kWの市民共同太陽光発電所(1号機)を建設した。(2012年12月に建設開始し2013年6月に完成)</p> <p>被災地野田村の「復興支援」を目的に市民ファンド出資を全国から募り、出資者の配当に地元特産品も用意し地域貢献できる仕組みとした。企画建設運営には野田村の仮設住宅に暮らすお父さんたち(だらすこ工房メンバー)が関わった。地元メンバーであるお父さんたちが主役となり、自分達自身で自然エネルギーの普及にとりくめるよう、パネルの設置、保守・管理、さらに第2号機発電所建設にむけた候補地の視察、班に分かれた設計プランの発表会等、を含んだ「自然エネルギー学校」を開催し、人材育成にも努めた。</p> <p>また出資を通じ、野田村やお父さんの取り組みを応援してくれる方々を募り、発電所見学ツアーも行う。(2013年6月と9月実施)。2度のツアーで、地元から20名、全国から40名の参加者が集まった。活動は地元のTV(NHKローカルNews)や新聞(岩手日報)でも紹介され、その後、お父さんたちは震災復興のヒーローとして多くのメディアで取り上げられている。</p> <p>頂いた寄附金は野田村へ市民共同発電所を設置する企画運営費(岩手県内現地交通費4万円、ツアー参加用DM代1.8万円)として活用させていただきました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,614	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>平成24年から岩手県野田村にて復興支援型共同発電所作りを行ってありますが平成24年5月～平成25年4月寄附分は野田村第1号機発電所の設置に活用しました。1号機の報告でも計画について触れましたが、2号機建設にむけ、このたび、平成25年5月～平成26年4月振込分寄附を活用させていただきました。</p> <p>1号機は冬場の積雪の期間以外は順調に発電を続ける中、平成26年8月、野田村にて営業者、出資者代表も集まり、出資者への配当や業務報告の会合を行い、当初の計画通りの2号機建設に向けた日程も話し合いました。常に、発電所を作るだけでなく、発電所を中心にさまざまな企画を立て、人の集まり、広報に関しても力を注ぎ、絶え間なくニュースを発信しようと話されました。</p> <p>2号機は9月、3連休を使い参加型「自然エネルギー学校」として呼びかけで11kW規模の発電所が完成、交通費や広報にかかる経費に寄附19,614円を活用しました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥8,060	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では2012年より、震災の被災地である岩手県野田村をはじめ、各地で市民・地域参画型の共同発電所づくりの支援を行っています。</p> <p>(使途)2013年6月に完成した野田村だらすこ市民共同発電所は、単なる発電設備にとどまらない、自然エネルギー産業を担う人材の育成や視察者と地元の人・文化との交流を目指しており、年に2度、同発電所を会場に自然エネルギー学校を開催しています。今回の寄附金8,060円は、プログラムとして実施したロケットストーブ製作の材料費として活用させていただきました。</p> <p>(効果)自然エネルギーは難しいイメージが強く、これまで地元の人々の募集に苦慮していましたが、題材に身近な木を燃料とするロケットストーブを加えたことで、例年の2倍以上となる地元参加者を集めることができました。今後はより地域・世代に定着した取り組みにすべく、子ども・若者を対象としたプログラムづくりを計画しています。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K237	団体名	特定非営利活動法人日本エコツーリズムセンター
連絡先 (電話／メール)	03-5834-7966	活動ホームページ (URL)	http://www.ecotourism-center.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	獣害被害の抑制と生物多様性回復のための人材育成		
寄附額合計	¥72,575		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥48,151	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 私たちは、エコツアー・環境教育の実践者・研究者のネットワークを活性化させ、エコツーリズムで地域を元気にしようと活動するネットワーク組織である。近年、鹿や猪による農業・植生への影響は“獣害”として人々に認知されつつあるが、その対策として、人と野生動物との共生や距離感を考える機会を設けている。</p> <p>(使途) 墨田区にある鹿・猪の皮なめし工場での工場見学を実施し、“革”の利用により、地域での獣害対策の促進だけでなく、地域と都市部をつなぎ、課題を共有することを目指した。ご寄附は工場見学のあとの意見交換会、また、墨田区展示会への出展などで広く当センターの考え方を知ってもらえる事ができた。</p> <p>(効果) 都心の革工場見学とあって、通常の獣害関連企画より参加者層が多様であった。自然学校スタッフ、狩猟免許取得者はもとより、大学教員、革利用業者、デザイナーから、休日を楽しむカップルまで30名が参加。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,364	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>獣害に悩む里山への支援として、MATAGIプロジェクトを実施しています。これは、捕獲が進むシカ、イノシシの非活用部分「皮」に着目し、皮なめしの技術を通じて、その活用を推進するとともに、獣害の問題を広く普及するものです。獣肉と違い、捕獲後は放置・廃棄されることが多い獣皮部分は、きれいなめされて、味わい深い革製品に生まれ変わります。</p> <p>皮なめしの技術を持つ山口産業は東京都墨田区にある工場です。なめし現場を公開し、都内の人にも、里山の課題を知る機会を提供しています。「現場を見る」「革製品を買う」に加えて、参加者に深い理解やその後の行動を促すために、工場見学と合わせて「皮のまちあるき」と「革製品を作る」ワークショップを企画しました。その際、人気の革製品を企画するデザイナーを講師として招聘しました。</p> <p>環境寄附を講師招聘等に使用することで、深い理解を促す企画を実施できたと思います。(使用額:全額)</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,060	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 農林業に重大な被害を与えているシカ・イノシシに対する駆除が盛んに行われていますが、その90%以上が埋めたり焼却処分をされています。そこで当団体は2013年より墨田区や大学と連携した「MATAGIプロジェクト」を立ち上げ、獣皮活用を通じた地域活性化支援を実施しています。その支援活動の一環として、東京を中心とした普及活動(革工場見学・クラフト体験・フォーラム)を行うことで、なじみのない獣皮の特徴と魅力を多くの方に伝え、販路拡大を狙う活動も展開しています。</p> <p>(使途) 普及活動に使用する資料の印刷代やインターン生(アルバイト)へ業務の依頼費用として充当しました。</p> <p>(効果) インターン生へ業務を依頼することで、2名しかいない事務局員の負担が減り、効率化へつながるとともに、若い世代の教育に活かすことができました。また、印刷物も手間をかけたことにより、綺麗な仕上がりがりとなり、好評を得ました。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K238	団体名	公益財団法人日本環境協会
連絡先 (電話／メール)	03-5643-6251	活動ホームページ (URL)	http://www.j-ecoclub.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	「こどもエコクラブ」環境活動支援		
寄附額合計	¥73,575		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥49,151	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>弊協会が実施する子どもの環境教育を支援する事業「こどもエコクラブ」では毎年、一年間の活動をまとめた壁新聞を各クラブから募集しており、平成24年度は全国から261枚の応募がありました。これら全ての壁新聞について、環境カウンセラー等の環境に関する専門家の先生(全部で6名)から、講評と更によりものにしていくためのアドバイスをいただきました。また、各クラブの日々の活動をウェブサイトに報告する「活動レポート」に対しても、専門家からの評価と励ましのメッセージをもらっています。平成25年度は約800件のレポートに対してメッセージをお送りしました。</p> <p>アドバイスやメッセージを執筆していただいた専門家6名の先生方に、謝金として合計109,200円をお支払いしましたが、ご寄附いただいた49,151円をその一部に充てさせていただきました。</p> <p>この活動を通じ、専門家の先生方と各クラブとの間にコミュニケーションが生まれ、クラブの活動の発展や継続への意欲の向上につながっています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,364	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>弊協会が実施する子どもの環境教育を支援する事業「こどもエコクラブ」では毎年、一年間の活動をまとめた壁新聞を各クラブから募集しており、平成25年度は全国から263枚の応募がありました。これら全ての壁新聞について、環境カウンセラー等の環境に関する専門家の先生(全部で13名)から、講評と更によりものにしていくためのアドバイスをいただきました。また、各クラブの日々の活動をウェブサイトに報告する「活動レポート」に対しても、専門家からの評価と励ましのメッセージをもらっています。</p> <p>アドバイスやメッセージを執筆していただいた専門家13名の先生方に、謝金として合計504,000円をお支払いしましたが、ご寄附いただいた18,364円をその一部に充てさせていただきました。</p> <p>この活動を通じ、専門家の先生方と各クラブとの間にコミュニケーションが生まれ、クラブの活動の発展や継続への意欲の向上につながっています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,060	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>弊協会が実施する子どもの環境教育を支援する事業「こどもエコクラブ」では毎年、一年間の活動をまとめた壁新聞を各クラブから募集しており、平成26年度は全国から255枚の応募がありました。これら全ての壁新聞について、環境カウンセラー等の環境に関する専門家の先生(全部で14名)から、講評と更によりものにしていくためのアドバイスをいただきました。また、各クラブの日々の活動をウェブサイトに報告する「活動レポート」に対しても、専門家からの評価と励ましのメッセージをもらっています。</p> <p>アドバイスやメッセージを執筆していただいた専門家14名の先生方に、謝金として合計255,000円をお支払いしましたが、ご寄附いただいた6,060円をその一部に充てさせていただきました。</p> <p>この活動を通じ、専門家の先生方と各クラブとの間にコミュニケーションが生まれ、クラブの活動の発展や継続への意欲の向上につながっています。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K239	団体名	全国環境ボランティアリーダー会
連絡先 (電話／メール)	080-3628-4523	活動ホームページ (URL)	http://www.leader.co-site.jp/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	海外研修成果発信プロジェクト等		
寄附額合計	¥77,075		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥50,651	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当会は、ドイツ・オーストラリア・ニュージーランドで開催された海外研修に参加したメンバーが集い、地域の環境活動の支援と政策提言を目的に活動している団体です。これまでは、海外研修で学んだ知識や技術を、メンバー個々の活動に活かしてきましたが、この成果をより広く発信し、地域の環境活動に役立ててもらうため、各テーマで執筆者を分担し、研修の成果や実践例をまとめた冊子を編集する作業を続けてきました。</p> <p>おかげさまで、この2月に原稿が集約され、100頁あまりの「海外研修報告書2013」が完成し、会員や関係者に配布するため、寄附して頂いたお金を使い印刷しました。この4月に開催される静岡で全国の会員を参集した会議の場でこの報告書を配布し、成果を共有します。</p> <p>今後はプロの編集者を編集に加え、今回作成した報告書を更に一般の方々に利用してもらえるような形にまでブラッシュアップし、成果をより広く還元する予定です。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥20,364	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当会は、一般財団法人セブン-イレブン記念財団が主催する「環境ボランティアリーダー海外研修」に参加したメンバーが集い、地域の環境保全活動の活性化と、環境政策の提言を目的に活動している全国規模のネットワーク組織です。今回それぞれのメンバーが派遣された海外研修の成果をテーマ毎に分担して執筆し、それを冊子にまとめて、環境活動に取り組む方々に頒布することになりました。</p> <p>ご寄附頂いた20,364円と、当会の資金を合わせて印刷費とし、平成26年4月に「環境ボランティアリーダー研修報告書」という冊子をまとめることができました。この冊子は、同月開催された会議で会員に配布され、成果を共有すると共に、内容の検討を行いました。</p> <p>その結果、今回発行した報告書を更にブラッシュアップし、プロの校正やデザイナーを編集に加え、より多くの方に届けられるよう出版を目指すことになり、更なる内容の充実を目指し作業を続けています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,060	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、一般財団法人セブン-イレブン記念財団が毎年度開催する「環境NPOリーダー海外研修」に参加したメンバーが集い、地域の環境活動の支援を理念に活動している団体です。今回、海外の環境先進地を訪問し、取材や現地の実践者からヒアリングした結果を、テーマごとにとりまとめ、それを冊子にして発信するため、編集作業を行っています。</p> <p>(使途)今年度は、昨年度会員向けにとりまとめた内容を更にグレードアップし、環境活動に関心のある一般の人へもご紹介できるよう文章の構成や、紙面のデザイン等編集委員会を中心に進めているところで、頂いた6,060円の費用は、編集会議で使用すると原稿を打ち出すための用紙代や、インク代など事務用品の購入費として使わせて頂きました。</p> <p>(効果)冊子は3,000部を平成28年5月に発行の予定で、環境活動を学ぶ研修会のテキストや地域で環境活動に取り組む方への入門書として頒布させていただきます。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K240	団体名	特定非営利活動法人環境カウンセリング協会長崎
連絡先 (電話／メール)	095-818-3305	活動ホームページ (URL)	http://npo-ecan.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	3次元立体紙芝居を用いた環境教育		
寄附額合計	¥74,575		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥50,151	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、子どもたちへの環境啓発活動は、環境について考える機会を身近により多く持つことが大切であるという考えのもと、子供向けの体験型三次元紙芝居の上演を実施しております。平成25年度は「環境月間街頭キャンペーン」(6月・長崎市)、「ながさきエコライフ・フェスタ」(10月・長崎市)へ出展し、節電と漂着ゴミの発生抑制を考える『キャンドルナイトのよる』と『ごみ君のなみだ』を上演し、子供たちの学びの場を提供して参りました。</p> <p>(使途)頂きましたご寄附より、機材補修費として1,571円(資材購入)、8,000円(補修アルバイト代)、総勢21名のボランティアスタッフの昼食代として17,932円、機材搬入車両駐車場代およびスタッフ交通費として15,100円、合計42,603円を大切に使用させていただきました。(次年度繰越金:7,548円)</p> <p>(効果)この三次元紙芝居は子供たちへの環境教育の一環として各所で好評を頂き、昨年度後半には長崎県廃棄物対策課の啓発事業の一環として県内の小学校4か所で上演を行いました。また、長崎大学の学生を中心とした紙芝居のボランティアスタッフが核となり、離島での漂着ゴミ清掃活動を展開しました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,364	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、環境教育の一環として子ども向けの体験型紙芝居の上演を行っております。平成26年度は、「環境月間街頭キャンペーン」(6月・長崎市)、「ながさきエコライフ・フェスタ」(10月・長崎市)、「第9回元気野菜コンテスト」(1月・対馬市)へ出展し、漂着ゴミの発生抑制を考える『ごみ君のなみだ』を上演し、子ども達の学びの場を提供して参りました。</p> <p>(使途)頂きましたご寄附より、機材補修費として9,386円(2,386円:資材購入、7,000円:補修アルバイト代)、機材搬入車両駐車場代およびスタッフ交通費として10,506円(前年度繰越金7,548円含む)、計19,892円を大切に使用させて頂きました。(次年度繰越金:6,020円)</p> <p>(効果)今年度は長崎県廃棄物対策課の啓発事業の一環として、離島地区(杵岐・対馬)の小学校や児童クラブで6回上演を行いました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,060	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、環境教育の一環として子ども向けの体験型紙芝居の上演を行っております。平成27年度は、「環境月間街頭キャンペーン」(6月・長崎市)、「ながさきエコライフ・フェスタ」(10月・長崎市)、「第13回海ごみサミット2015長崎・五島会議」(10月・五島市)等へ出展し、漂着ゴミの発生抑制を考える『ごみ君のなみだ』を上演し、子ども達の学びの場を提供して参りました。</p> <p>(使途)頂きましたご寄附より、機材補修費として4,758円(1,758円:資材購入、3,000円:補修アルバイト代)、機材配送代およびスタッフ交通費として6,986円(前年度繰越金6,020円含む)、計11,744円を大切に使用させて頂きました。残金336円は今後の補修材料費(ガムテープや接着剤など)等として大切に使用させて頂きます。</p> <p>(効果)今年度は当法人主催事業として、長崎市で2回・五島市で1回上演を行いました。</p>	

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K241	団体名	NPO法人九州環境サポートセンター
連絡先 (電話／メール)	096-277-9660	活動ホームページ (URL)	http://www.q-support.org/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	「九州圏環境団体ネットワークの構築」と「次世代の為の人材育成」		
寄附額合計	¥75,675		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥49,651	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当団体では、九州各県の環境活動団体に対して、ネットワークの構築と次世代への人材育成を目的としたセミナー等を開催しました。</p> <p>(使途) 参加者に配布する資料作成費・会場費・移動交通費に寄附いただいた49,651円を使わせていただきました。</p> <p>(効果) 参加者は、延べ150名ほど参加いただきました。参加者からは、「即実践に移せるセミナーだった」等、来年も引き続き継続してほしいなど喜びの声をいただいています。ご寄附をいただいた皆様には感謝いたします。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,464	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人は、九州圏の環境市民団体の支援を行いながら、市民、行政、企業の橋渡しをし、豊かな環境を未来へつないでいくためのサポートをしています。本年度は、九州の環境団体が集まる場である「九州環境市民フォーラム」において、市民、環境活動団体、企業、行政の交流連携する場を生み出しました。</p> <p>(使途) このたびご寄附いただいた19,464円は情報交流をするためのパネル作成や展示用品に当てさせていただきました。わかりやすい、見やすい展示を心がけ、多くの方に足を止めていただきました。</p> <p>(効果) たくさんの方にご参加いただき、情報交換や新しいコラボレーションのきっかけを作ることができました。今後は、さらに成果を生み出せるコラボレーションの仕組みづくりを確立していきたいと考えています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,560	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人では、中間支援組織として、環境市民団体対象のセミナーやワークショップを中心とし、それぞれの県内の環境市民団体の情報交換とネットワークづくりを応援する為に、九州各県において「エコライフ・カフェ」を実施しています。</p> <p>(使途) 年10回開催する「エコライフ・カフェ」において、参加者に配布する資料作成費、通信費・会場費等にに使わせていただきました。</p> <p>(効果) 2015年度は前半だけでも、熊本県、福岡県、鹿児島県で6回の「エコライフ・カフェ」を開催し、のべ118名の参加者がありました。年度後半も5回開催し、より多くの環境市民活動に携わる皆さんに参加していただける広報と、「エコライフ・カフェ」での環境活動団体の基盤整備のためのセミナーに役立たせていただきました。御寄附を頂いた皆様にもぜひ御参加いただければ幸いです。</p>	